

4-3-4 浮き部改修工法 (4.1.4) (4.4.5) (4.4.7~15) (表 4.3.5, 6)

Table with 4 columns: 改修工法の種類 (モルタルを撤去しない場合), アンカーピニングの本数 (本/㎡), 注入口の箇所数 (箇所/㎡), 充填量. Rows include アンカーピニング部分エポキシ樹脂注入工法, アンカーピニング全面エポキシ樹脂注入工法, etc.

アンカーピニング 材質 ◎ステンレス SUS304、呼び径 4mm の丸棒で全ネジ切り加工したもの 注入口付アンカーピニング 材質 ◎ステンレス SUS304、呼び径外径 6mm 改修工法の種類 伸縮調整目地及びひび割れ誘発目地 位置 ◎改修標仕表 4.4.2 による 図示 タイル張り下地等の均しモルタルの接着力試験 行う 行わない

4-3-5 目地改修工法 (3.7.2) (4.1.4) (4.4.16) (表 3.7.1)

- 目地ひび割れ部改修工法
伸縮目地改修工法
シーリング用材料 種類 ◎改修標仕表 3.7.1 による

4-3-6 陶磁器質タイル (4.4.5) (4.4.7~8) (表 4.4.4)

Table with 10 columns: 施工箇所, 種類, 形状寸法 (mm), 吸水率による区分, うわ薬, 役物, 色, 再生材の適用 [G], 耐凍害性, 備考. Rows include 打継目地, ひび割れ誘発目地, etc.

4-4 外壁改修工事 仕上塗材仕上げ外壁

4-4-1 既存塗膜等の除去及び下地処理 (4.5.2) (4.5.4) (表 4.5.4~7)

Table with 3 columns: 工法, 処理範囲, 下地面の補修. Rows include サンダー工法, 高圧水洗工法, etc.

4-4-2 下地調整塗材 (4.5.2) (4.5.4)

- 下地調整塗材
ポリマーセメントモルタル

4-4-3 仕上げ塗材仕上げ (4.1.4) (4.5.2) (表 4.4.1.4) (4.5.1) (標仕 15.6.2)

Table with 3 columns: 種類, 呼び名, 仕上げの形状. Rows include 薄付け仕上塗材, 複層仕上げ塗材, etc.

防火材料の指定が必要な場合 ◎建築基準法に基づく認定を受けた材料とする。

4-4-4 マスチック塗材塗り

- 種類 A種 B種

4-4-5 外壁用塗膜防水材 (4.7.1~7)

5章 建具改修工事

5-1 一般工法の適用 (5.1.3)

Table with 4 columns: 建具の種類, かぶせ工法, 撤去工法, 備考. Rows include アルミニウム製建具, 樹膠製建具, etc.

5-2 見本の製作等 (5.1.5)

特殊な建具の仮組 行う ◎行わない

5-3 防犯建物部品 (5.1.6)

適用する (図示)

5-4 アルミニウム製建具 (5.2.2.4.5) (表 5.2.1.2)

Table with 3 columns: 種別, 寸法 (mm), 施工箇所. Rows include A種, B種, C種. Includes details for 表面処理, 屋内外建具, etc.

5-5 網戸の網 (5.2.3)

Table with 4 columns: 種類, 材質, 線径, 網目. Rows include 防虫網, 防鳥網.

5-6 樹脂製建具 (5.2.5) (5.3.2~5)

Table with 3 columns: 種別, 寸法 (mm), 施工箇所. Rows include A種, B種, C種. Includes details for 表面色, ガラス, etc.

5-7 鋼製建具 (5.2.2) (5.4.2~4) (表 5.4.2)

Table with 3 columns: 種別, 材質, 厚さ. Rows include 簡易気密型ドアセット, 鋼板類. Includes details for 簡易気密型ドアセット, 鋼板類, etc.

5-8 鋼製軽量建具 (5.2.2) (5.5.2~4)

Table with 3 columns: 種別, 材質, 厚さ. Rows include 簡易気密扉の簡易気密型ドアセット, 鋼板類. Includes details for 簡易気密扉の簡易気密型ドアセット, 鋼板類, etc.

5-9 ステンレス製建具 (5.2.2) (5.4.2) (5.6.2~5)

Table with 3 columns: 種別, 材質, 厚さ. Rows include 簡易気密扉の簡易気密型ドアセット, ステンレス建具の鋼材の種類. Includes details for 簡易気密扉の簡易気密型ドアセット, ステンレス建具の鋼材の種類, etc.

5-10 木製建具 (5.7.2~4)

Table with 3 columns: フラッシュ戸, 合板の種類, 規格等, 備考. Rows include 普通合板, 天然木化粧合板, etc.

防虫処理 (行う 行わない) 接着の程度 (1類・2類) 表面板の厚さ ◎表 5.7.6 による 建具材の含水率 ◎A種

5-11 建具用金物 (5.8.2.3) (表 5.7.1~3)

Table with 3 columns: 建具金物の種類, 種別, 品質・規格. Rows include 本締めまり付きモノロック, シリンダ箱錠, etc.

吊金物 丁番 (内部建具については、軸を鉄芯としてもよい) ビボットピンジ ◎ステンレス製 (軸は鋼製 外部用は軸も含めてステンレス製) 公共住宅の各住戸建具用金物 (公仕 16.8.2~4)

5-12 鍵 (5.8.4)

マスターキー ◎製作する 製作しない その他の鍵 各室 3本1組 引渡し 鍵箱に収納する

5-13 自動ドア開閉装置 (5.9.2.3) (表 5.9.1~5)

Table with 4 columns: 自動ドア, 性能, 引き戸用検出装置の種類, 凍結防止, 防錆. Rows include SSLD-1, SSLD-2, etc.

多機能トイレ出入口引き戸用駆動装置 開閉方法 ◎片開き 耐電圧、温度上昇、耐久性 (サイクル)、防錆、電源 ◎改修標仕表 5.9.2 による

引き戸用検出装置 放射無線周波数電磁界耐性、耐電圧、防錆、防凍、電源 ◎改修標仕表 5.9.3 による

5-14 自閉式上吊り引戸装置 (5.10.3) (表 5.10.1)

品質規格 ◎改修標仕表 5.10.1 製造所標準仕様による 製造所 ◎評価名簿による

5-15 重量シャッター (5.11.2.3) (表 5.11.1)

Table with 3 columns: シャッターの種類, 耐風圧強度, 備考. Rows include 管理用シャッター, 外壁用防火シャッター, etc.

5-16 軽量シャッター (5.12.2.3) (表 5.12.1)

開閉方式による種類 ◎手動式 上部電動式 (手動併用) 耐風圧強度 () N/㎡ スラットの材質

5-17 オーバーヘッドドア (5.13.2.3) (表 5.13.1.2)

Table with 5 columns: セクション材料による区分, 耐風圧区分 (Pa), 開閉方式による区分, 収納形式による区分, ガイドレールの材質. Rows include スチールタイプ, アルミニウムタイプ, etc.

5-18 ガラス (5.14.2~4) (3.7.3)

Table with 4 columns: 寸法 (mm), 色調, パターン, 防火認定. Rows include クリア, 熱線反射, etc.

ガラス留め材及び溝の大きさ 建具の種類 材質 ガラス溝の大きさ (mm) アルミニウム製 ◎シーリング材

6章 内装改修工事

6-1 改修範囲 (6.1.3)

既存壁の撤去に伴う当該壁の取合う天井、壁及び床の改修範囲 ◎壁厚程度とし、既存仕上げに準じた仕上げを行う 図示の範囲

6-2 既存床の撤去及び下地補修 (6.2.2)

ビニル床シート等の除去 ◎仕上げ材のみ (接着剤とも) 下地モルタルとも (◎図示の範囲 除去範囲の全て)

6-3 既存壁の撤去及び下地補修 (6.3.2) (4.3.10)

間仕切壁撤去に伴う他の構造体の補修 ◎図示 モルタル塗り (塗り厚 25mm を超える場合の補強) 行う 行わない

6-4 木下地 (6.5.2) (表 6.5.1.2)

木材の品質 市販品 樹種 ◎改修標仕表 6.5.6~9 による 代用樹種を適用する箇所 ()

6-5 造作用集成材 (6.5.2)

Table with 5 columns: 施工箇所, 樹種, 寸法 (mm), 見付け材面の等級, 間伐材等の適用. Rows include ホルムアルデヒド放散量, etc.

「集成材の日本農林規格」以外の造作用集成材

Table with 5 columns: 施工箇所, 樹種, 寸法 (mm), 見付け材面の品質, 含水率, 間伐材等の適用.

「集成材の日本農林規格」以外の化粧ばり造作用集成材

Table with 6 columns: 施工箇所, 化粧薄板の樹種, 芯材の樹種, 寸法 (mm), 見付け材面の厚さ (mm), 含水率, 間伐材等の適用.

Table with 2 columns: 工事名称, 図面番号. Rows include 矢板中学校体育館長寿命化改修工事, etc.

6-6 造作用単板積層材 (6.5.2)

ホルムアルデヒド放散量 規制対象外 第三種

Table with columns: 施工箇所, 厚さ(mm), 防虫処理, 表面の化粧加工, 間伐材等の適用

JAS 0701 (単板積層材) 以外の造作用単板積層材

Table with columns: 施工箇所, 厚さ(mm), 防虫処理, 表面の化粧加工, 含水率, 間伐材等の適用

JAS 3079 (直交集成板) によるCLT (直交集成板)

Table with columns: 施工箇所, 品名, 曲げ性能(強度等級), 種類, 接着性能(使用環境), 樹種, 寸法(mm), 間伐材等の適用

6-7 合板等 (6.5.8) (表 6.5.8)

ホルムアルデヒド放散量 規制対象外 第三種

「合板の日本農林規格」による普通合板

Table with columns: 施工箇所, 厚さ(mm), 表板の樹種名, 接着の程度, 板面の品質, 防虫処理, 間伐材等の適用

「合板の日本農林規格」による構造用合板

Table with columns: 施工箇所, 厚さ(mm), 等級, 表板の樹種名, 接着の程度, 板面の品質, 有効断面係数比, 防虫処理, 強度等級, 間伐材等の適用

「合板の日本農林規格」による化粧びり構造用合板

Table with columns: 施工箇所, 厚さ(mm), 単板の樹種名, 接着の程度, 防虫処理の適用, 間伐材等の適用

「合板の日本農林規格」による天然木化粧合板

Table with columns: 施工箇所, 化粧板に使用する単板の樹種名, 厚さ(mm), 接着の程度, 防虫処理の適用, 間伐材等の適用

「合板の日本農林規格」による特殊加工化粧合板

Table with columns: 施工箇所, 厚さ(mm), 接着の程度, 表面性能, 化粧加工の方法, 防虫処理の適用, 間伐材等の適用

パーティクルボード

Table with columns: 施工箇所, 表裏面の状態による区分, 曲げ強さによる区分, 耐水性による区分, 難燃性による区分, 厚さ(mm)

構造用パネル

Table with columns: 施工箇所, 厚さ(mm), 等級

MDF

Table with columns: 施工箇所, 厚さ(mm), 表裏面の状態による区分, 曲げ強さによる区分, 接着剤による区分, 難燃性による区分, 間伐材等の適用

6-8 防蟻・防蟻処理 (6.5.5)

防蟻、防蟻処理を省略できる樹種による製材

薬剤の加圧注入による防蟻・防蟻処理

Table with columns: 適用部材, 保存処理性能区分

薬剤の塗布等による防蟻・防蟻処理

Table with columns: 適用部材, 処理の方法, 薬剤の種類

薬剤の接着材への混入による防蟻・防蟻処理

6-9 接着剤 (6.5.3)

接着剤のホルムアルデヒド放散量 規制対象外 第三種

6-10 軽量鉄骨天井下地 (6.6.2~4) (表 6.6.1)

野縁等の種類 屋外形 (25形・19形) 屋内形 (19形・25形)

野縁、野縁受、つりボルト及びインサート及び周辺部の間隔 図示

既存の埋込インサート 使用する 使用しない

あつと施工アンカー施工後の確認試験 行う 行わない

特定天井及び特定天井の構造耐力上安全な構造方法を定める件(平成25年国土交通省告示第771号)に基づく工法 適用する 適用しない

6-11 軽量鉄骨壁下地 (6.7.3) (表 6.7.1)

スタッドの高さによる区分に応じた種類

Table with columns: 高さ 2.7m 以下, 高さ 4.0m 以下, 高さ 4.0m 超, 高さ 4.5m 超, 5.0m 超

6-12 ビニル床シート (6.8.2.3)

Table with columns: 種類, 種類の記号, 色柄, 厚さ(mm)

目地処理する場合の工法 熱溶接工法 突付け(施工箇所)

6-13 ビニル床タイル (6.8.2)

Table with columns: 種類の記号, 色柄, 寸法(mm), 厚さ(mm), 備考

6-14 特殊機能床 (6.8.2)

Table with columns: シート種別, 厚さ、寸法、形状(mm), 性能, 種類

6-15 ビニル幅木 (6.8.2)

材質 軟質 硬質

6-16 ゴム床タイル (6.8.2)

種類 単層 複層

6-17 カーベツト敷き (6.9.3) (表 6.9.2)

織じゅうたん

Table with columns: 種類, バイル形状, 色柄, 帯電性, 糸の種類, 工法

タフテッドカーベツト

Table with columns: バイル形状, バイル長(mm), 工法, 帯電性, 備考

タイルカーベツト

Table with columns: バイル形状, 種類, 寸法(mm), 総厚さ(mm), 備考

6-18 合成樹脂塗床 (6.10.2.3)

Table with columns: 種類, 施工箇所, 工法, 仕上げの種類

塗料のホルムアルデヒド放散量 規制対象外

6-19 フローリング張り (6.11.2~7) (表 6.11.1~4)

単層フローリング張り

Table with columns: 種類, 樹種, 厚さ(mm), 工法, 備考

複合フローリング張り

Table with columns: 種類, 樹種, 厚さ(mm), 工法, 種類, 種別(住宅)

ホルムアルデヒドの発散量 規制対象外 第三種

現場塗装仕上げ 行う(施工箇所) 行わない

6-20 畳敷き (6.12.2.3) (表 6.12.1)

Table with columns: 下地の種類, 畳の種類

6-21 ポリスチレンフォーム床下地材 (6.12.2.3) (表 6.12.1)

ノンフロンのもの [G]

Table with columns: 床, 厚さ(mm), 備考

6-22 セッコウボードその他ボード及び合板張り (6.13.2.3) (表 6.13.1.3.5)

Table with columns: 種類, 厚さ(mm)、規格等

軽量鉄骨下地ボード遮音壁の遮音シール材

合板類、繊維板、及びパーティクルボードのホルムアルデヒドの放散量 規制対象外 第三種

6-23 吸音材 (6.13.2) (表 6.13.1)

Table with columns: 種類, JISの記号, 厚さ(mm)

6-24 壁紙張り (6.14.2.3) (表 7.3.4.7)

Table with columns: 施工箇所, 壁紙の種類, 防火性能, 備考

モルタル、セッコウプラスター面の下地調整

6-25 モルタル塗り (6.15.3)

防水モルタルの防水剤 製造所 評価名簿による

既製目地材 設ける 施工箇所() 形状()

モルタル 現場調査材料 既調査材料()

床の目地 設ける

6-26 陶磁器質タイル (6.16.3.4)

Table with columns: 施工箇所, 形状寸法(mm), 吸水率による区分, うわ葉, 役物, 色, 再生材の適用[G], 耐凍害性, 備考

6-27 断熱材 (6.19.2~4)

Table with columns: 種類, 施工箇所, 厚さ(mm), 品質等

断熱材打込み工法

Table with columns: 種類, 施工箇所, 厚さ(mm), 品質等

断熱材現場発泡工法

Table with columns: 種類, 施工箇所, 厚さ(mm), 品質等

断熱材めと張り工法(S1工法等)

Table with columns: 種類, 施工箇所, 厚さ(mm), 品質等

ロックウール、グラスウール、ユリア樹脂またはメラミン樹脂を使用した断熱材のホルムアルデヒドの放散量

規制対象外 第三種

6-28 フリーアクセスフロア (標仕 20.2.2)

Table with columns: 施工箇所, 構法, 設定高さ(mm), 適用地震時水平力, 耐荷重性能(N/m²), 表面仕上げ材

表面仕上げ材の品質・規格等は、標仕19章内装工事による

設備用取出しパネル 配線取出し開口: パネル1枚につき40mm×80mm程度の開口1カ所以上

6-29 可動間仕切 (標仕 20.2.3)

Table with columns: 構造形式, パネル部の総厚さ(mm), 表面材厚さ(mm), 表面仕上げ, 遮音性能, 防火性能

品質 JIS A 6512 によるものまたは評価名簿による

6-30 移動間仕切 (標仕 20.2.4)

Table with columns: 遮音性能による区分, 厚さ(mm), 表面材, 表面仕上げ, 操作方式

表面仕上げの壁紙張りの品質は標仕19章内装工事による

6-31 トイレブース (標仕 20.2.5)

表面仕上げ材 メラミン樹脂系化粧板(標準色アルミ製コーナーエッジ付き)

足形状 幅木型 足金物型

6-32 階段滑り止め (標仕 20.2.7)

材質 ステンレス(SUS304) アルミ

取付工法 接着工法 埋込み工法 接着ビス併用

6-33 階段手すり

Table with columns: 種類, 施工箇所

6-34 黒板及びホワイトボード (標仕 20.2.9)

Table with columns: 種類, 寸法, 色彩, 備考

6-35 鏡 (標仕 20.2.10)

厚さ 5mm

6-36 表示 (標仕 20.2.11)

Table with columns: 区分, 材質, 取付位置

誘導標識、非常用出入口表示等は市販品とする。

6-37 ブラインド (2.3.1)(5.1.6) (標仕 20.2.14)

Table with columns: 形式, 操作方法, 種類, スラットの材質, スラット幅(mm), ボックス、レールの材種

6-38 ロールスクリーン (標仕 20.2.15)

防火性能 有 無

操作方式 スプリング式 コード式 電動式

Table with columns: 工事名称, 図面名称/縮尺, 設計年月日, 設計者, 発注者

・8-2-5 耐震スリットの施工 (8.25.2)

耐震スリット部の配管等の探査

◎探査器により探査し、配管等の位置の掘出しを行う ・はつり出し

充填材

◎外壁に配置された耐震スリット材は耐火性能及び止水性能を有するものとし、その他は図示による。

9章 環境配慮工事

・9-1 アスベスト粉じん濃度測定 (9.1.1)

アスベスト粉じん濃度測定

・行う (測定名称及び測定点は下表による)

測定箇所 ◎図示 ・下表による

Table with 5 columns: 測定名称, 測定時期, 測定場所, 測定点, 備考. Rows include 測定1 (処理作業前), 測定2 (処理作業中), 測定3 (処理作業中), 測定4 (処理作業中), 測定5 (処理作業中), 測定6 (処理作業後), 測定7 (処理作業後), 測定8 (隔離シート撤去前).

アスベスト粉じん濃度測定は「JIS K 3850-1 空気中の繊維状粒子測定方法-第1部：光学顕微鏡法及び走査電子顕微鏡法」による位相差・分散顕微鏡法による。

測定機関は、都道府県労働局に登録されている作業環境測定機関とする。

Table with 4 columns: 測定3, 測定1, 2, 4, 6, 7, 8, 測定5. Rows include 計測機器 (位相差顕微鏡), メンブレンフィルタの直径 (25mm), 試料の吸引流量 (1 l/min, 5 l/min, 10 l/min), 試料の吸引時間 (5min, 120min, 240min), 試料の透明化 (アセトナーリアセチレン法またはシュウ酸ジエチル法), 計数条件 (総アスベスト繊維数 200本または視野数 50視野), 計数アスベスト (直径 3 μm未満、長さ 5 μm以上、長さ×直径比 3 : 1以上), 定常限界 (50f/l, 0.5f/l, 0.3f/l).

報告書の作成 (記載する項目)

- ア 測定結果
イ 測定時間
ウ 測定位置 (測定高さとともに図面上に記載する)
エ サンプリング条件 (メンブレンフィルタ直径、吸引時間、吸引空気量)
オ マウンティング方法
カ 顕微鏡視野面積、計数視野数
キ 測定時 (各測定場所ごと) 天候、温度、湿度、外気の風速及び風向

◎9-2 アスベスト含有材の処理 (9.1.3~6)

・アスベスト含有吹き付け材の除去
除去範囲 ◎図示
除去工法 改修標仕 9.1.3 によるほか、除去の部位・内容に応じた除去は専門工事業者の仕様による。

処理方法 ◎密封処理 (二重袋梱包) ◎湿潤化 ・セメント固化
隔離養生に用いたシート、使用した使い捨て保護衣、高性能真空掃除機フィルタ、粉じん機フィルタについても密封処理を行う。

除去したアスベスト含有吹付け材等の処分
・埋立処分 (管理型最終処分場) ・中間処理 (溶融施設または無害化処理施設)

・アスベスト含有保温材の除去
除去範囲 ◎図示
除去工法 ・改修標仕 9.1.4 による (原形のまま、手ばらしが可能な場合)
処理方法 ◎密封処理 (二重袋梱包) ◎湿潤化 ・セメント固化
除去したアスベスト含有保温材の処分
・埋立処分 (管理型最終処分場) ・中間処理 (溶融施設または無害化処理施設)

●アスベスト含有成型板等の除去
除去範囲 ●図示
除去工法 ・改修標仕 9.1.5 による
除去したアスベスト含有成型板等の処分
・アスベスト含有石膏ボード
◎埋立処分 (管理型最終処分場)
●アスベスト含有石膏ボードを除くアスベスト含有成型板等
●埋立処分 (安定型最終処分場) ・中間処理 (溶融施設または無害化処理施設)

・アスベスト含有建築用仕上塗材の除去
除去範囲 ◎図示
除去工法 ・改修標仕 9.1.6 による
除去したアスベスト含有建築用仕上塗材の処分
・埋立処分 (管理型最終処分場)
・埋立処分 (安定型最終処分場)
・中間処理 (溶融施設または無害化処理施設)

・9-3 外断熱改修工事 (9.3.2~4)

Table with 3 columns: 断熱材の種類, 材料名, 厚さ (mm). Rows include ビーズ法ポリスチレンフォーム (ノンフロロン[G]), 押出法ポリスチレンフォーム (ノンフロロン[G]), 硬質ウレタンフォーム (ノンフロロン[G]), フェノールフォーム, ロックウール, グラスウール. Includes 外装材の種類 and 防火性能.

既存外壁の仕上材の撤去 ・有 ・無
下地面の清掃及び下地調整 ◎断熱材製造所の指定する仕様
運気層 ・有 (mm) ・無
試験施工、工法及び品質は、確認できる資料を提出し監督職員の承諾を受ける。
特記なき事項は、製造所の仕様による。

・9-4 屋上緑化改修工事 [G] (9.4.1)

植栽基盤及び材料

・屋上緑化軽量システム
芝及び地被類の樹種並びに種類等 ◎図示

・9-5 透水性アスファルト舗装改修工事 [G] (9.5.3, 4, 9) (表 9.5.1, 3, 5)

凍上抑制層の材料

・凍上抑制層 ◎再生クラッシュラン [G] ・クラッシュラン切込み砂利 ・砂

厚さは図示による

盛り土に用いる材料

・A種 ◎B種 ・C種 ・D種

路床安定処理

◎添加材料による安定処理

種類 ・普通ポルトランドセメント ・フライアッシュセメントB種

・生石灰 () ・消石灰 ()

添加量 ・ kg/m3 (目標 CBR ・5以上 ・)

路盤材料

◎再生クラッシュラン (R0-40) [G]

・クラッシュラン鉄鋼スラグ (GS-40) [G]

・クラッシュラン (G-40)

透水性アスファルト舗装に用いる場合は透水性の高いもの

路床土の支持力比 (CBR) 試験 ◎行う (・乱した土 ◎乱さない土) ・行わない

路床締固め度の試験 ◎行う ・行わない

砂の粒度試験 ◎行う ・行わない

現場 CBR 試験 ◎行う ・行わない

セメント及びセメント系固化剤を使用した路床安定処理を行った場合の六価クロム溶出試験 ◎行う 「セメント及びセメント系固化剤を使用した六価クロム溶出試験要領(案)」による。

アスファルト混合物等の抽出試験 ・行う ◎行わない

・9-6 PCB含有シーリング材の処分

(1) 事前調査等

シーリング材のサンプルについて、専門分析機関で分析を行うこと。

・現場においてサンプルを採取

採取箇所 ◎外壁目地 ・図示

採取箇所数 ◎部材が異なる毎に1箇所 ・図示

分析により PCB の含有が確認された場合は施工調査等を行い、適切に処理すること。

(2) 施工調査等

調査範囲 ◎図示

処分にあたり、あらかじめ次の事項について調査等を行うこと。

シーリング使用部位の確認

シーリング長さの確認

施工範囲と工事管理区分の確認

仮設計画

廃棄物等の搬出方法

(3) 除去処理工事

除去方法

「標準施工要領書 (日本シーリング工事共同組合連合会/日本シーリング材工業会) による。

・9-7 処理に注意を要する建設副産物

Table with 5 columns: 名称, 仕様, 数量, 備考. Rows include CCA処理木材, 石膏含有石膏ボード, ひ素・カドニウム含有石膏ボード, 上記以外の石膏ボード.

石膏ボードの撤去にあたっては、下記に事項について施工前調査を行う。

調査結果は、図面及び写真に記録し、監督職員に提出する。

(1) 石膏ボードの使用部位の確認

(2) 石膏ボードの種類、製造会社名、厚さ等の確認、記録

(3) 石膏ボードの使用数量の確認

(4) 施工範囲等の確認

処分を委託する際には、マニフェストの備考欄に石膏ボードの有無、製造会社名等を記載する。

別表-1 他工事との取り合い

Table with 10 columns: 工事内容, 建築工事, 電気設備工事, 機械設備工事, 塗装工事, 昇降機工事, 電気工事, 昇降機工事, 昇降機工事. Rows list various construction tasks such as power cable laying, gas piping, drainage, and structural work.

Table with 10 columns: 既設吊戸棚, 鏡, 昇降機の出入口開口の型枠, 昇降機の乗場ボタン, インジケーター配管用スリーブ及び型枠, 昇降機のビット内保守用コンセント, 外壁取付ガラリ, 排煙口, 体育館などの器具・安定器など取付下地金物, 昇降機インターホンの配管・配線.

Table with 4 columns: 工事名称, 図面名称/縮尺, 設計年月日, 設計者, 発注者. Content: 矢板中学校体育館長寿命化改修工事, 特記仕様書 (その6), A-06, 栃木県矢板市教育委員会.

図 面 リ ス ト

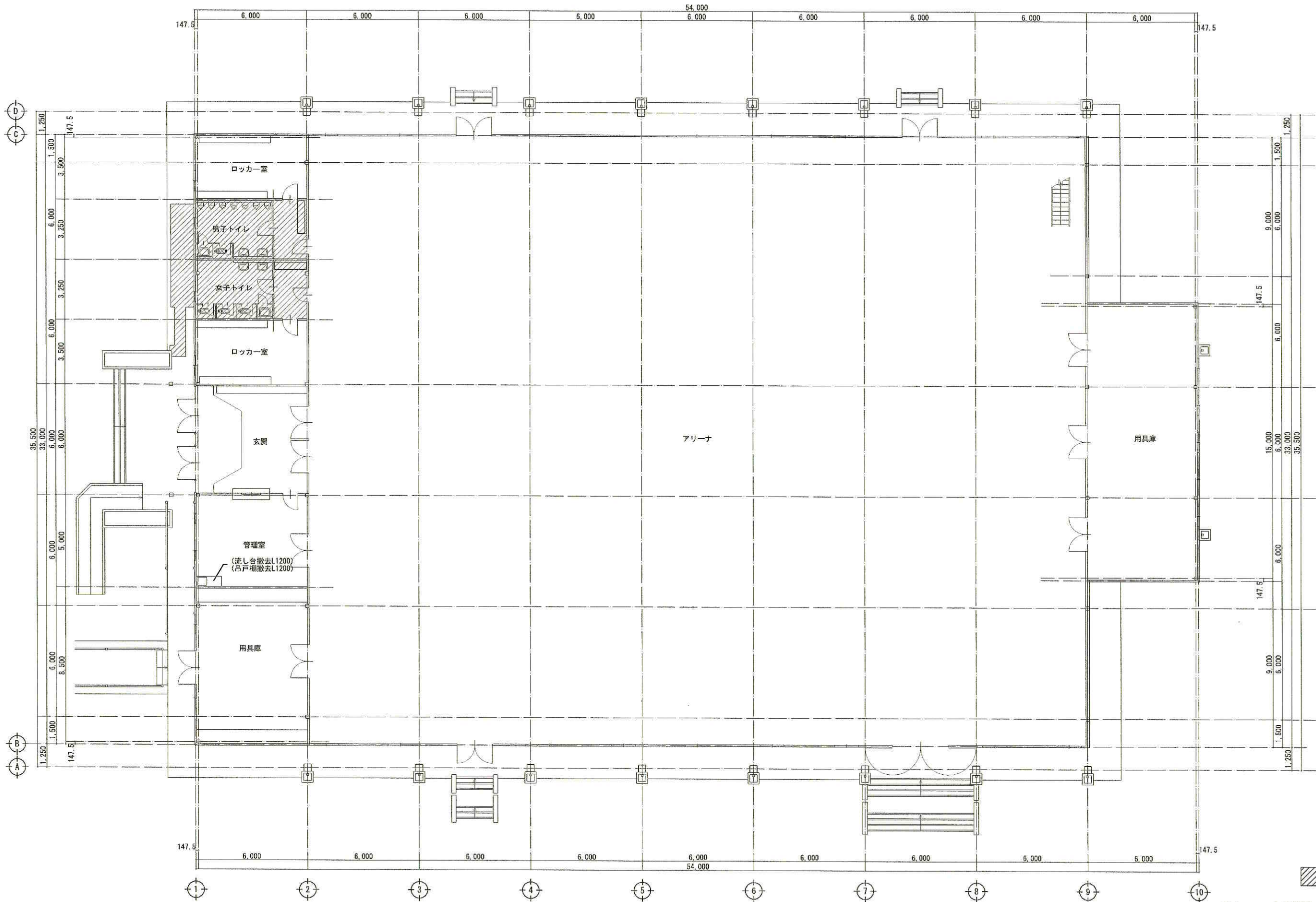
図面番号	図 面 名	図面番号	図 面 名	図面番号	図 面 名
00	図面リスト	A-20	断面詳細図2 (改修前)	E-06	1F電灯コンセント図 (改修前)
A-01	改修工事特記仕様書 (その1)	A-21	断面詳細図1 (改修後)	E-07	1F電灯コンセント図 (改修後)
A-02	改修工事特記仕様書 (その2)	A-22	断面詳細図2 (改修後)	E-08	トイレ平面詳細図 (改修後)
A-03	改修工事特記仕様書 (その3)	A-23	平面詳細図 展開図	E-09	アリーナ電灯設備図 (改修前)
A-04	改修工事特記仕様書 (その4)	A-24	屋根伏図 (改修前)	E-10	アリーナ電灯設備図 (改修後)
A-05	改修工事特記仕様書 (その5)	A-25	屋根伏図 (改修後)	E-11	自動火災警報設備図 (改修前)
A-06	改修工事特記仕様書 (その6)	A-26	1F天井伏図 (改修前)	E-12	自動火災警報設備図 (改修後)
A-07	案内図 配置図	A-27	2F天井伏図 (改修前)		
A-08	仕上表	A-28	1F天井伏図 (改修後)	M-01	機械設備工事特記仕様書 (その1)
A-09	1F平面図 (改修前)	A-29	2F天井伏図 (改修後)	M-02	機械設備工事特記仕様書 (その2)
A-10	2F平面図 (改修前)	A-30	キープラン 建具表1	M-03	機械設備工事特記仕様書 (その3)
A-11	1F平面図 (改修後)	A-31	建具表2	M-04	案内図 配置図
A-12	2F平面図 (改修後)	A-32	詳細図1	M-05	凡例機器表
A-13	立面図 東 南 (改修前)	A-33	詳細図2	M-06	平面図 (改修前)
A-14	立面図 西 北 (改修前)			M-07	平面図 (改修後)
A-15	立面図 東 南 (改修後)	E-01	電気設備工事特記仕様書 (その1)	M-08	換気設備平面詳細図 (改修前)
A-16	立面図 西 北 (改修後)	E-02	電気設備工事特記仕様書 (その2)	M-09	換気設備平面詳細図 (改修後)
A-17	断面図 (改修前)	E-03	電気設備工事特記仕様書 (その3)	M-10	衛生給排水設備平面詳細図 (改修前)
A-18	断面図 (改修後)	E-04	案内図 配置図	M-11	衛生給排水設備平面詳細図 (改修後)
A-19	断面詳細図1 (改修前)	E-05	盤図		

設計	担当	製図	検図	承認	設計年月日	工 事 名	図 面 名	縮 尺	番 号
					R5.10.20	矢板中学校体育館長寿命化改修工事	図面リスト	A1 A3	00

外部仕上表							
	床	壁 (1F)	壁 (2F)	大屋根 (アリーナ)	陸屋根 (玄間、1-2通り、9-10通り)	軒天	備考
現況	モルタル金ゴテ	ALC板ア50 防水型外装薄塗材E 胴縁C-100×50×20×2.3@500	ケイカル板ア8ジョイナー張り 防水型外装薄塗材E 胴縁C-100×50×20×2.3@500	カラー亜鉛鉄板ア0.4瓦葺き アスファルトフェルト22kg 木毛セメント板ア30	平場：シート防水、シート防水の上ウレタン塗膜防水絶縁 立上り：シート防水、シート防水の上ウレタン塗膜防水密着	ケイカル板ア6目透かし EP 軽量鉄骨下地 25型	大屋根：軒幅鋼板ア0.8、壁幅口-100×10×1.6 陸屋根：ヨコ引きドレン 75φ 筋り樹 壁幅VP75 ZFサッシ上枠 耐水性鋼板ア1.6
撤去	既存ママ	既存ママ	既存ママ	棟撤去 唐草撤去	ALC板ア75 立上り：ウレタン塗膜防水密着撤去	ケイカル板ア6目透かし EP 撤去 軽量鉄骨下地 25型 撤去	大屋根：軒幅撤去 雪止め撤去 陸屋根：ドレン撤去、筋り樹撤去 壁幅撤去
改修	段鼻タイル補修、爆裂部補修	高圧水洗 建具周囲シーリング改修、板間シーリング改修	角リブ カラーガルバ鋼板ア0.35張り ヨコ胴縁 帯鋼ア3.2 W32	横段葺アルミ押出型材ア1.2ボリア4裏打 吊子アルミ押出材 改質7277M-フイグア1.0	高圧水洗 ウレタン塗膜防水 通気緩衝シート機械固定工法 防水層内脱気システム	ケイカル板ア6目透かし 新設 EP 軽量鉄骨下地 25型 新設	大屋根：軒幅：落ち葉除け一体式軒幅、壁幅：DP塗替え 雪止め 朝日型 SUS製 @420程度 陸屋根：改修用ドレン設置 壁幅VP75設置

外部仕上表												
室名		床	巾木	H	腰	H	壁	廻縁		天井	CH	備考
アリーナ	既設	仕上	ナラフローリングア27 UG	ラワン OS	100	→	壁木リブ60×15@90 有孔シナ合板ア5.0 OS			野地板あらかし		
		下地	金属床組				胴縁45×21@450 コンクリート/CB/木軸組					
	撤去	仕上	既存ママ	既存ママ	100	→	既存ママ 一部撤去			既存ママ		CB間仕切り撤去 (2通り前室部分)
		下地					既存ママ 一部撤去					
改修	仕上	既存ママ	OS塗替え	100	→	OS塗替え/撤去部化粧材/貼板ア6+石膏ボードア9.5			一部DP塗替え			
	下地		既存ラワン OS			既設リブ+有孔シナ合板/撤去部軽量鉄骨壁下地65型						
用具庫 (北)	既設	仕上	ビニル床タイル	ラワン OS	100	→	合板ア5.5 OS	塩ビ見切		シナ合板ア5.5 SOP	2700	
		下地	土間コンクリート下地モルタル				CB/木軸組下地			軽量鉄骨天井下地19型		
	撤去	仕上	ビニル床タイル撤去	既存ママ	100	→	既存ママ	既存ママ		既存ママ	2700	
		下地					既存ママ					
改修	仕上	ビニル床シート	EP-G	100	→	OS塗り替え 一部劣化部貼り換え	塩ビ見切		EP-G塗り替え 一部劣化部貼り換え	2700		
	下地	既存土間コンクリート下地モルタル	既存ラワン			既設 合板ア5.5 OS			既設シナ合板ア5.5 SOP			
玄間	既設	仕上	ビニル床タイル/モルタル金ゴテ	ラワン SOP	100	→	シナ合板ア5.5 SOP	塩ビ見切		ケイカル板ア6目透かし EP	2600	
		下地	土間コンクリート下地モルタル				CB/木軸組下地			軽量鉄骨天井下地19型		
	撤去	仕上	ビニル床タイル撤去	既存ママ	100	→	既存ママ	廻り縁撤去		天井上撤去	2600	
		下地					既存ママ			天井下地 (軽量鉄骨) 撤去		
改修	仕上	ビニル床シート	EP-G	100	→	EP-G塗り替え 一部劣化部貼り換え	塩ビ見切		化粧石膏ボードア9.5	2600		
	下地	既存土間コンクリート下地モルタル	既存ラワン			既設 シナ合板ア5.5 SOP			軽量鉄骨天井下地19型			
管理室	既設	仕上	ビニル床タイル	ラワン SOP	100	→	シナ合板ア5.5 SOP	塩ビ見切		化粧石膏ボードア9.5	2500	
		下地	土間コンクリート下地モルタル				CB/木軸組下地			軽量鉄骨天井下地19型		
	撤去	仕上	ビニル床タイル撤去	既存ママ	100	→	既存ママ	廻り縁撤去		既存ママ	2500	流し台吊戸棚撤去
		下地					既存ママ					
改修	仕上	ビニル床シート	EP-G	100	→	EP-G塗り替え 一部劣化部貼り換え	塩ビ見切		EP-G塗り 一部劣化部貼り換え	2500		
	下地	既存土間コンクリート下地モルタル	既存ラワン			既設 シナ合板ア5.5 SOP			既設化粧石膏ボードア9.5			
ロッカー室	既設	仕上	ビニル床タイル(女子)/ビニル床シート(男子)	ラワン SOP	100	→	シナ合板ア5.5 SOP (女子)/石膏ボードア12.5 (男子) SOP	塩ビ見切		ケイカル板ア6 EP	2500	
		下地	土間コンクリート下地モルタル				CB/木軸組下地			軽量鉄骨天井下地19型		
	撤去	仕上	ビニル床タイル撤去	既存ママ	100	→	既存ママ	廻り縁撤去		既存ママ	2500	出入口ドア撤去
		下地					既存ママ					
改修	仕上	ビニル床シート(女子)/既存ママ(男子)	EP-G	100	→	EP-G塗り替え 一部劣化部貼り換え	塩ビ見切		EP塗り替え 一部劣化部貼り換え	2500		
	下地	既存土間コンクリート下地モルタル	既存ラワン			既設 シナ合板ア5.5 SOP/石膏ボードア12.5 SOP			既設ケイカル板ア6 EP			
前室	既設	仕上	ビニル床タイル	ラワン SOP	100	→	シナ合板ア5.5 SOP	塩ビ見切		ケイカル板ア6 EP	2500	
		下地	土間コンクリート下地モルタル				CB/木軸組下地			軽量鉄骨天井下地19型		
	撤去	仕上	ビニル床タイル撤去	撤去			既存ママ	廻り縁撤去		天井上撤去	2500	軽量鉄骨下地間仕切り撤去 水飲み撤去 出入口ドア撤去
		下地	土間コンクリート撤去				既存ママ			天井下地 (軽量鉄骨) 撤去		
改修	仕上	ビニル床シート	ビニル床シート	200	→	石膏ボードア9.5+化粧ケイカル板ア6	塩ビ見切		化粧石膏ボードア9.5	2400	ライニング 天井点検口450×450 2か所	
	下地	土間コンクリート打ち金ゴテ押え	木製胴縁18×45程度@455/軽量鉄骨壁下地			木製胴縁18×45程度@455/軽量鉄骨壁下地			軽量鉄骨天井下地19型			
男女トイレ	既設	仕上	モザイクタイル	100角タイル 下地モルタル		→	100角タイル 下地モルタル	塩ビ見切		ケイカル板ア6 EP	2500	
		下地	土間コンクリート下地モルタル	CB/木軸組下地			CB/木軸組下地			軽量鉄骨天井下地19型		
	撤去	仕上	土間コンクリート撤去	既存ママ		ライニング撤去	既存ママ	廻り縁撤去		天井上撤去	2500	軽量鉄骨下地間仕切り撤去
		下地					既存ママ			天井下地 (軽量鉄骨) 撤去		トレージ撤去 CBライニング撤去
改修	仕上	ビニル床シート	ビニル床シート	200	→	石膏ボードア9.5+化粧ケイカル板ア6	塩ビ見切		化粧石膏ボードア9.5	2400	ライニング	
	下地	土間コンクリート打ち金ゴテ押え	木製胴縁18×45程度@455/軽量鉄骨壁下地			木製胴縁18×45程度@455/軽量鉄骨壁下地			軽量鉄骨天井下地			
用具庫 (南)	既設	仕上	ビニル床タイル	ラワン OS	100	→	合板ア5.5 OS	塩ビ見切		化粧石膏ボードア9.5	2700	
		下地	土間コンクリート下地モルタル				CB/木軸組下地			軽量鉄骨天井下地19型		
	撤去	仕上	ビニル床タイル撤去	既存ママ	100	→	既存ママ	既存ママ		既存ママ	2700	
		下地					既存ママ					
改修	仕上	ビニル床シート	EP-G	100	→	OS塗り替え 一部劣化部貼り換え	塩ビ見切		EP-G塗り 一部劣化部貼り換え	2700		
	下地	既存土間コンクリート下地モルタル	既存ラワン			既設 合板ア5.5 OS			既設化粧石膏ボードア9.5			
ギャラリ	既設	仕上	ウレタン系塗床			→	シナ合板ア5.5 SOP			野地板あらかし		
		下地	土間コンクリート下地モルタル				胴縁C-100×50×20×2.3@500					
	撤去	仕上	既存ママ				既存ママ			既存ママ		
		下地					既存ママ					
改修	仕上	ビニル床シート				→	EP-G塗り替え 一部劣化部貼り換え			既存ママ		手すりDP塗替え
	下地	モルタル薄塗り				→	既設 シナ合板ア5.5 SOP					

特記													
・現況と図面に相違がある場合は現況優先とする			・横段葺アルミ押出型材ア1.2ボリア4裏打 吊子アルミ押出材はアルミアピア程度				・ライニング 天板 ポストフォームW150 ア20 化粧ケイカル板ア6+石膏ボードア9.5 LGS100下地						
・ウレタン塗膜防水は超速硬化ウレタンゴム系塗膜防水 (スプレー工法) とする			・落ち葉除け一体式軒幅は元目内幅W182程度				塗装略記号						
・ウレタン塗膜防水通気緩衝シート機械固定工法は詳細図参照			・前室、トイレの石膏ボードア9.5はシーキング石膏ボードとする										
・ウレタン塗膜防水密着工法は詳細図参照			・化粧ケイカル板ア6はジョイナー貼り										
・防水層内脱気システムはETA強制ベント工法程度とし以下による			・男女トイレ、前室はビニル床シートはエポキシ樹脂系接着剤貼り				・トイレ室名札 214-630 アクリル+SUSビクトFS-9程度						
通気シート (コアコーン) ア4.5			・外部鉄骨見え掛り部分はDP塗り										
ソーラーJET脱気筒×各1箇所 (1-1通り屋根、9-10通り屋根)			・内部鉄骨見え掛り部分はDP塗り (小屋組み特記以外部分除く)										
SUS脱気筒×各2箇所 (1-2通り屋根、9-10通り屋根)			・DP塗りは3級 下地処理RR塗止め塗り										
・改修用ドレンは既設受け皿ストレーナー撤去													
・高圧水洗は15MPa程度													
設計 担当 製図 検図 承認 設計年月日													
工事名										図面名		縮尺	番号
矢板中学校体育館長寿命化改修工事										仕上表		A1 1/200	A-08
												A3 1/400	

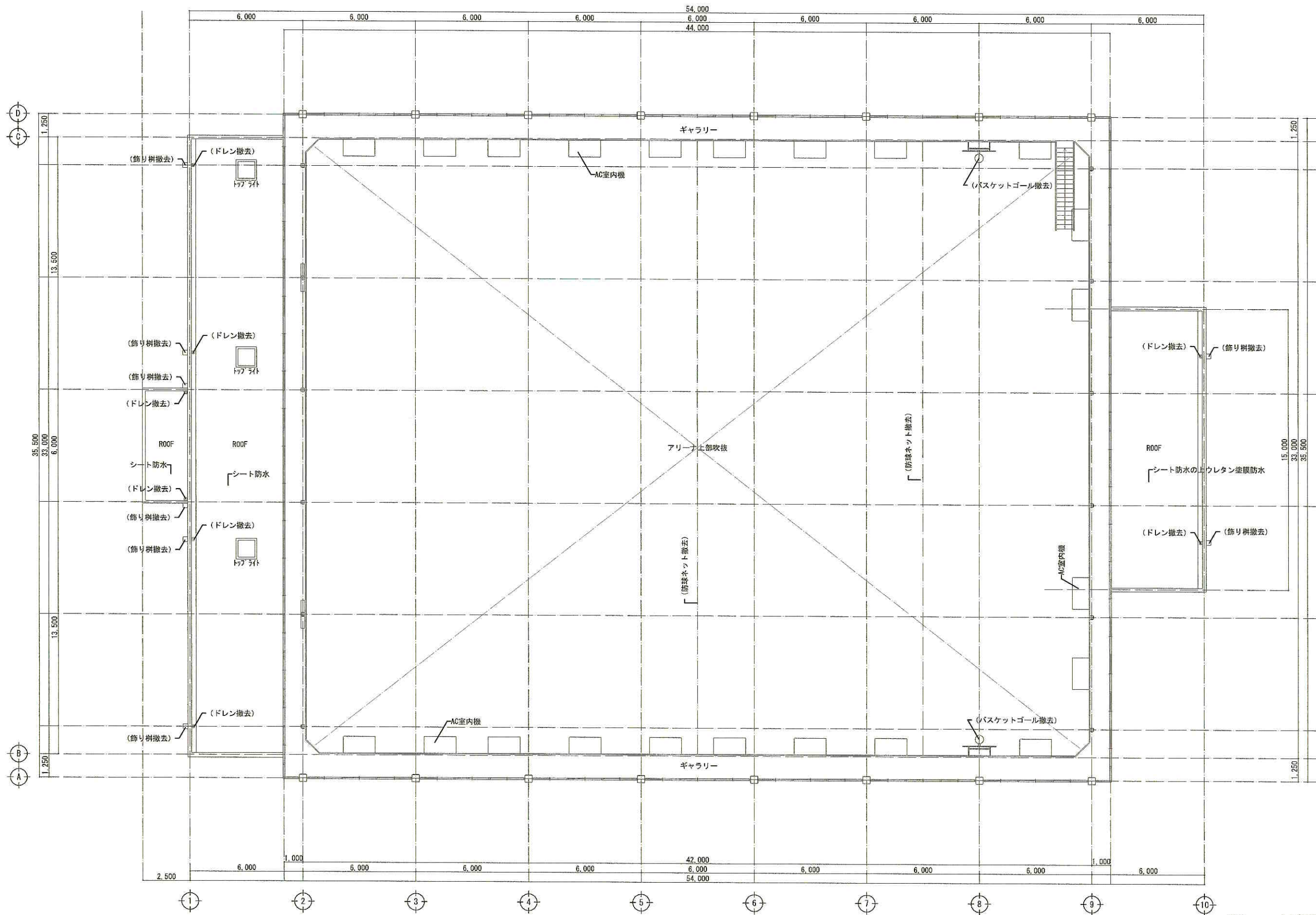


1F平面図 (改修前) 1/100

※ () 工事範囲

- 特記
- ・現況と図面に相違がある場合は現況優先とする
 - ・解体部分には適量カッター入を行う
 - ・解体撤去は残材処分共

設計	担当	製図	検図	承認	設計年月日	工事名	図面名	縮尺	番号
						矢板中学校体育館長寿命化改修工事	1F平面図 (改修前)	A1 1/100 A3 1/200	A-09

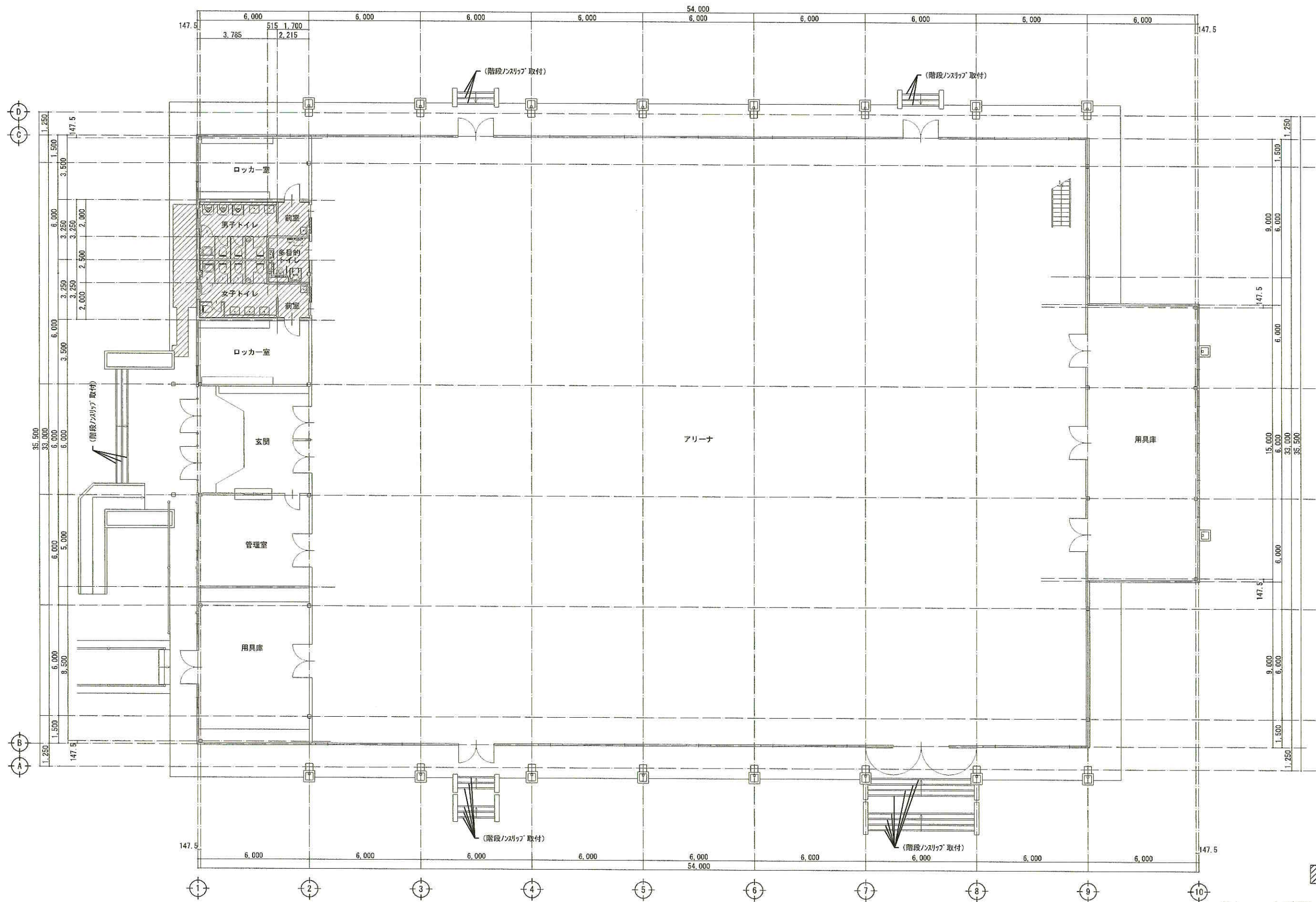


2F平面図 (改修前) 1/100

※ () 工事範囲

- 特記
- ・現況と図面に相違がある場合は現況優先とする
 - ・躯体部分には適宜カッター入を行う
 - ・躯体撤去は残材処分

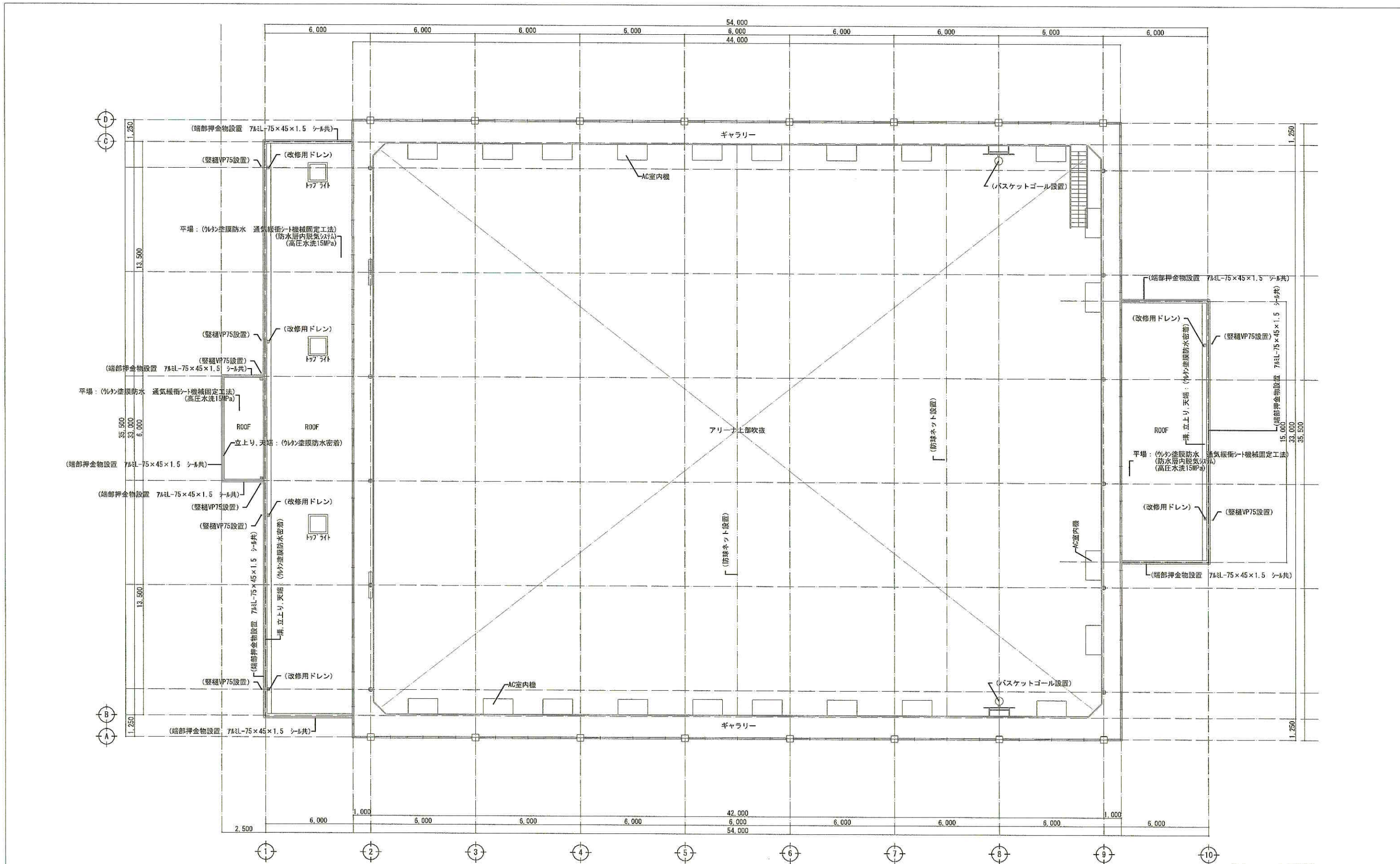
設計						工事名		図面名		縮尺		番号
設計	担当	製図	検図	承認	設計年月日	矢板中学校体育館長寿命化改修工事		2F平面図 (改修前)		A1	1/100	A-10
										A3	1/200	



1F平面図 (改修後) 1/100

- ※ () 工事範囲
- 特記
- ・現況と図面に相違がある場合は現況優先とする
 - ・躯体部分には適宜カッター入を行う
 - ・躯体撤去は残材処分共
 - ・階段ノスリッパは75mm幅75mm止めでシコク材まで埋めること
 - ・土間配筋 D10@200タテヨコ
 - ・既存土間配筋に40mmで定着のこと

設計	担当	製図	検図	承認	設計年月日	工事名	図面名	縮尺	番号
						矢板中学校体育館長寿命化改修工事	1F平面図 (改修後)	A1 1/100 A3 1/200	A-11



2F平面図 (改修後) 1/100

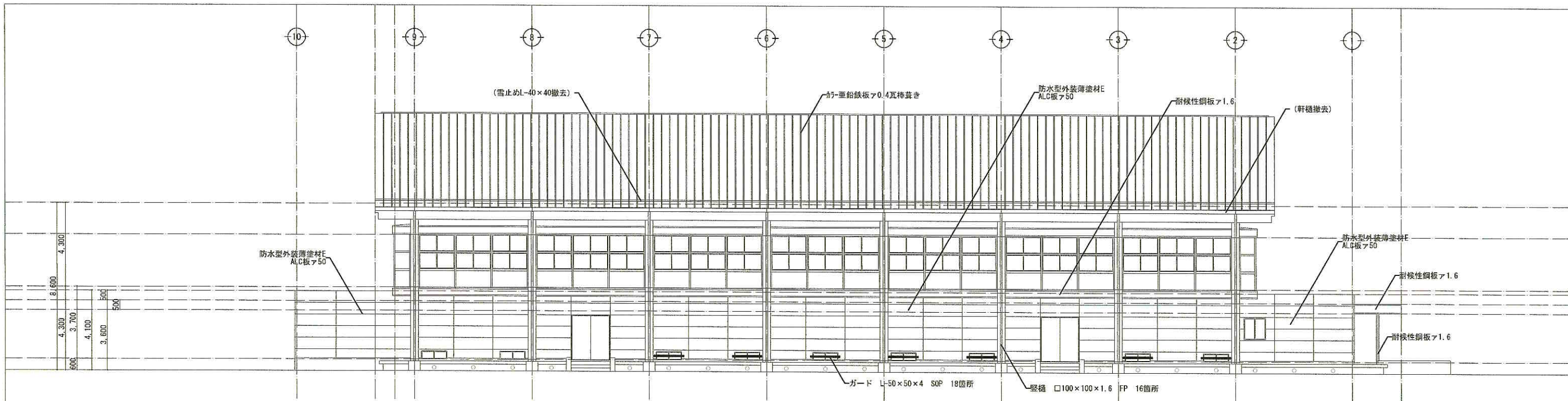
バスケットゴール
壁面ステー吊下固定式
着及用木装板1800×1050
参考品番05032100

防球ネット
片引きチェーン操作式
ビードロン110目
参考品番HAT11000

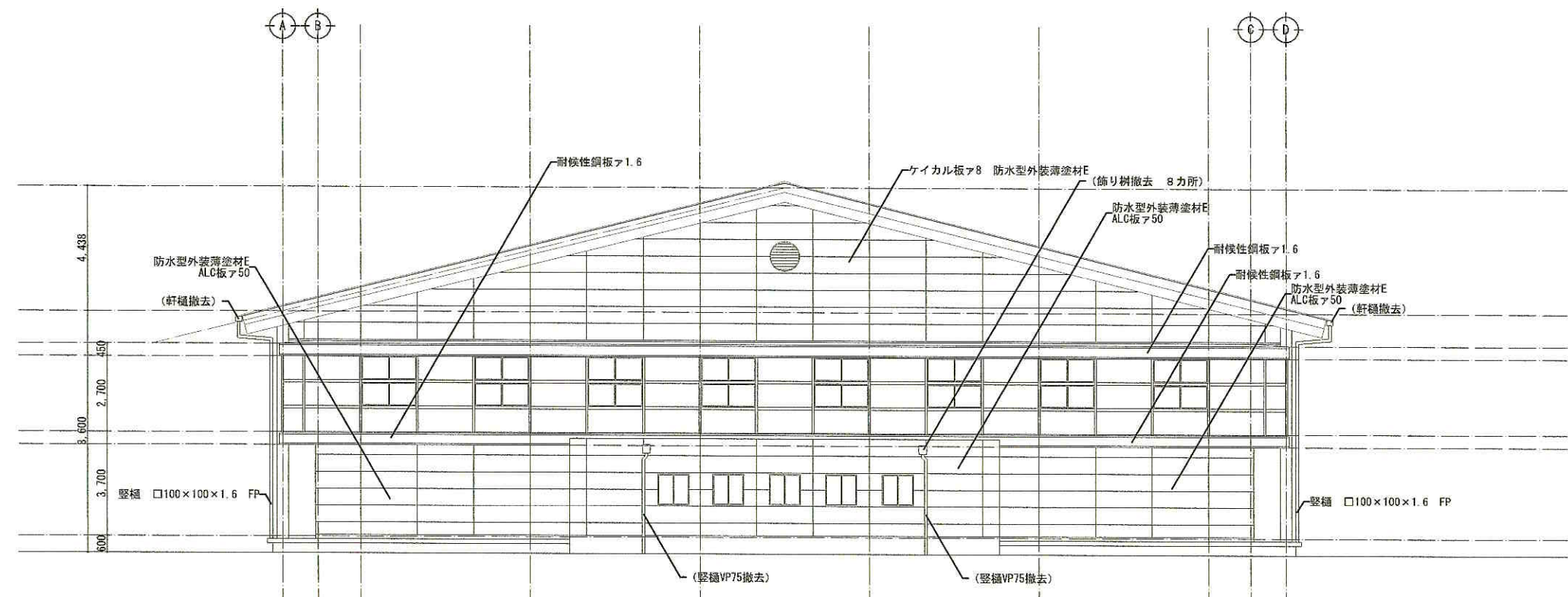
※ () 工事範囲

特記	
・	現況と図面に相違がある場合は現況優先とする
・	解体部分には適宜カッター入を行う
・	解体撤去は残材処分共

設計	担当	製図	検図	承認	設計年月日	工事名	図面名	縮尺	番号
						矢板中学校体育館長寿命化改修工事	2F平面図 (改修後)	A1 1/100 A3 1/200	A-12



東立面図 (改修前) 1/100



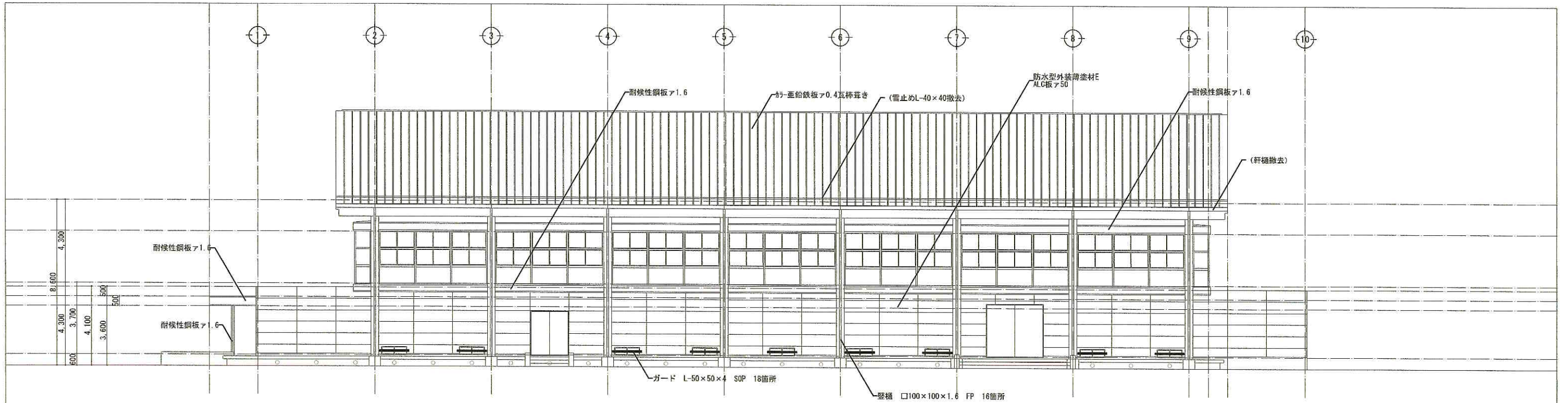
南立面図 (改修前) 1/100

※ () 工事範囲

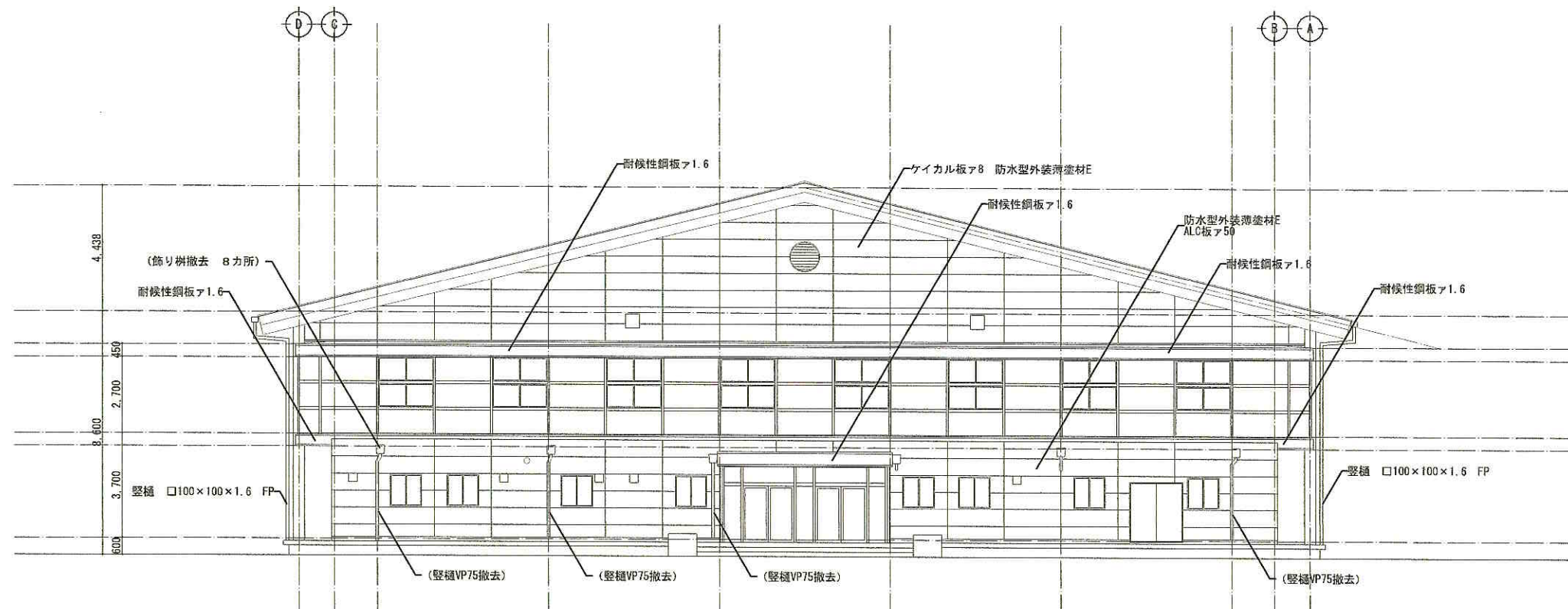
特記

- ・現況と図面に相違がある場合は現況優先とする
- ・解体部分には適量カッター入を行う
- ・解体撤去は残材処分共
- ・外壁面に取付く特記なき配管、設備機器類は存置とする
- ・外部建具廻りシーリング撤去

設計	担当	製図	検図	承認	設計年月日	工事名	図面名	縮尺	番号
						矢板中学校体育館長寿命化改修工事	立面図 東南(改修前)	A1 1/100 A3 1/200	A-13



西立面図 (改修前) 1/100



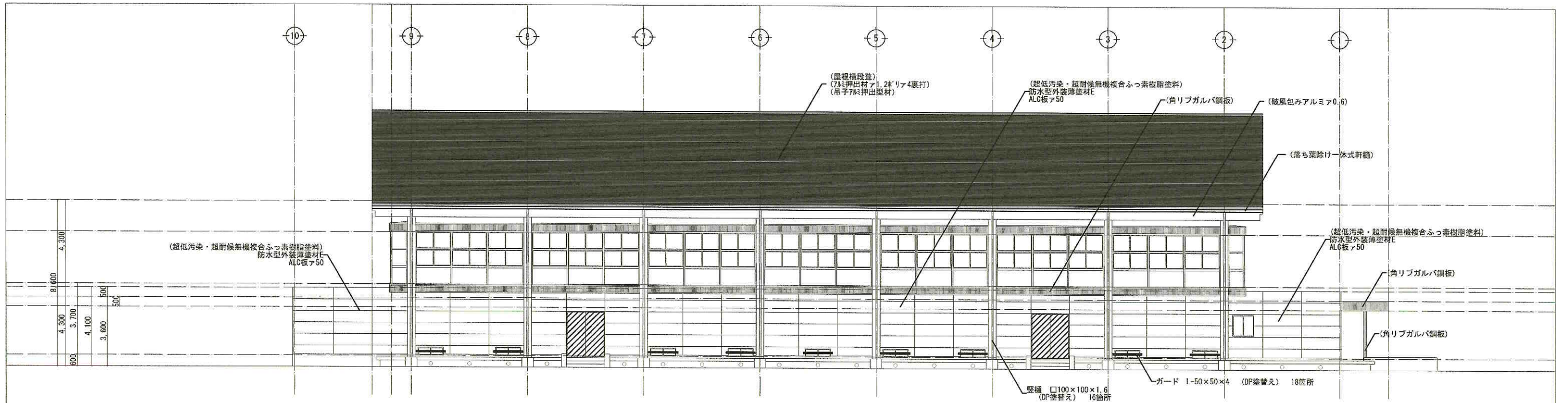
北立面図 (改修前) 1/100

※ () 工事範囲

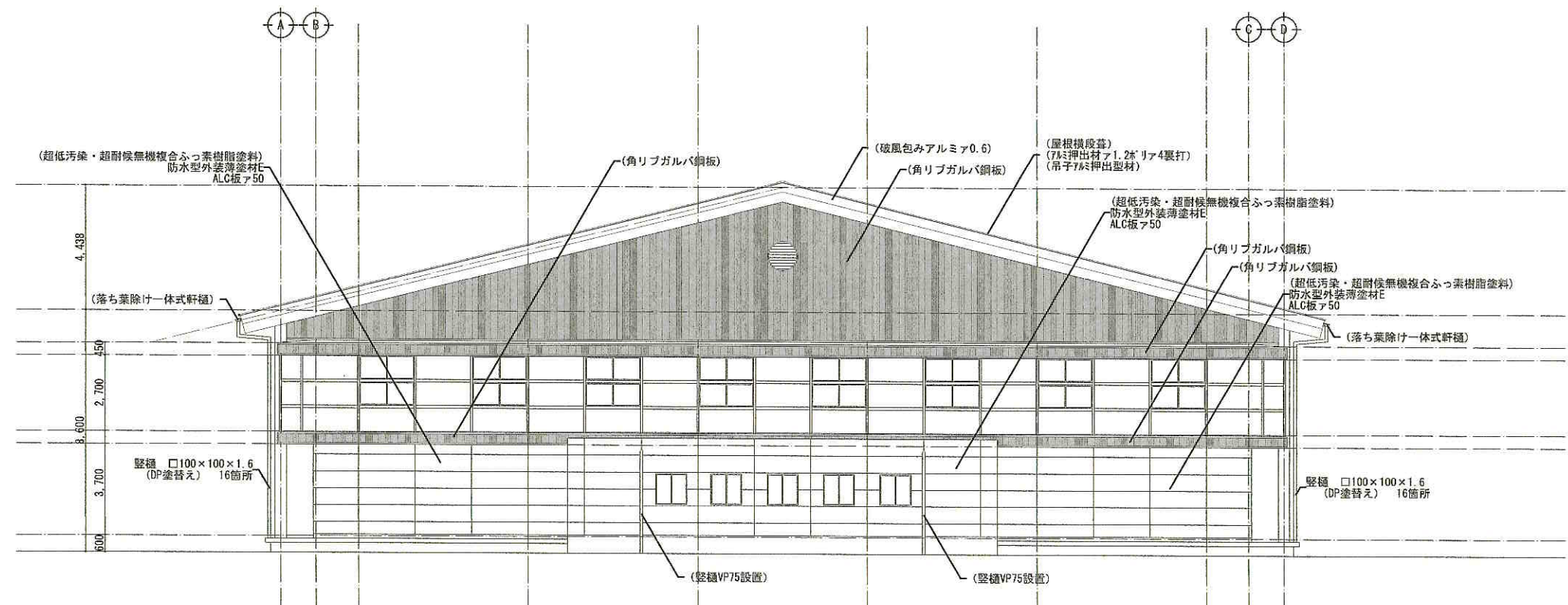
特記

- ・現況と図面に相違がある場合は現況優先とする
- ・解体部分には適宜カッター入を行う
- ・解体撤去は残材処分共
- ・外壁面に取付く特記なき配管、設備機器類は存置とするが、その外壁面は工事範囲とする
- ・外部建具廻りシーリング撤去

設計	担当	製図	検図	承認	設計年月日	工事名	図面名	縮尺	番号
						矢板中学校体育館長寿命化改修工事	立面図 西北(改修前)	A1 1/100 A3 1/200	A-14



東立面図 (改修後) 1/100



南立面図 (改修後) 1/100

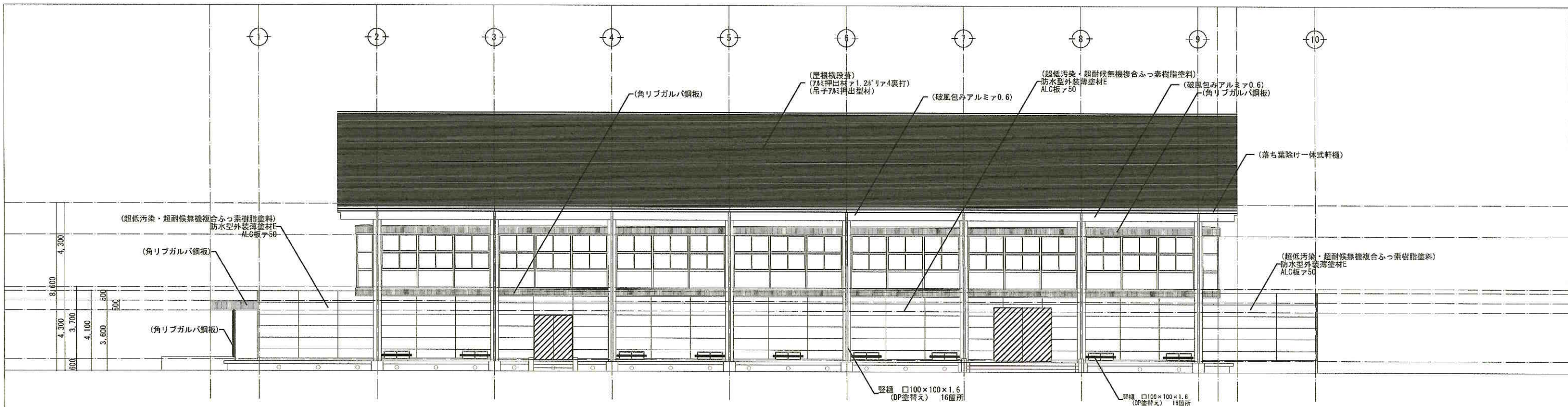
※ () 工事範囲

特記

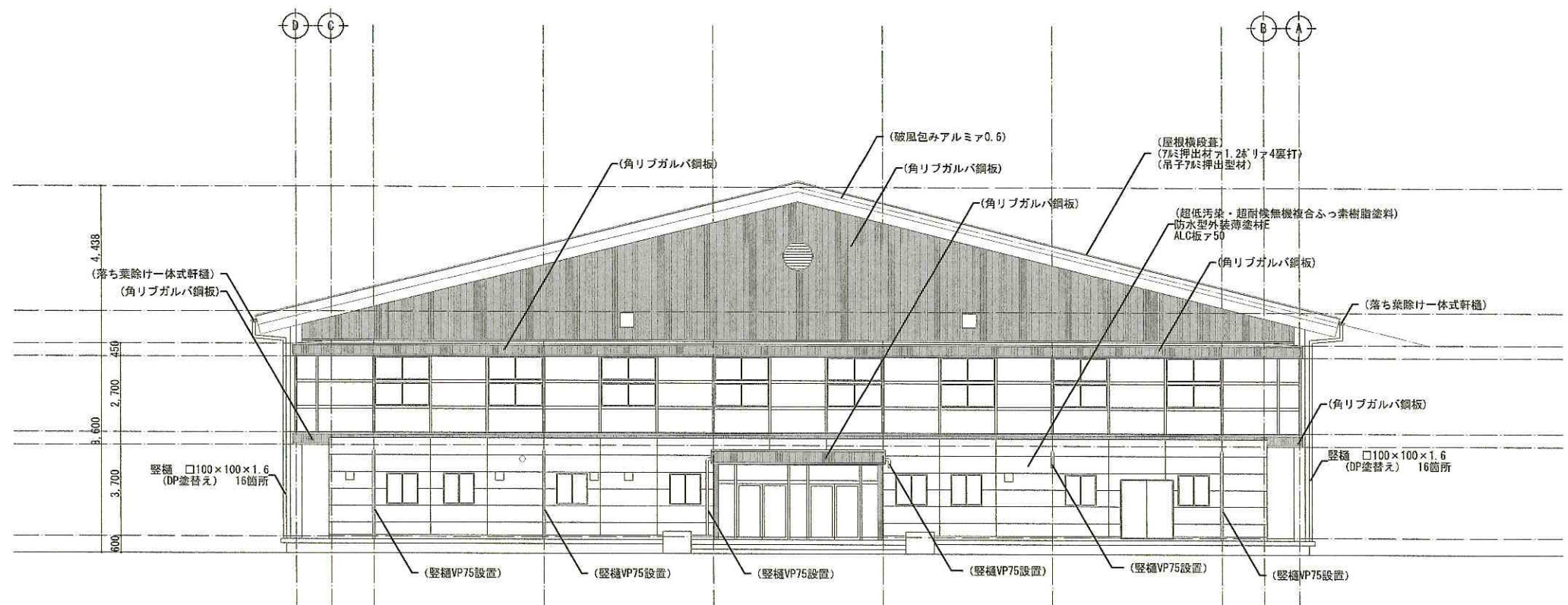
- ・現況と図面に相違がある場合は現況優先とする
- ・躯体部分には適宜カッター入を行う
- ・躯体撤去は残材処分共
- ・外壁面に取付く特記なき配管、設備機器類は存置とするが、その外壁面は工事範囲とする
- ・外部建具廻りシーリング打替え

鋼製建具DP塗替え箇所

設計	担当	製図	校図	承認	設計年月日	工事名	図面名	縮尺	番号
						矢板中学校体育館長寿命化改修工事	立面図 東南(改修後)	A1 1/100 A3 1/200	A-15



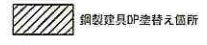
西立面図 (改修後) 1/100



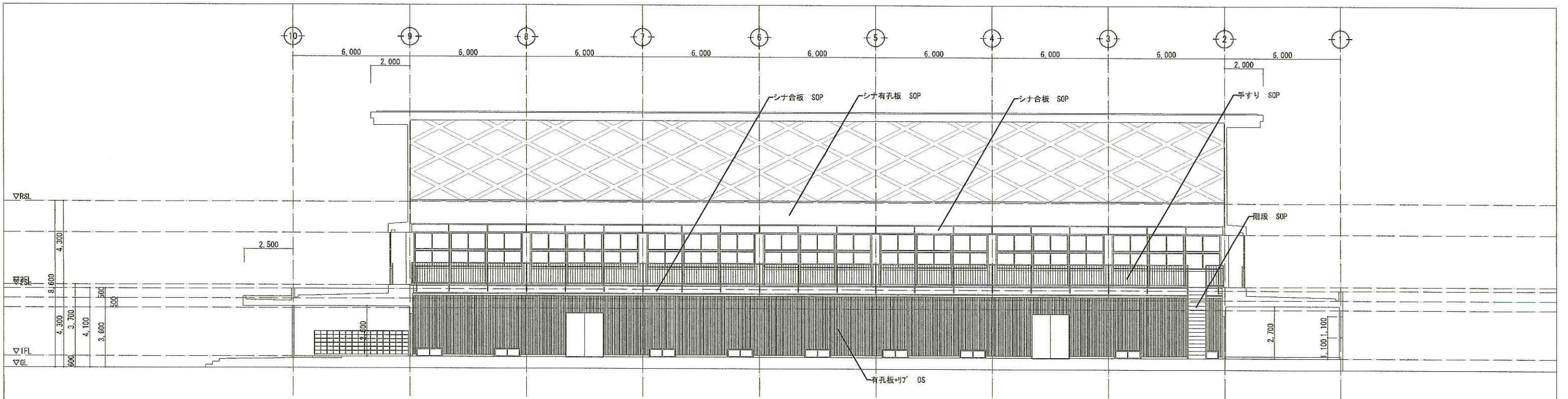
北立面図 (改修後) 1/100

※ () 工事範囲

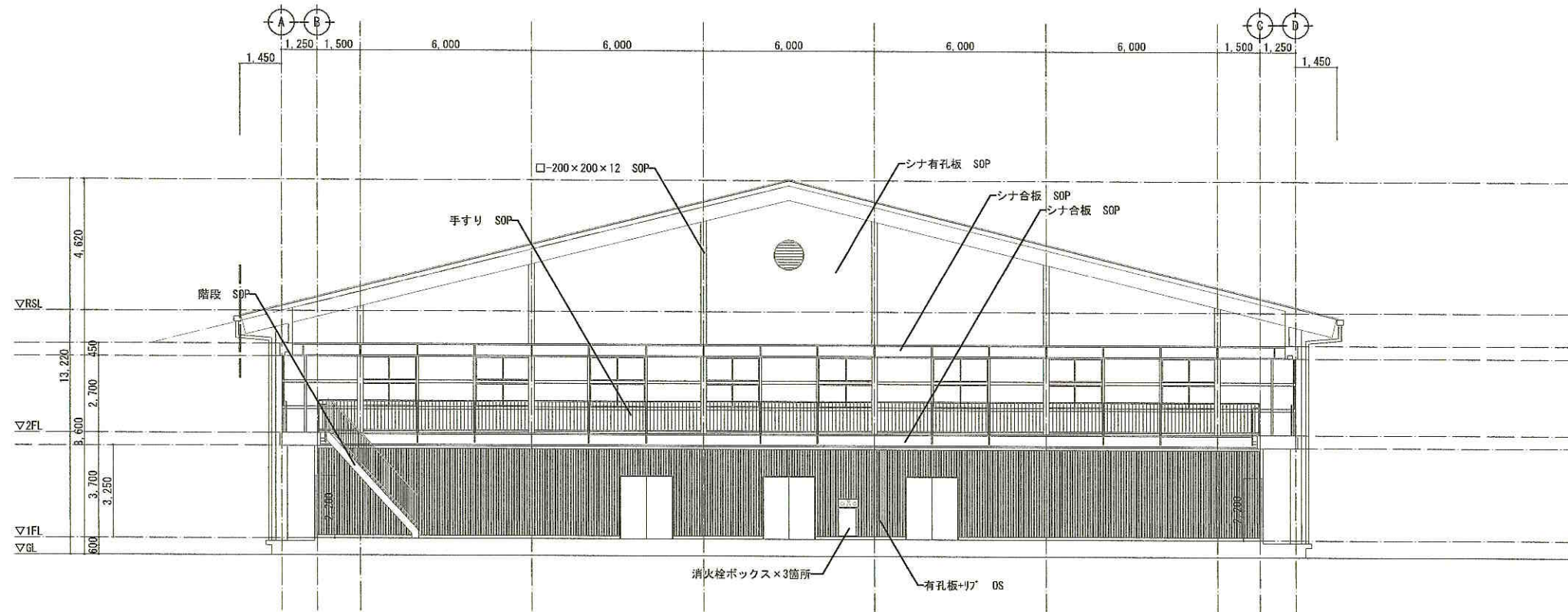
- 特記
- ・現況と図面に相違がある場合は現況優先とする
 - ・解体部分には適宜カッター入を行う
 - ・解体撤去は残材処分
 - ・外壁面に取付く特記なき配管、設備機器類は存置とするが、その外壁面は工事範囲とする
 - ・外部建具廻りシーリング打替え



設計	担当	製図	検図	承認	設計年月日	工事名	図面名	縮尺	番号
						矢板中学校体育館長寿命化改修工事	立面図 西北(改修後)	A1 1/100 A3 1/200	A-16



C通り断面図 1/100

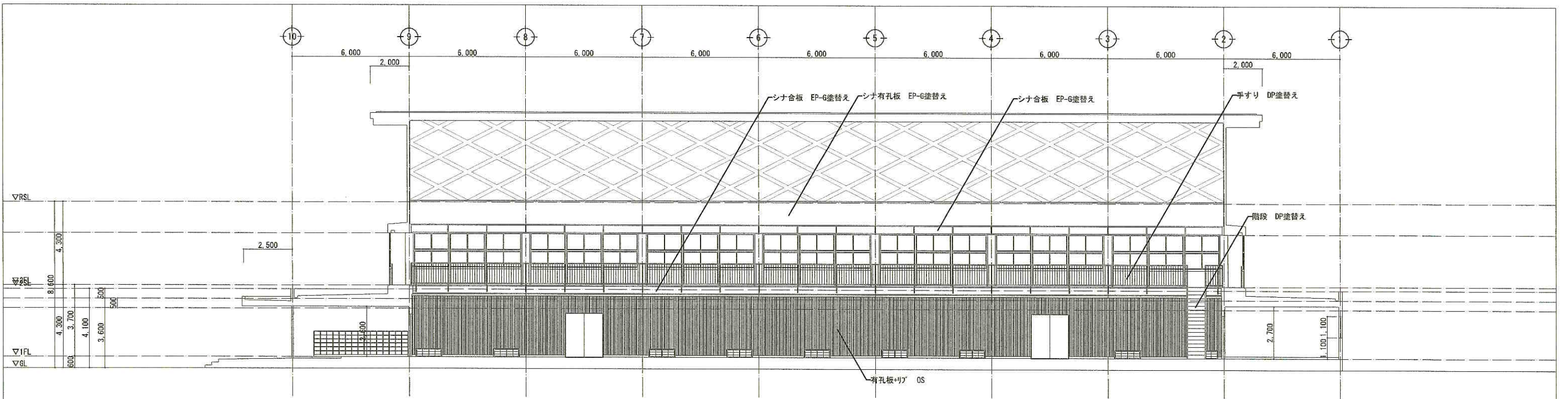


2通り断面図 1/100

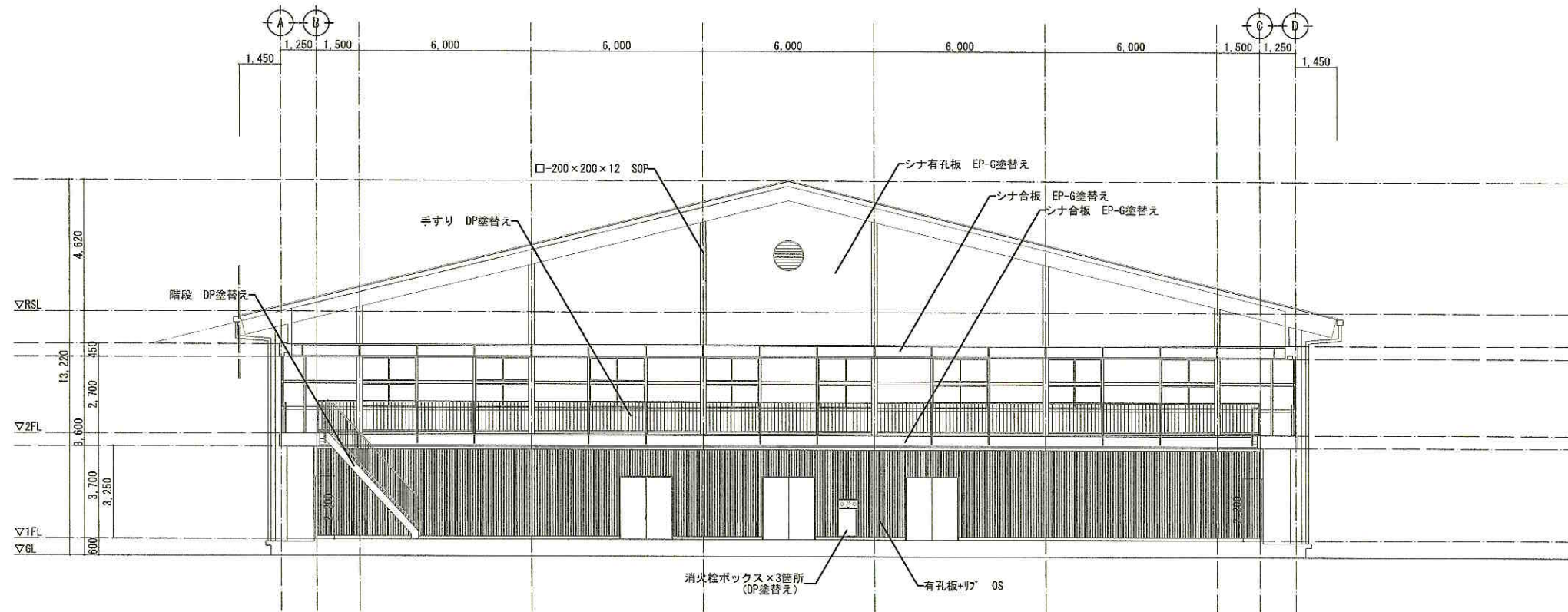
※ () 工事範囲

- 特記
- ・現況と図面に相違がある場合は現況優先とする
 - ・解体部分には適宜カッター入を行う
 - ・解体撤去は残材処分共

設計	担当	製図	検図	承認	設計年月日	工事名	図面名	縮尺	番号
						矢板中学校体育館長寿命化改修工事	断面図 (改修前)	A1 1/100 A3 1/200	A-17



C通り断面図 1/100

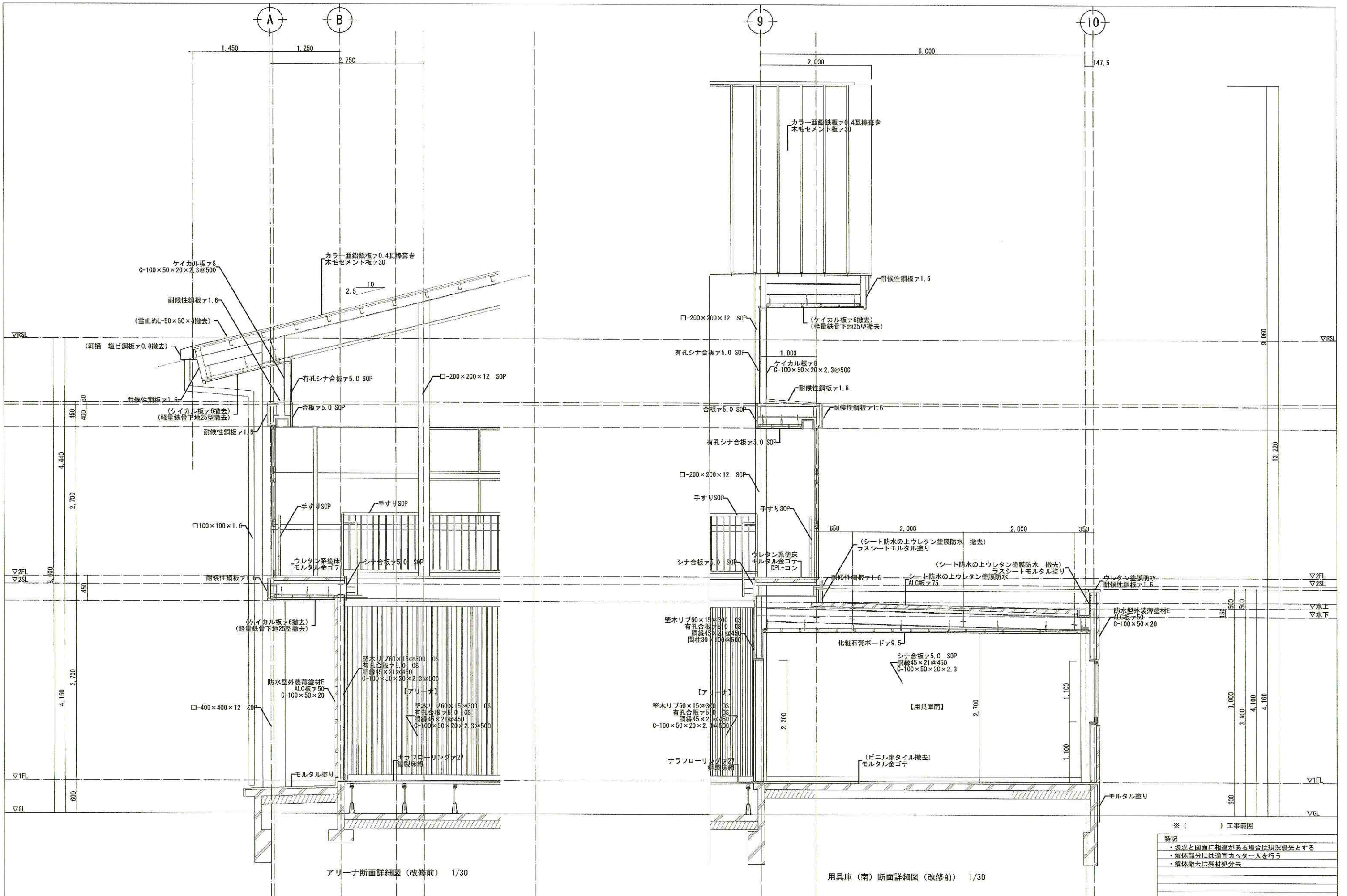


2通り断面図 1/100

※ () 工事範囲

- 特記
- ・現況と図面に相違がある場合は現況優先とする
 - ・解体部分には適宜カッター入を行う
 - ・解体撤去は残材処分共

設計	担当	製図	検図	承認	設計年月日	工事名	図面名	縮尺	番号
						矢板中学校体育館長寿命化改修工事	断面図 (改修後)	A1 1/100 A3 1/200	A-18



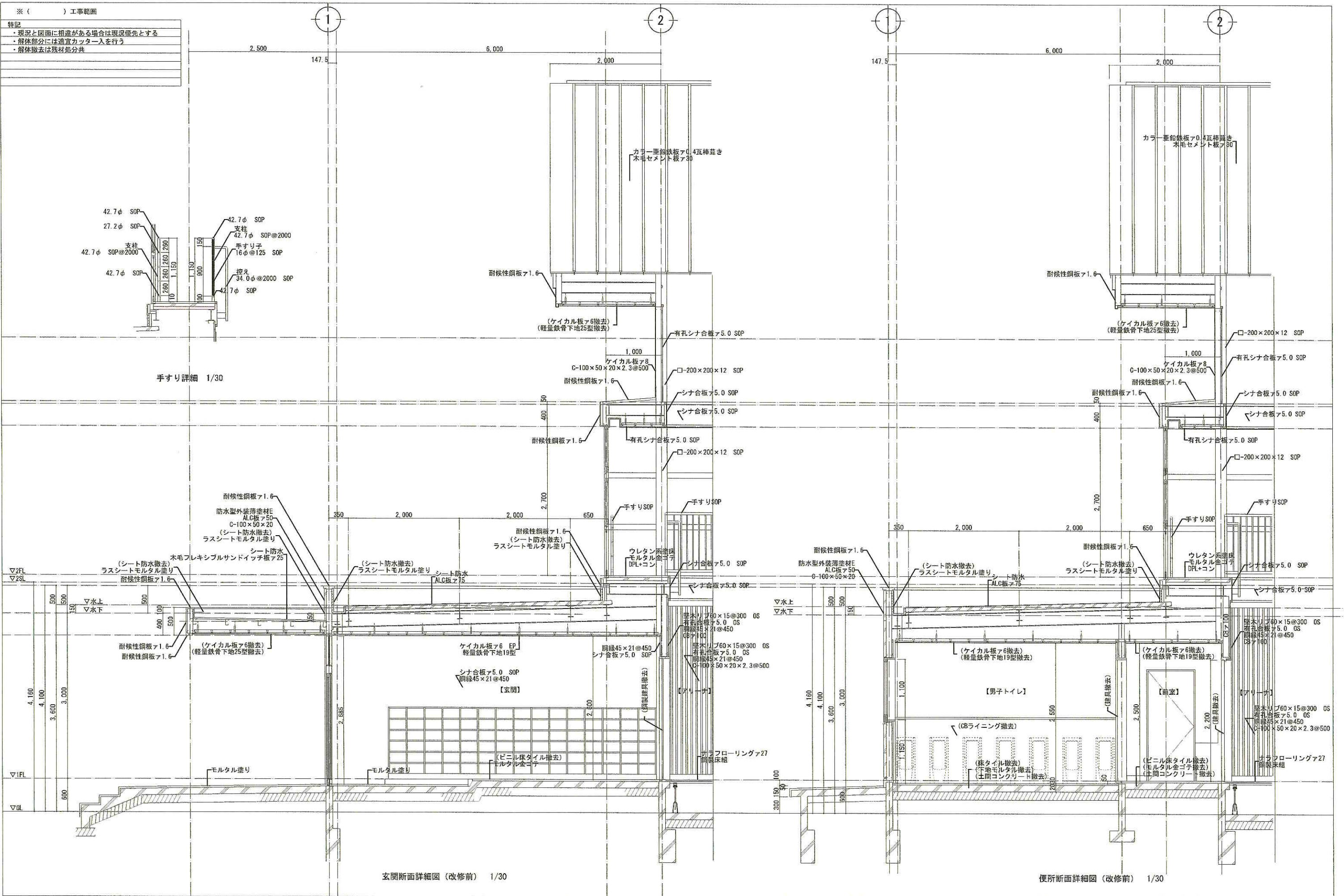
※ () 工事範囲

特記

- ・現況と図面に相違がある場合は現況優先とする
- ・解体部分には適宜カッター入を行う
- ・解体撤去は残材処分共

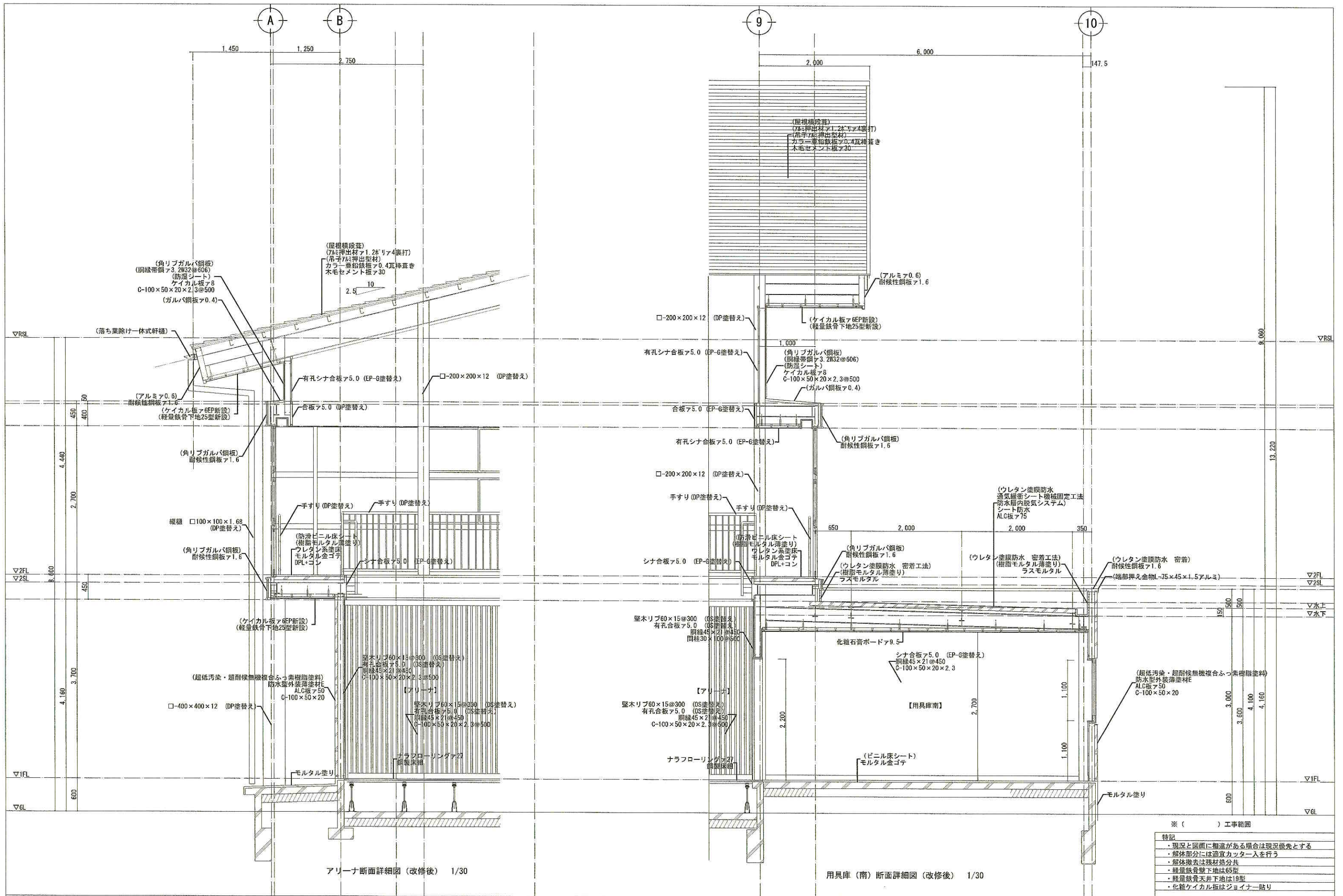
設計	担当	製図	検図	承認	設計年月日

工事名	図面名	縮尺	番号
矢板中学校体育館長寿命化改修工事	断面詳細図1 (改修前)	A1 1/30 A3 1/60	A-19



設計	担当	製図	検図	承認	設計年月日

工事名	図面名	縮尺	番号
矢板中学校体育館長寿命化改修工事	断面詳細図2 (改修前)	A1 1/30 A3 1/60	A-20



アリーナ断面詳細図 (改修後) 1/30

用具庫 (南) 断面詳細図 (改修後) 1/30

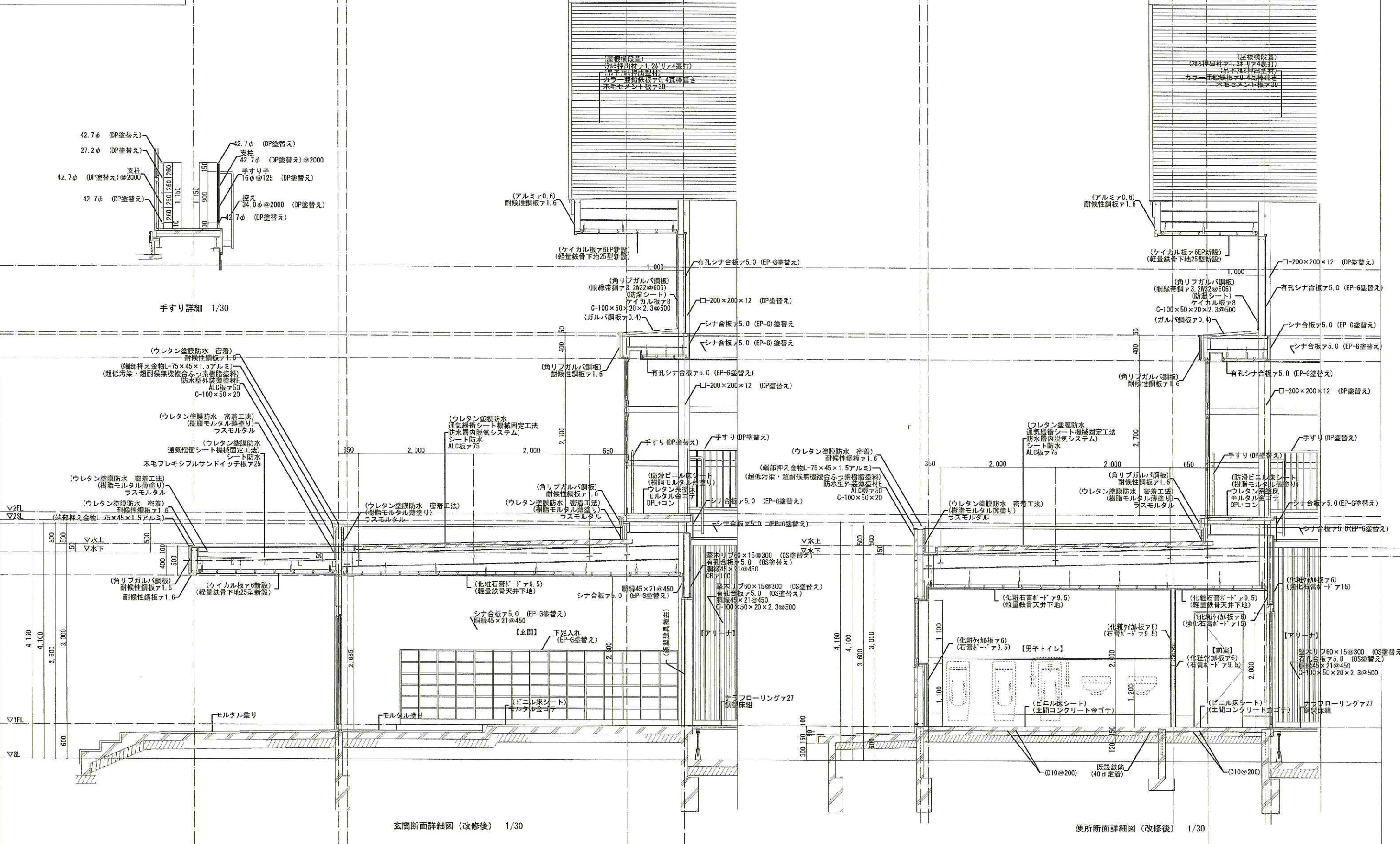
- ※ () 工事範囲
- 特記
 - ・ 現況と図面に相違がある場合は現況優先とする
 - ・ 解体部分には適宜カッター入を行う
 - ・ 解体撤去は残材処分
 - ・ 軽量鉄骨壁下地は65型
 - ・ 軽量鉄骨天井下地は19型
 - ・ 化粧ケイカル板はジョイナー貼り

設計	担当	製図	検図	承認	設計年月日	工事名	図面名	縮尺	番号
						矢板中学校体育館長寿命化改修工事	断面詳細図1 (改修後)	A1 1/30 A3 1/60	A-21

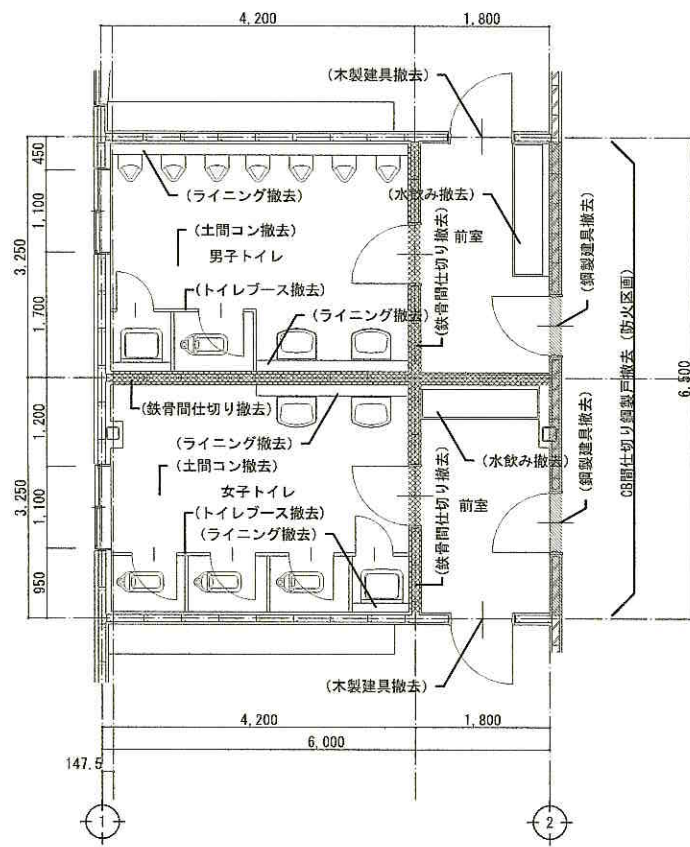
※ () 工事範囲

特記

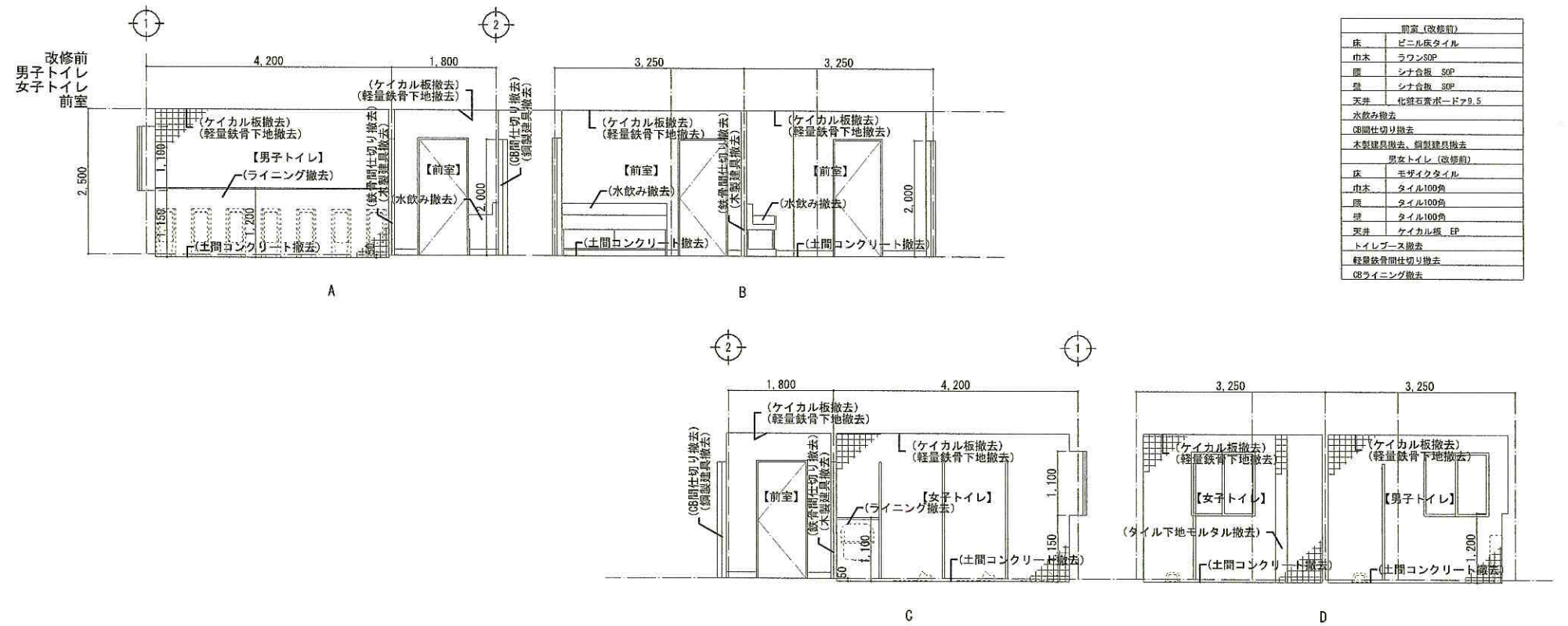
- ・現況と図面に相違がある場合は現況優先とする
- ・解体部分には適宜カッター入を行う
- ・解体撤去は残材処分共
- ・軽量鉄骨天井下地は65型
- ・軽量鉄骨天井下地は19型
- ・化粧ケイカル板はジョイナー貼り



設計	担当	製図	検図	承認	設計年月日	工事名	図面名	縮尺	番号
						矢板中学校体育館長寿命化改修工事	断面詳細図2 (改修後)	A1 1/30 A3 1/60	A-22

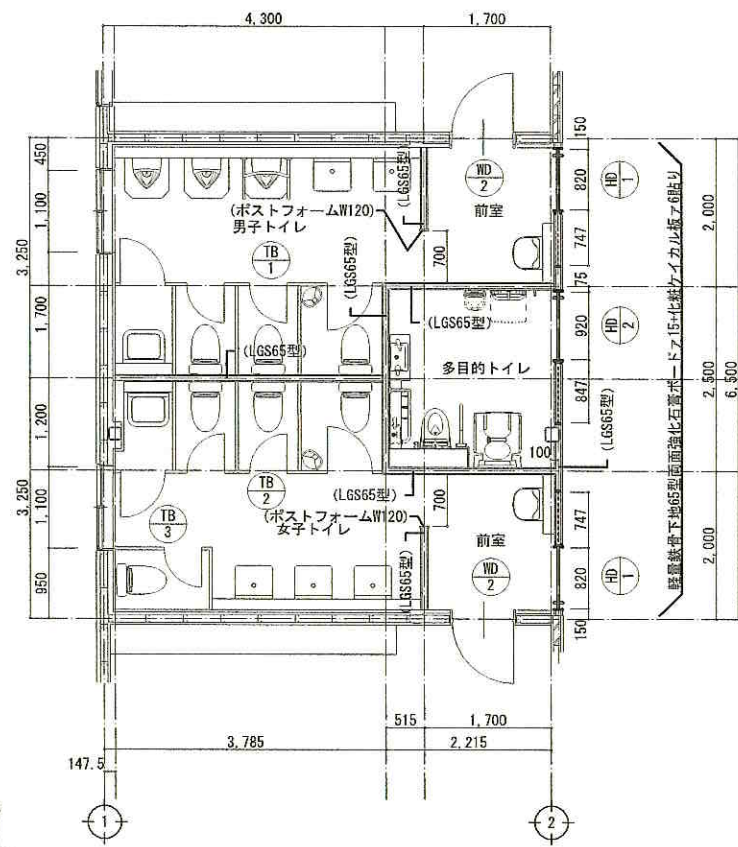


トイレ平面詳細図 (改修前) 1/50

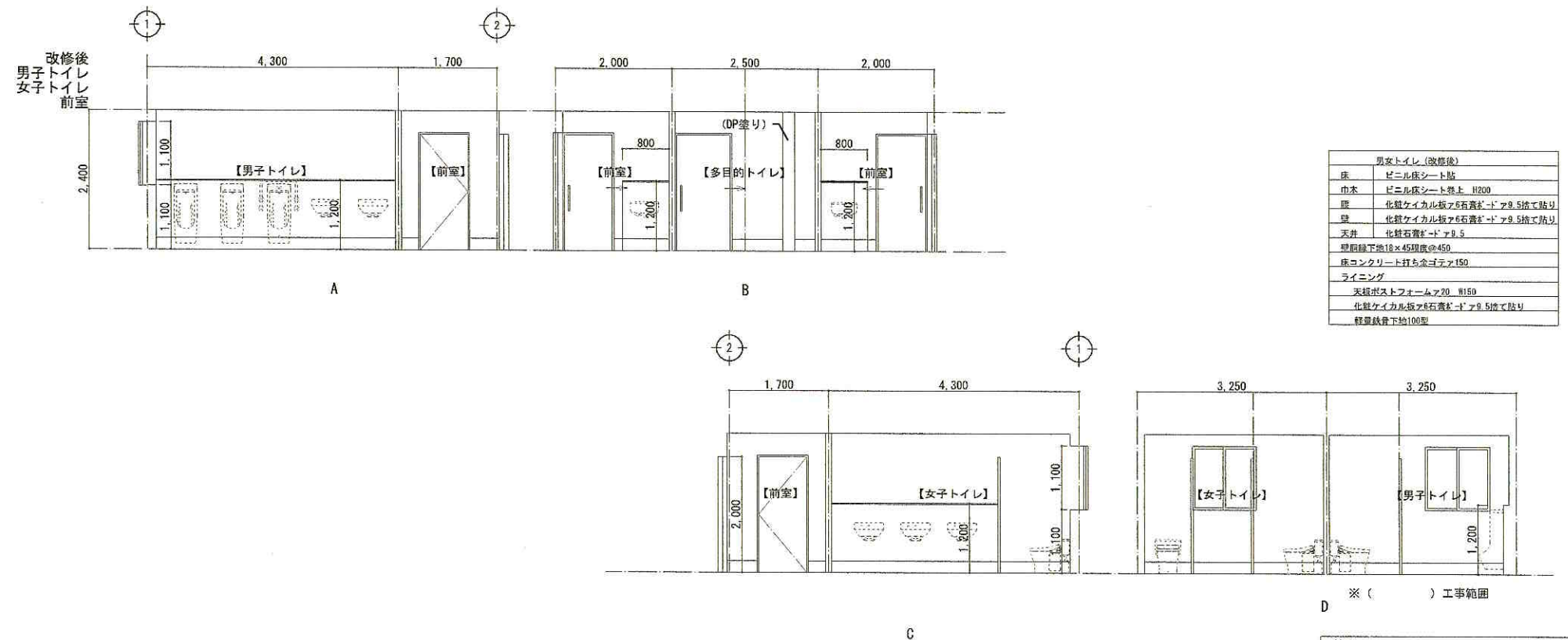


前室 (改修前)	
床	ビニル床タイル
巾木	ラワンSP
壁	シタ合板 SP
扉	シタ合板 SP
天井	化粧石膏ボード9.5
水飲み機	
洗面台	
洗面台	
木製建具	鋼製建具撤去
男女トイレ (改修前)	
床	モザイクタイル
巾木	タイル100角
壁	タイル100角
扉	タイル100角
天井	ケイカル板 EP
トイレブース	
軽量鉄骨天井下地	
CRライニング	

展開図 (改修前) 1/50



トイレ平面詳細図 (改修後) 1/50

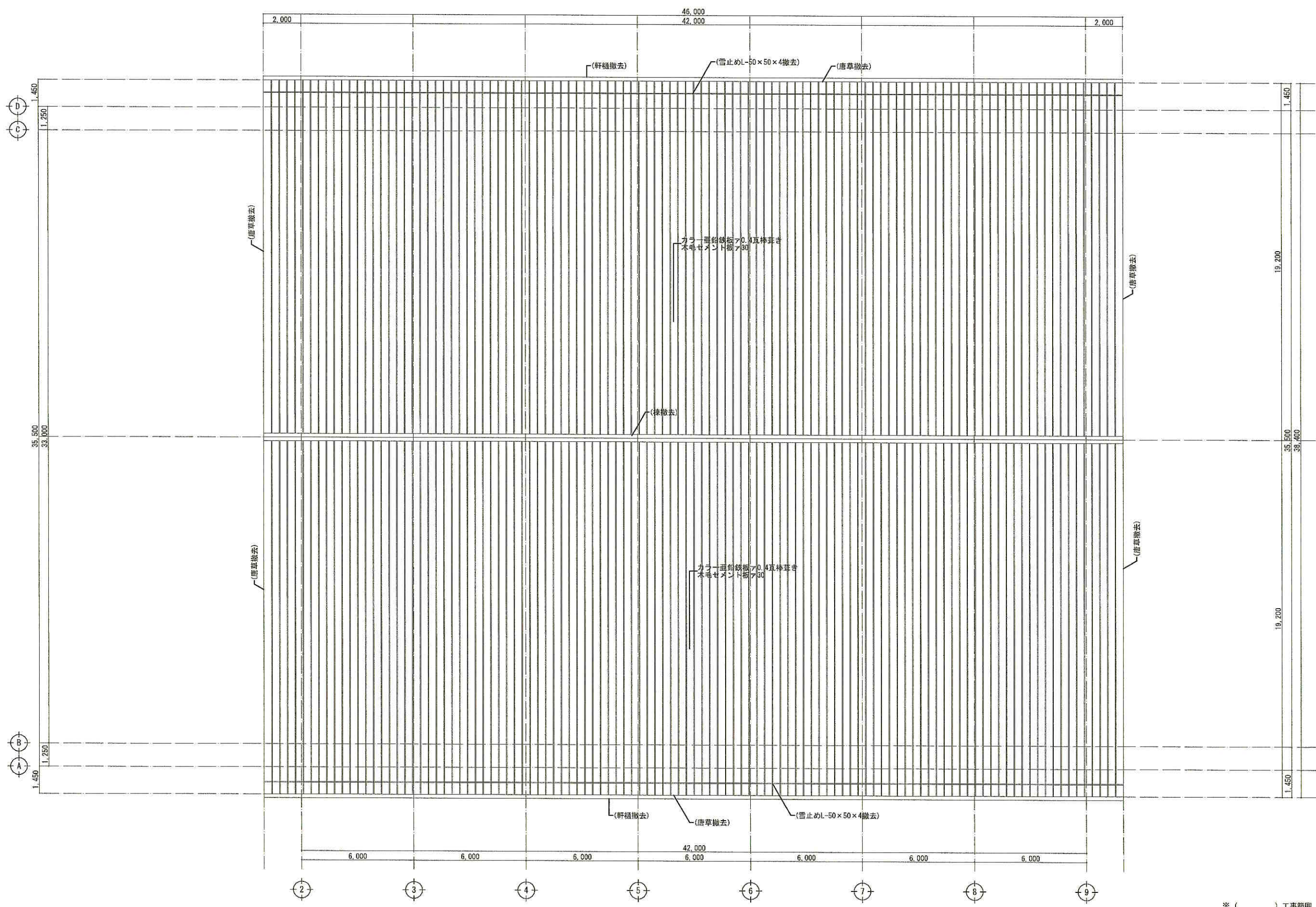


男女トイレ (改修後)	
床	ビニル床シート貼
巾木	ビニル床シート上 H200
壁	化粧ケイカル板6石膏ボード9.5捨て貼り
扉	化粧ケイカル板6石膏ボード9.5捨て貼り
天井	化粧石膏ボード9.5
壁下地	軽量鉄骨天井下地45
床コンクリート	打ち金ゴア150
ライニング	
化粧石膏ボード	9.5
化粧ケイカル板	6石膏ボード9.5捨て貼り
軽量鉄骨下地	100型

展開図 (改修後) 1/50

- ※ () 工事範囲
- 特記
- ・現況と図面に相違がある場合は現況優先とする
 - ・解体部分には適宜カッター入を行う
 - ・解体撤去は残材処分共
 - ・照明器具撤去 (電気設備)
 - ・衛生器具撤去 (機械設備)
 - ・軽量鉄骨天井下地は65型
 - ・軽量鉄骨天井下地は19型
 - ・化粧ケイカル板はジョイナー貼り

設計	担当	製図	検図	承認	設計年月日	工事名	図面名	縮尺	番号
						矢板中学校体育館長寿命化改修工事	平面詳細図 展開図	A1 1/50 A3 1/100	A-23

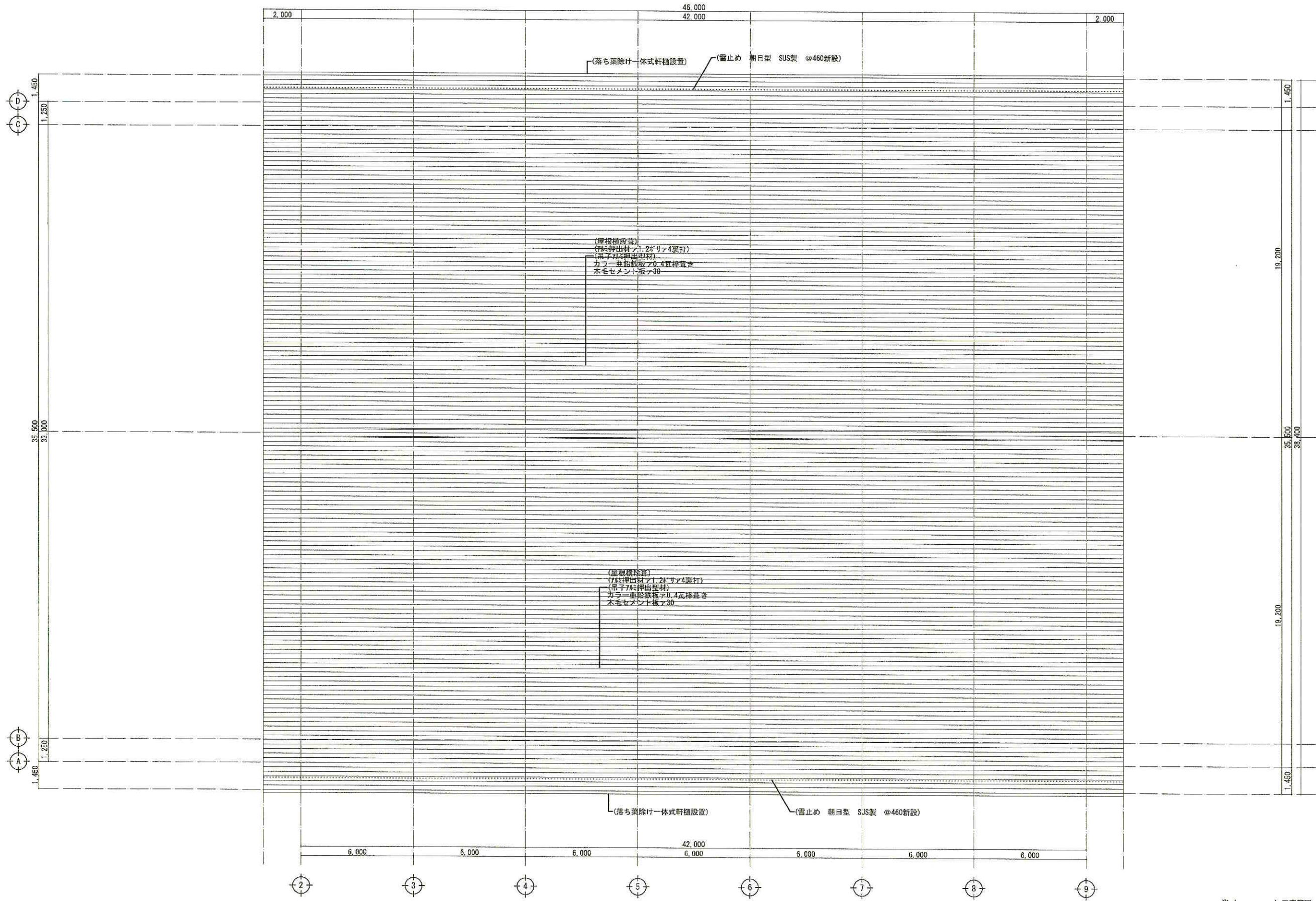


屋根伏図 (改修前) 1/100

※ () 工事範囲

特記
 ・現況と図面に相違がある場合は現況優先とする
 ・解体部分には適宜カッター入を行う
 ・解体撤去は残材処分共

設計	担当	製図	検図	承認	設計年月日	工事名	図面名	縮尺	番号
						矢板中学校体育館長寿命化改修工事	屋根伏図 (改修前)	A1 1/100 A3 1/200	A-24

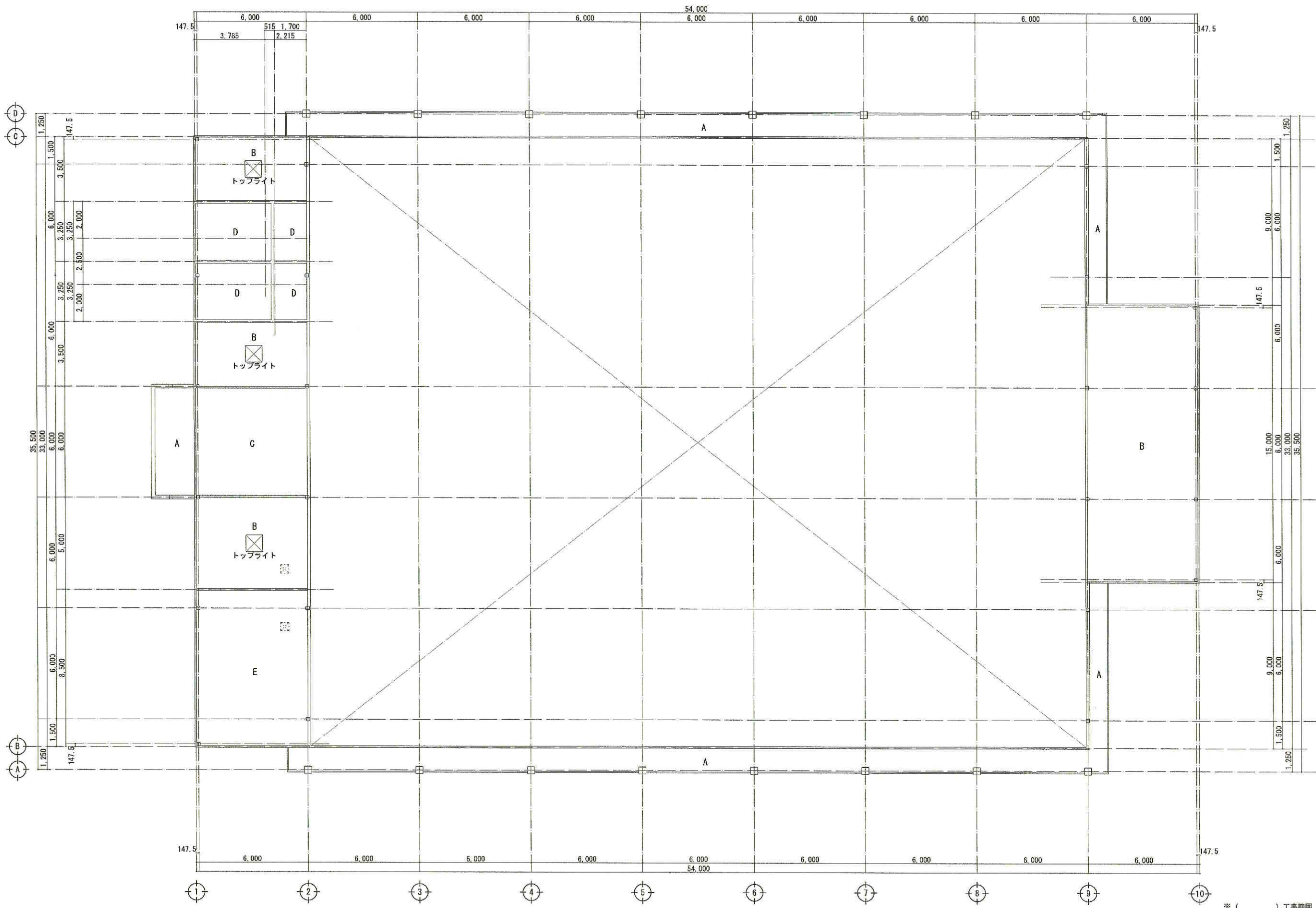


※ () 工事範囲

- 特記
- ・現況と図面に相違がある場合は現況優先とする
 - ・解体部分には適宜カッター入を行う
 - ・解体撤去は残材処分共

設計	担当	製図	検図	承認	設計年月日

工事名	図面名	縮尺	番号
矢板中学校体育館長寿命化改修工事	屋根伏図 (改修後)	A1 1/100 A3 1/200	A-25



1F天井伏図 (改修前) 1/100

既設天井点検口 450×450アルミ

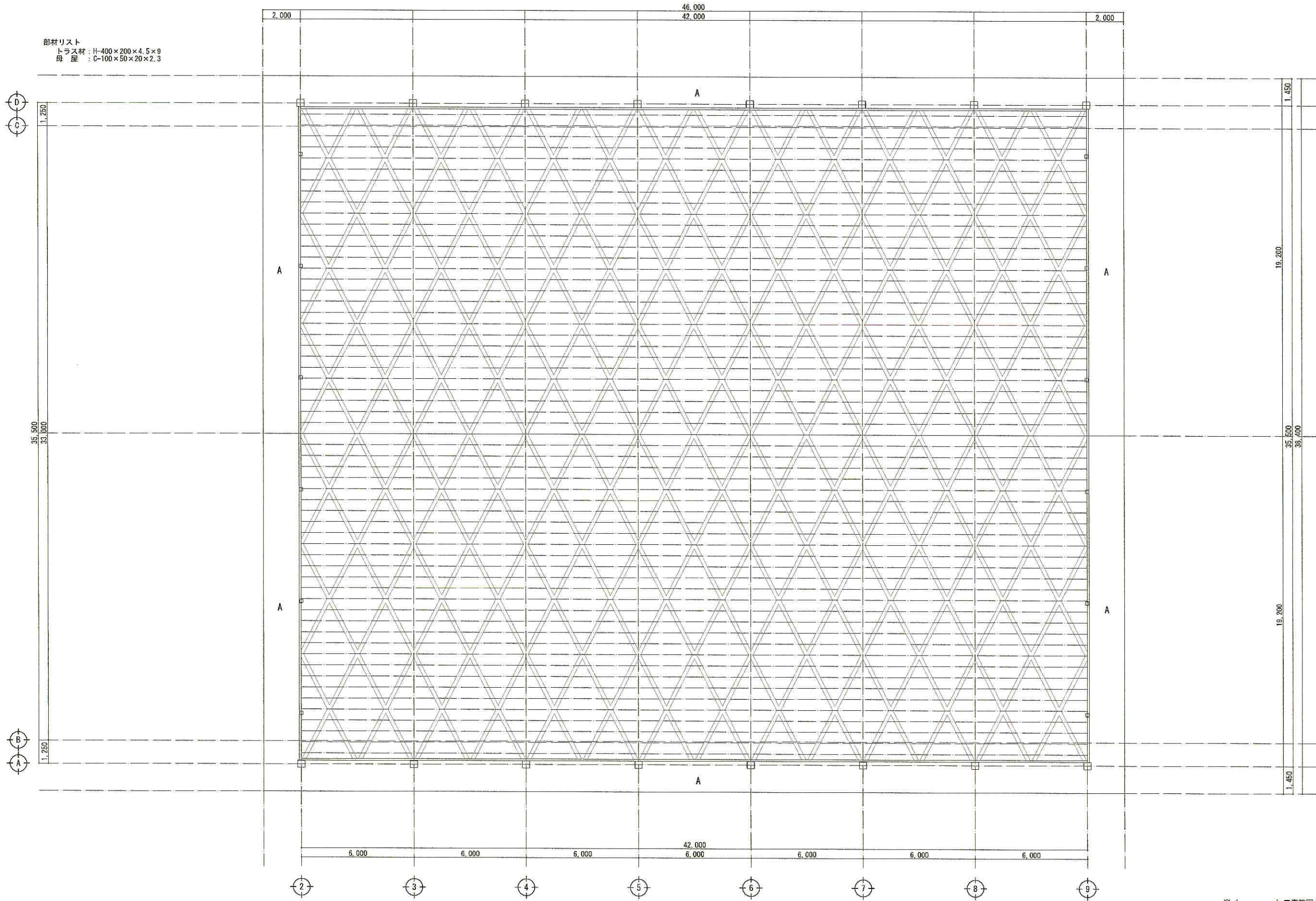
仕上	下地
A ケイカル板φ6目透かし EP 撤去	軽量鉄骨下地25型 撤去
B 化粧石膏ボードφ9.5	軽量鉄骨下地19型
C ケイカル板φ6目透かし EP	軽量鉄骨下地19型
D ケイカル板φ6目透かし EP 撤去	軽量鉄骨下地19型 撤去
E シナ合板φ5.5 EP-6密付え	軽量鉄骨下地19型

※ () 工事範囲

特記
 ・現況と図面に相違がある場合は現況優先とする
 ・解体部分には適宜カッター入を行う
 ・解体撤去は残材処分共

設計	担当	製図	検図	承認	設計年月日	工事名	図面名	縮尺	番号
						矢板中学校体育館長寿命化改修工事	1F天井伏図 (改修前)	A1 1/100 A3 1/200	A-26

部材リスト
 トラス材 : H-400×200×4.5×9
 母屋 : C-100×50×20×2.3

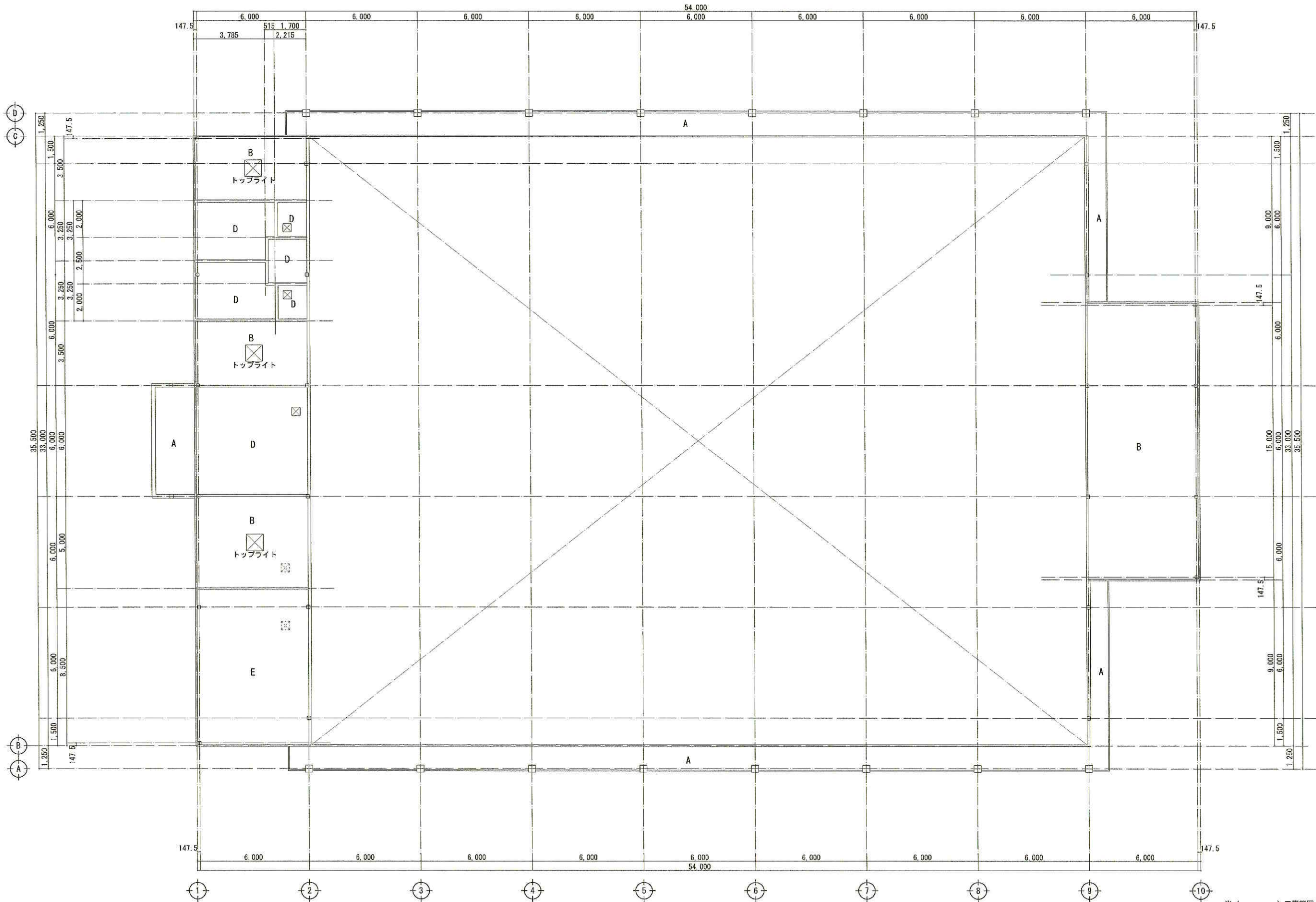


2F天井伏図 (改修前) 1/100

仕上	下地
A ケイカル板ア6目透かし EP 撤去	軽量鉄骨下地25型 撤去
B 化粧石膏ボードア9.5	軽量鉄骨下地19型
C ケイカル板ア6目透かし EP	軽量鉄骨下地19型
D ケイカル板ア6目透かし EP 撤去	軽量鉄骨下地19型 撤去

※ () 工事範囲
 特記
 ・現況と図面に相違がある場合は現況優先とする
 ・解体部分には適宜カッター入を行う
 ・解体撤去は残材処分共

設計	担当	製図	校図	承認	設計年月日	工事名	図面名	縮尺	番号
						矢板中学校体育館長寿命化改修工事	2F天井伏図 (改修前)	A1 1/100 A3 1/200	A-27



1F天井伏図 (改修後) 1/100

仕上	下地
A ケイカル板φ6目透かし EP 設置	軽量鉄骨下地25型 設置
B 化粧石膏ボードφ9.5 EP塗り	軽量鉄骨下地19型
C ケイカル板φ6目透かし EP塗替え	軽量鉄骨下地19型
D 化粧石膏ボードφ9.5 設置	軽量鉄骨下地19型 設置
E シナ合板φ5.5 EP-6塗替え	軽量鉄骨下地19型

- ☒ 既設天井点検口 450×450アルミ
- ☒ 新設天井点検口 450×450アルミ

※ () 工事範囲

特記

- ・現況と図面に相違がある場合は現況優先とする
- ・解体部分には適宜カッター入を行う
- ・解体撤去は残材処分
- ・塗替え部分は劣化部貼り換え

設計	担当	製図	検図	承認	設計年月日	工事名	図面名	縮尺	番号
						矢板中学校体育館長寿化改修工事	1F天井伏図 (改修後)	A1 1/100 A3 1/200	A-28

部材リスト
 トラス材 : H-400×200×4.5×9
 母屋 : C-100×50×20×2.3

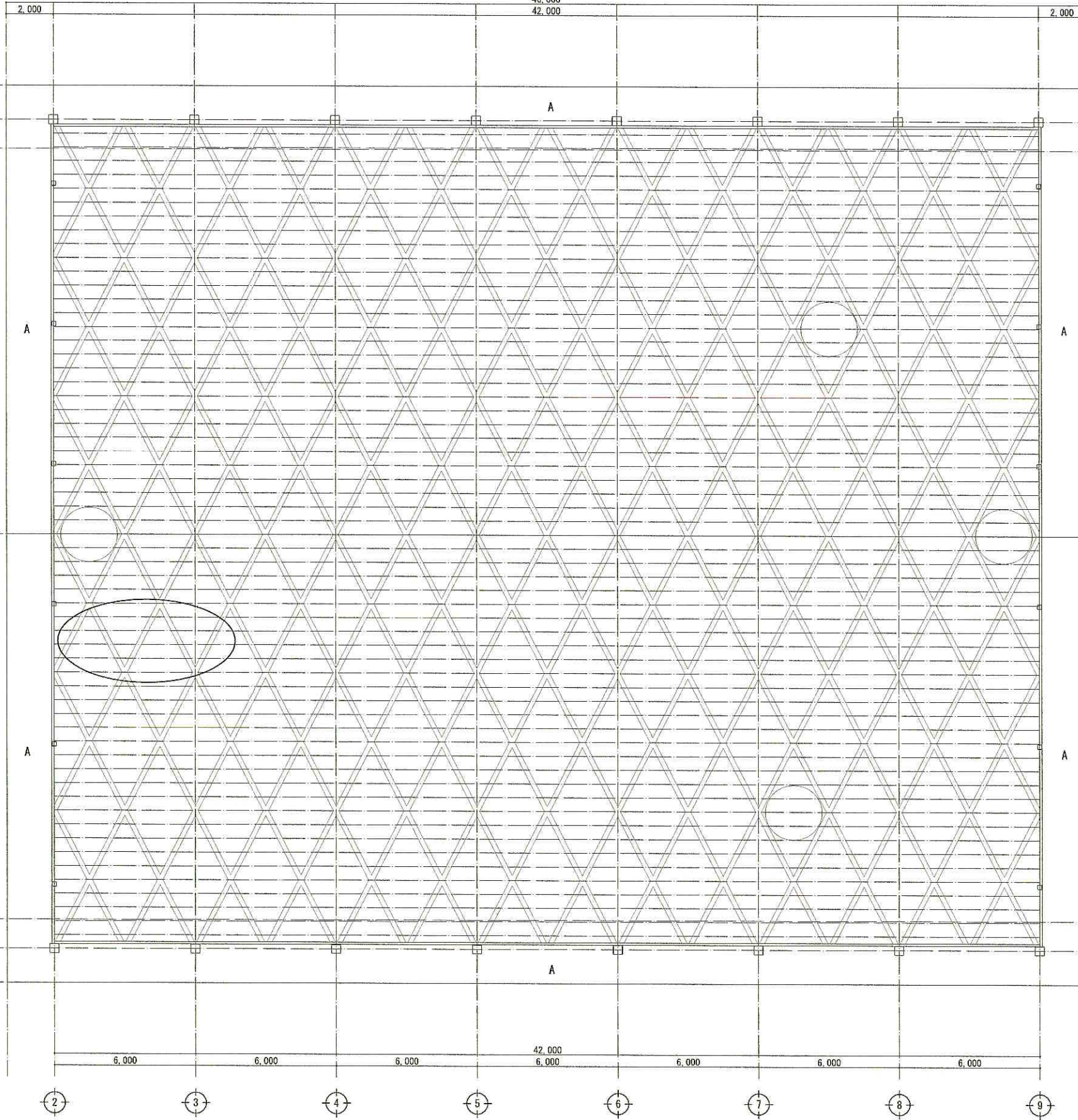
④
③
②

1,250

35,500
33,000

①
②
③

1,250



1,450

19,200

35,500
33,000

19,200

1,450



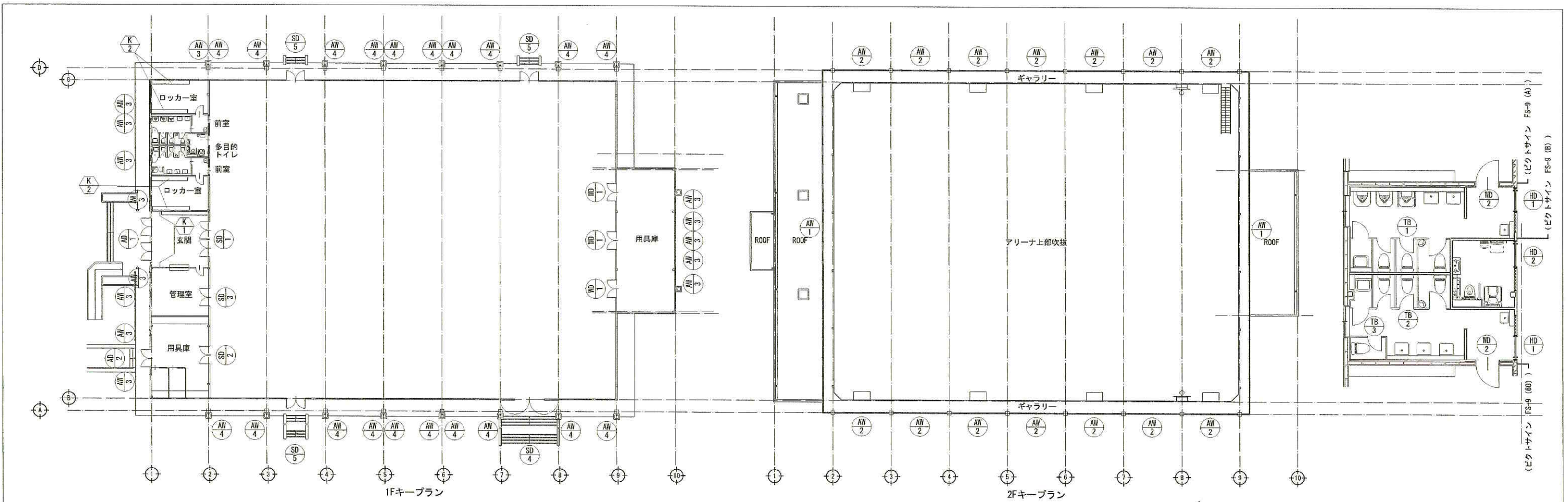
※ () 工事範囲

2F天井伏図 (改修後) 1/100

仕上	下地
A ケイカル板7目透かし EP 設置	軽量鉄骨下地25型 設置
B 化粧石膏ボード9.5 EP塗り	軽量鉄骨下地19型
C ケイカル板7目透かし EP塗替え	軽量鉄骨下地19型
D 化粧石膏ボード9.5 設置	軽量鉄骨下地19型 設置

特記
 ・現況と図面に相違がある場合は現況優先とする
 ・解体部分には適重カッター入を行う
 ・解体撤去は残材処分共

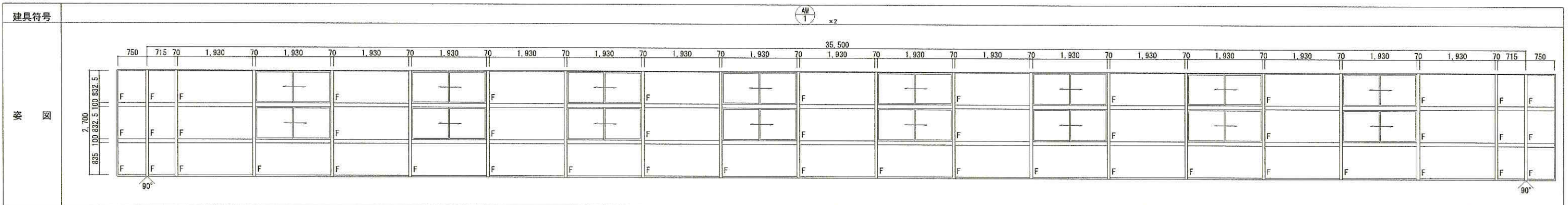
設計	担当	製図	検図	承認	設計年月日	工事名	図面名	縮尺	番号
						矢板中学校体育館長寿命化改修工事	2F天井伏図 (改修後)	A1 1/100 A3 1/200	A-29



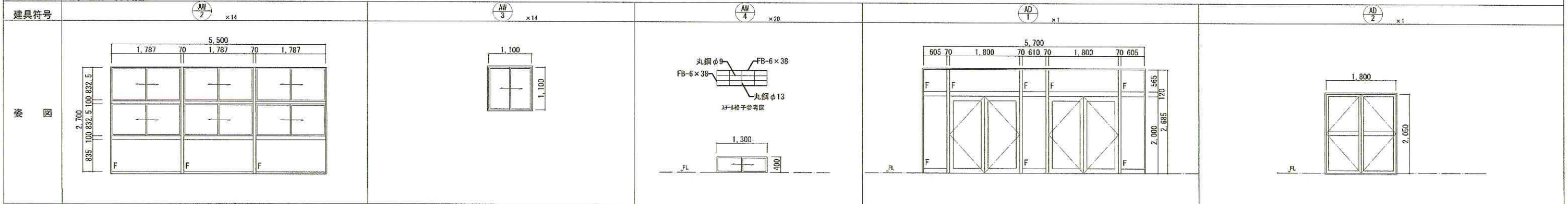
建具符号	HD 1 x2	HD 2 x1	TB 1 x1	TB 2 x1	TB 3 x1
姿 図					
使用個所	男子トイレ前室 女子トイレ前室	多目的トイレ	男子トイレ	女子トイレ	女子トイレ
材料仕上	鋼製ハンガードア片引き 壁収納タイプ 特定防火設備	鋼製ハンガードア片引き 壁収納タイプ 特定防火設備	トイレブース フ40程度 表面材メラミン合板A4 巾木タイプ	トイレブース フ40程度 表面材メラミン合板A4 巾木タイプ	トイレブース フ40程度 表面材メラミン合板A4 巾木タイプ
付属金物	ドアハンドル シリンダー錠 サムターン 付属金物一式	ドアハンドル シリンダー錠 サムターン 付属金物一式	アルミエッジ アルミ開つなぎ ステンレス巾木 表示錠 他標準金物一式	アルミエッジ アルミ開つなぎ ステンレス巾木 表示錠 他標準金物一式	アルミエッジ アルミ開つなぎ ステンレス巾木 表示錠 他標準金物一式

家具符号	K 1 x2	K 2 x4	清掃用具入取付要領	特記
形 状				<ul style="list-style-type: none"> ・トイレブースの機器等が取りつく箇所は補強を行う ・ピクトサインは杉田エース 214-630程度
取付個所	清掃用具入	清掃用具入		

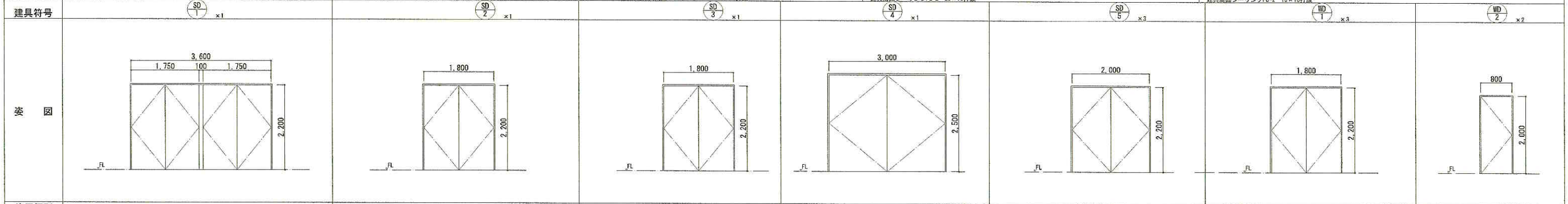
設計	担当	製図	検図	承認	設計年月日	工事名	図面名	縮尺	番号
						矢板中学校体育館長寿命化改修工事	キープラン 建具表1	A1 1/50 A3 1/100	A-30



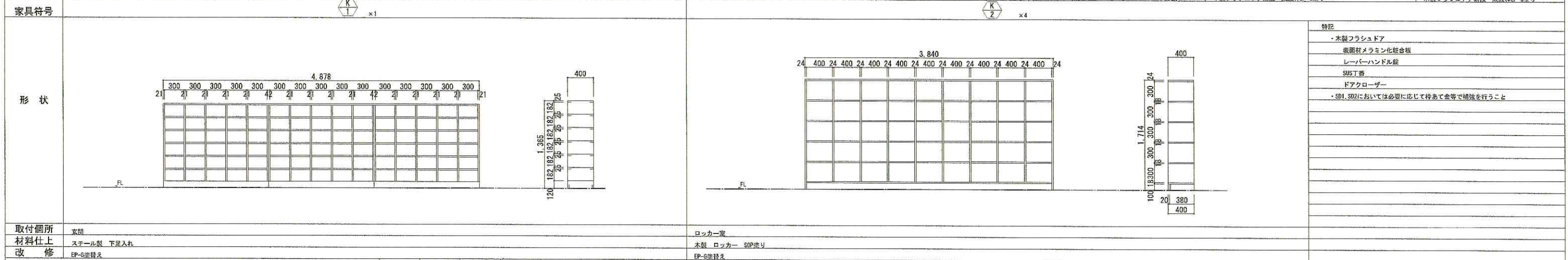
建具符号 AW1 x2
 使用箇所 ギャラリー 2通り、9通り
 材料仕上 アルミサッシ 塗装 見込み70
 硝子 FL5
 撤去 撤去
 改修 ガラス止め既設ガスケット、シーリング撤去
 ガラス止めシーリング打設SR-1



建具符号 AW2 x14, AW3 x14, AW4 x20, AD1 x1, AD2 x1
 使用箇所 ギャラリー A通り、D通り, 用具庫、管理室、ロッカー室、トイレ、アリーナ, 玄関
 材料仕上 アルミサッシ 塗装 見込み70, アルミサッシ 引渡 見込み70 スチール格子新設, アルミサッシ 引渡 見込み70
 硝子 FL5, FL3orF4, FL5
 撤去 ガラス止め既設ガスケット、シーリング撤去, 建具周囲シーリング撤去、水切りシーリング撤去, グラスボード撤去、建具周囲シーリング撤去, 建具周囲シーリング撤去
 改修 ガラス止めシーリング打設SR-1, 建具周囲シーリングPU-2 15x10打設、水切りシーリングMS-2 10x10打設, 建具周囲シーリングPU-2 15x10打設, 建具周囲シーリングPU-2 20x10打設, 建具周囲シーリングPU-2 15x10打設



建具符号 SD1 x1, SD2 x1, SD3 x1, SD4 x1, SD5 x3, WD1 x3, WD2 x2
 使用箇所 玄関, 用具庫, 管理室, アリーナ, アリーナ, 用具庫南, ロッカー室
 材料仕上 両開き 鋼製ドア 特定防火設備, 両開き 鋼製ドア 特定防火設備, 両開き 鋼製ドア 特定防火設備, 両開き 鋼製ドア, 両開き 鋼製ドア, 両開き 木製フラッシュドア, 片開き 木製フラッシュドア
 硝子 既設ドア撤去 (付属品共) 枠設置, 既設ドア撤去 (付属品共) 枠設置, ドアクローザー撤去, 建具周囲シーリング撤去, 建具周囲シーリング撤去, 既設ドア撤去 (付属品共), 既設ドア撤去 (付属品共)
 撤去 ドア (特定防火設備) 新設 付属品物 レバーハンドル 既設枠PP塗替え, 既設ドア調整 ドアクローザー設置 既設ドア及び枠PP塗替え, 既設ドア及び枠PP塗替え 建具周囲シーリングPU-2 15x10打設, 既設ドア及び枠PP塗替え 建具周囲シーリングPU-2 15x10打設, 木製フラッシュドア新設 既設枠PP塗替え, 木製フラッシュドア新設 既設枠PP塗替え



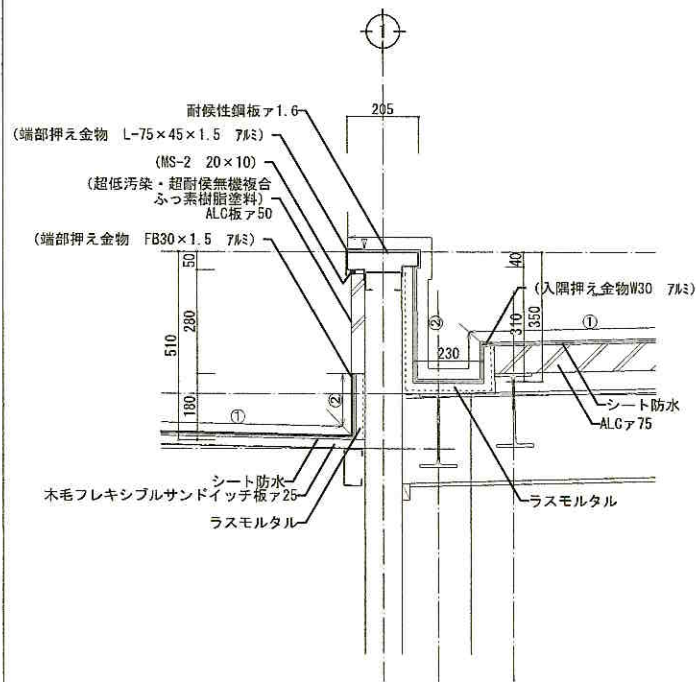
家具符号 K1 x1, K2 x4
 取付箇所 玄関, ロッカー室
 材料仕上 スチール製 下足入れ, 木製 ロッカー SOP塗
 改修 EP-G塗替え, EP-G塗替え

特記
 ・木製フラッシュドア
 表面材メラミン化粧合板
 レバーハンドル錠
 SUS丁香
 ドアクローザー
 ・SD1, SD2においては必要に応じて枠等で補強を行うこと

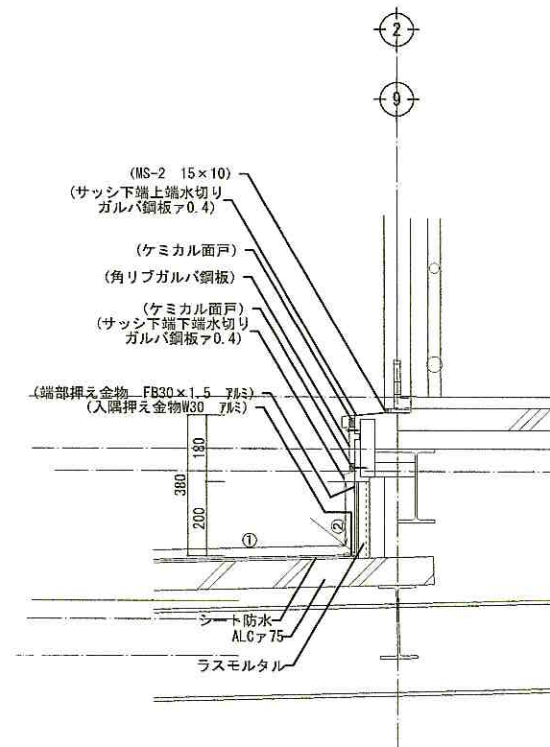
防水仕様

- ①ウレタン塗膜防水 通気緩衝シート機械固定工法 防水層内脱気システム
 - 高圧水洗15MPa
 - 通気シート (コアコーン) 4.5
 - ソーラーJET脱気筒 1-2通り屋根×1ヶ所、9-10通り屋根×1箇所
 - ACS給気筒 1-2通り屋根×2ヶ所、9-10通り屋根×2箇所
 - 機械固定用通気緩衝シート
 - 超速硬化ウレタン
 - トップコート
 - 樹脂モルタル薄塗り
 - 使用量及び工法は製造所仕様による
- ②ウレタン塗膜防水 密着工法
 - 既設防水層撤去部分
 - 樹脂モルタル薄塗り
 - プライマー
 - 超速硬化ウレタン
 - トップコート
 - 使用量及び工法は製造所仕様による
- ③ウレタン塗膜防水 通気緩衝シート機械固定工法
 - 高圧水洗15MPa
 - プライマー
 - 機械固定用通気緩衝シート
 - 超速硬化ウレタン
 - トップコート
 - 使用量及び工法は製造所仕様による
- ・入隅押え金物 W30 7âは「ア」共
固定方法はアルミプラスチック系打込みアンカー止めとし
ビス間隔及び仕様はメーカー仕様とする
- ・端部押え金物 (笠木) 7âL-75×45×1.5は「シ」共
固定方法はアルミプラスチック系打込みアンカー止めとし
ビス間隔及び仕様はメーカー仕様とする
端部シーリング MS-2 W10 (△位置)
- ・端部押え金物 (上端及び垂直部) 7âFB30×1.5は「シ」共
固定方法はアルミプラスチック系打込みアンカー止めとし
ビス間隔及び仕様はメーカー仕様とする
端部シーリング MS-2 W10 (△位置)
- ・改修用ドレンは既存ドレンのストレーナー及び上皿を撤去し
防水層取合いに注意し設置する
- ・改修後に平場及びドレン廻りに水たまりが生じないように注意すること

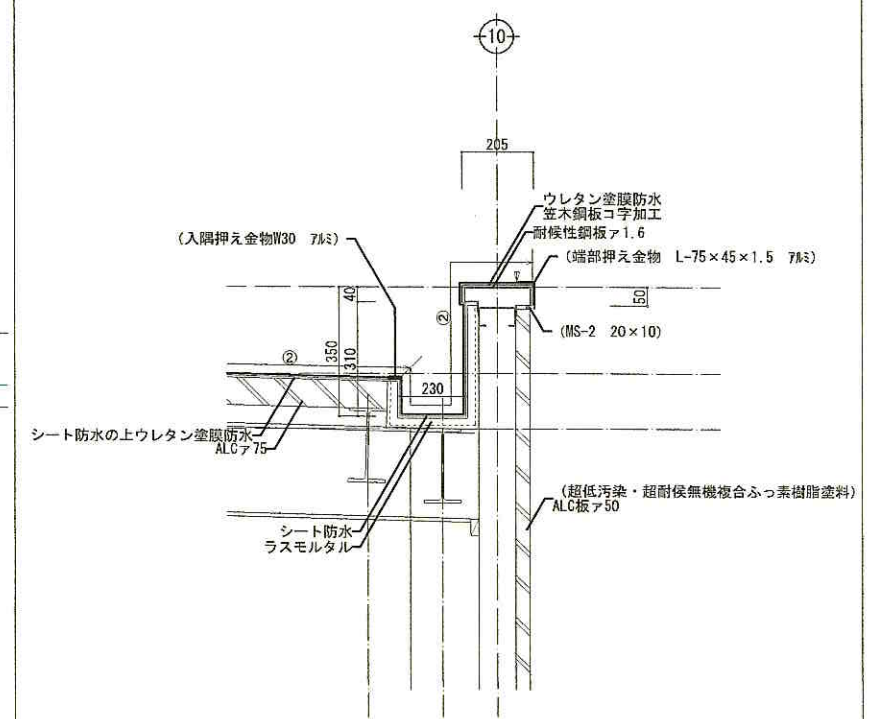
1通り屋上パラペット部詳細 1/10



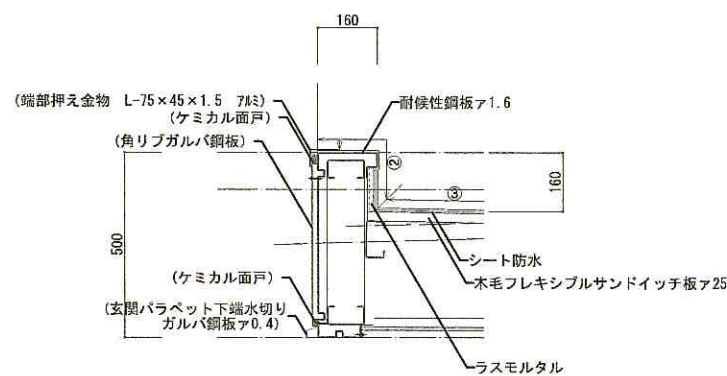
2通り、9通り屋上立上り部詳細 1/10



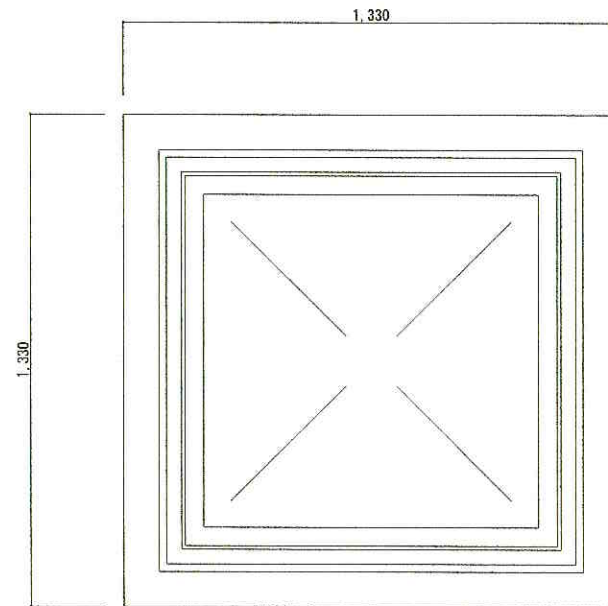
10通り屋上パラペット部詳細 1/10



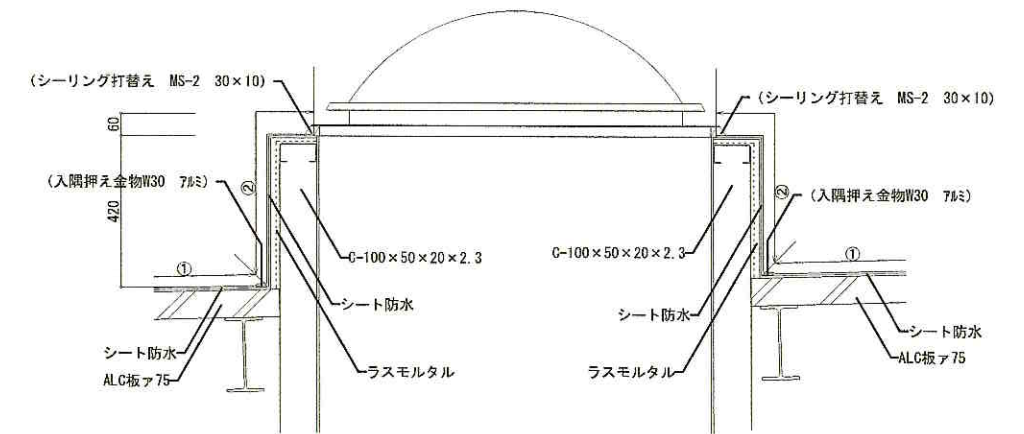
玄関パラペット部詳細 1/10



トップライト詳細 1/10



平面

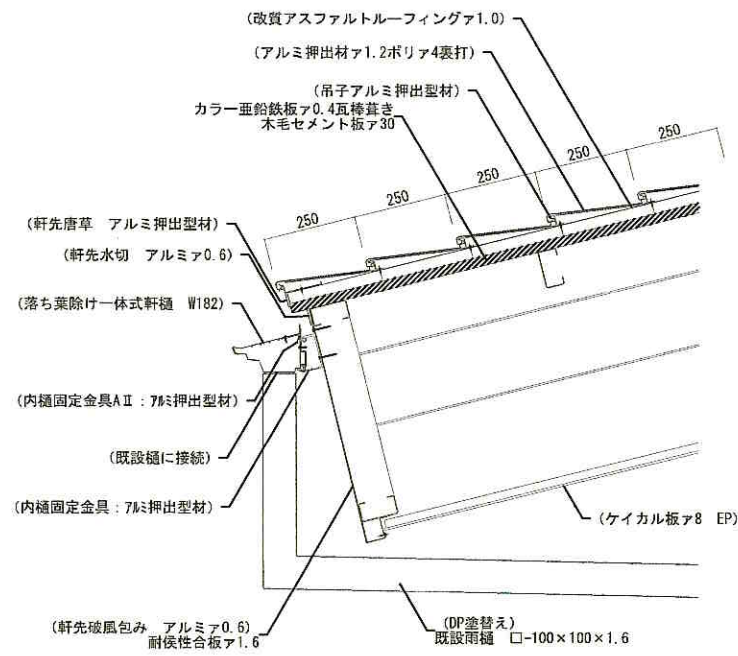


断面

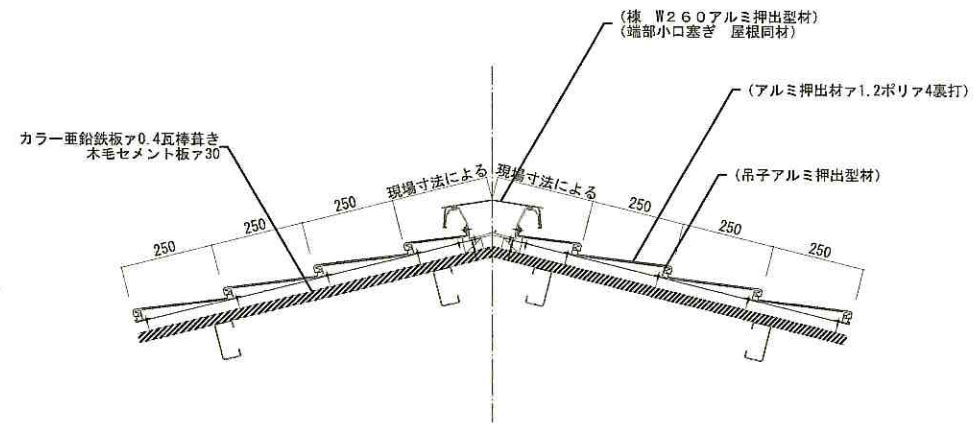
設計	担当	製図	検図	承認	設計年月日

工事名	図面名	縮尺	番号
矢板中学校体育館長寿命化改修工事	詳細図1	A1 1/10 A3 1/20	A-32

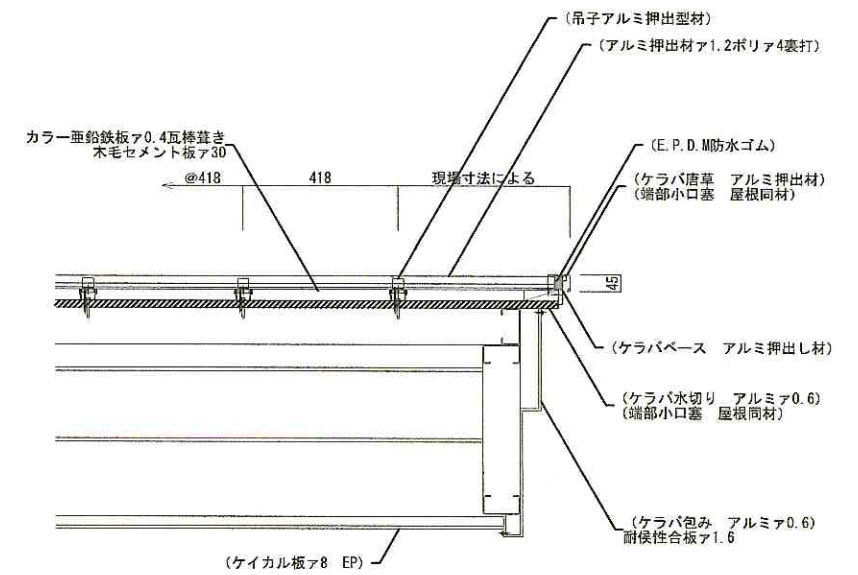
屋根軒先詳細図 1/10



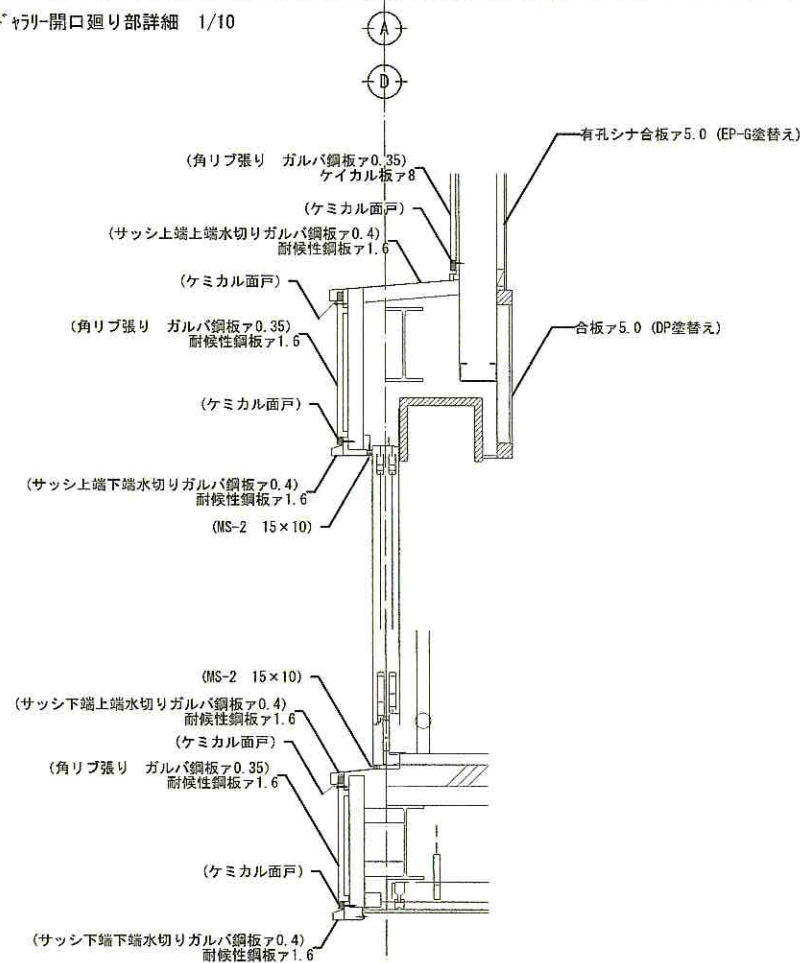
屋根棟部詳細 1/10



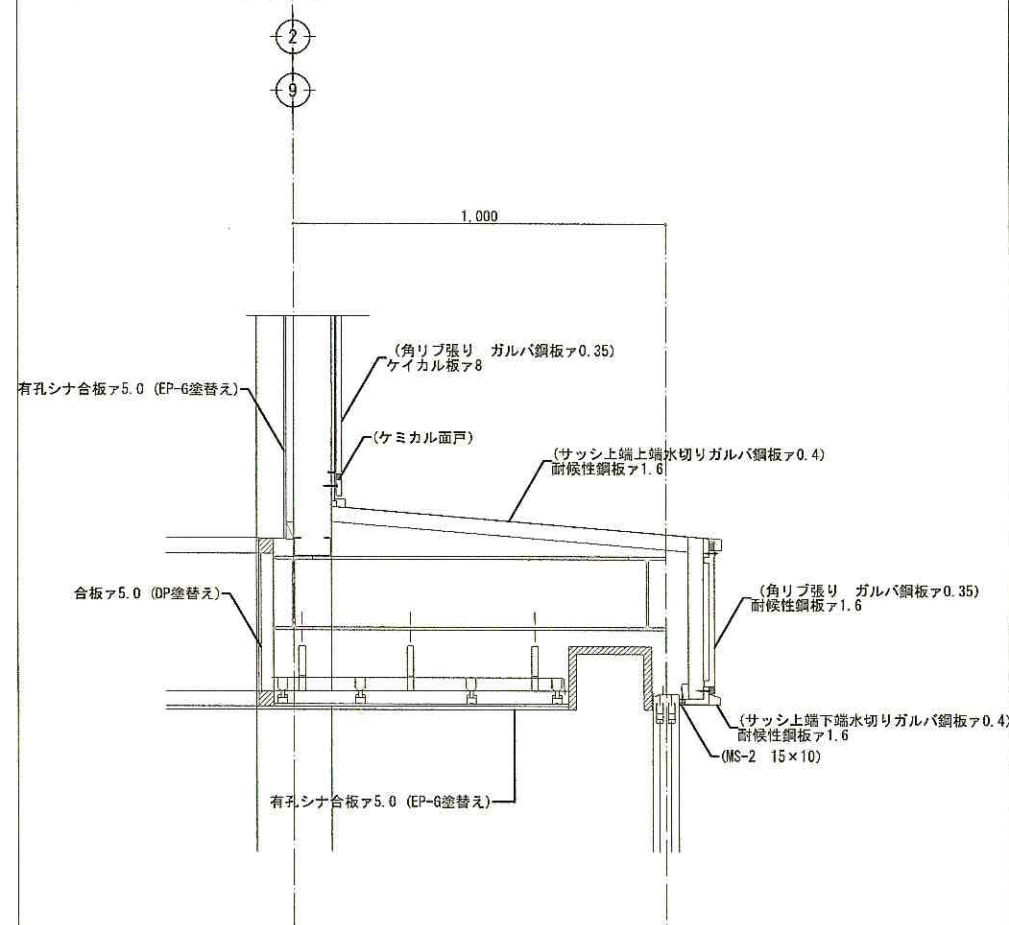
屋根ケラバ部詳細 1/10



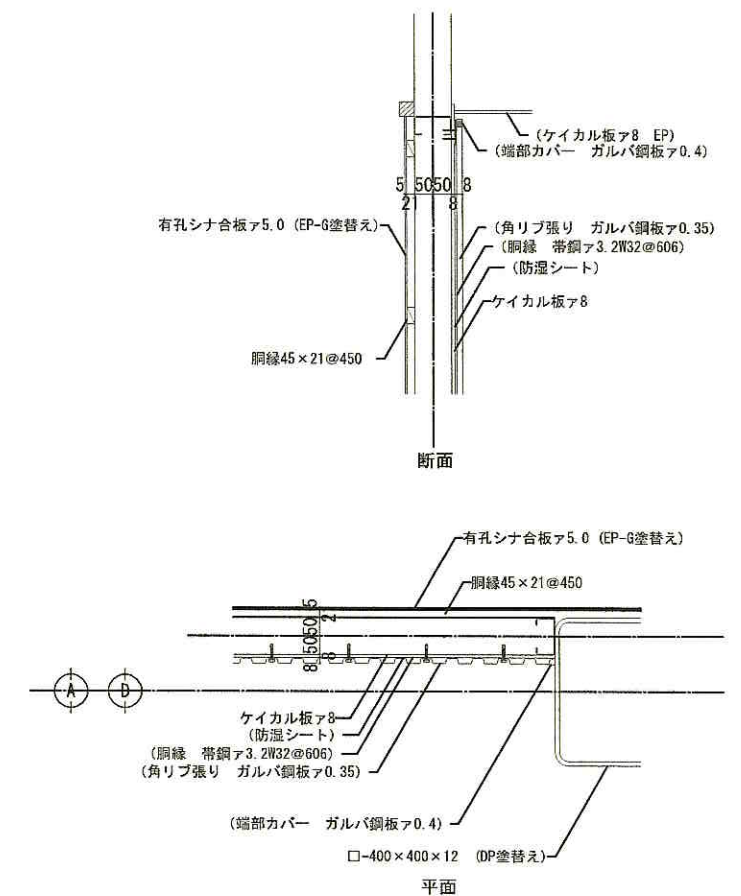
A, D通りギヤリ-開口廻り部詳細 1/10



2, 9通りギヤリ-開口廻り部詳細 1/10



角リブ張り部詳細 1/10 平面



設計	担当	製図	検図	承認	設計年月日

工事名	図面名	縮尺	番号
矢板中学校体育館長寿命化改修工事	詳細図2	A1 1/10 A3 1/20	A-33

●27 暴力団員等による不当介入を受けた場合の措置

- (1) 栃木県が発注する建設工事(以下「発注工事」という。)において、暴力団員等による不当要求または工事妨害(以下「不当介入」という。)を受けた場合は、断固としてこれを拒否するとともに、不当介入があった時点で速やかに警察に通報を行い、捜査上必要な協力を行うこと。
(2) (1)により警察に通報を行い、捜査上必要な協力を行った場合には、速やかにその内容を記載した書面により発注者に報告すること。
(3) 発注工事において、暴力団員等により不当介入を受けたことにより工程に遅れが生じるなどの被害が生じた場合には、発注者と協議を行うこと。

●28 工事の一時中止

- (1) 契約書第21条の規定により工事の一時中止の通知を受けた場合は、中止期間中における工事現場の管理に関する計画(以下「基本計画書」という。)を発注者に提出し、承諾を受けるものとする。なお、基本計画書には、中止時点における工事の出来形、職員の体制、労務者数、搬入材料及び建設機械器具等の確認に関すること、中止に伴う工事現場の体制の縮小と再開に関すること及び工事現場の維持・管理に関する基本的事項を明らかにする。
(2) 工事の施工を一時中止する場合は、工事の進行に備え工事現場を保全すること。

・29 住宅瑕疵担保履行法への対応

受注者は、『特定住宅瑕疵担保責任の履行の確保等に関する法律』(平成19年法律第66号)に基づき、保険への加入または保証金の供託を行うものとする。

○30 墜落制止用器具の着用

「労働安全衛生法施行令第13条第3項第28号」における墜落制止用器具の着用は、「墜落制止用器具の規格」(平成31年1月25日厚生労働省告示第11号)による墜落制止用器具(フルハーネス型墜落制止用器具)とする。

○ 共通工事

●1 電動機

換気扇、圧力扇、厨房機器その他これらに類するものの電動機の保護規格は、製造者規格による標準品としてよい。

・2 総合調整

- 本工事 ○別途
●初期運転状況の記録
○風量調整 ●水量調整 ○室内外空気の温湿度の測定
○室内気流及びじんあいの測定 ○騒音の測定
○飲料水の品質の測定(水道法施工規則(昭和32年厚生省令第45号)第10条による水质検査)
○雑用水の水质測定(建築物における衛生的環境の確保に関する法律施行令第2条の「建築物環境衛生管理基準」による。)
試験、調整等を実施するには、最大需要電力(電力デマンド)を抑制するよう計画し、監督員と協議すること。

・3 スリーブ

- 外壁の地中部分で水密を要する部分のスリーブ
●つば付き銅管スリーブ
●銅管またはビニル管に非加硫ブチルゴム系止水材を巻き付けて止水するスリーブ

・4 配管施工の一般事項

- 建築物導入部配管の配管要領(排水及び通気配管を除く)
標準図(建築物導入部の空気吸引配管要領)の(○(a) ○(b) ●(c))による。
埋設配管がビニル管、ポリエチレン管の場合の配管要領は監督員との協議による。
都市ガス設備の配管要領はガス事業者の承認するものとする。
○建築物エキスパンションジョイント部の配管要領
標準図(建築物エキスパンションジョイント部配管要領)の(●(a) ○(b))による。
○さや管ヘッダー配管システム
13mm以下の樹脂管には消音テープ巻きを行う。

・5 管の接合

- ステンレス鋼管
呼び径65Su以下のステンレス鋼管は拡管式メカニカル接合とする。
溶接接合における溶接部の非破壊検査
適用範囲
すべての溶接接合配管(○使用圧力が0.1MPa未満の配管を除く)
突合せ溶接部の検査の種類
○放射線透過検査(RT) ●浸透探傷検査または磁粉探傷検査(PTまたはMT)

・6 勾配、吊り及び支持

- 電気垂鉛めっきなどによる防錆処理を施した金ねじボルトを切断して吊り用ボルトとして使用する場合、切断面の面取り及び空気に触れる側の切断端部の防錆処理を行う。
ステンレス鋼製の吊り金物・Uボルトなどを使用する場合、鋼製の配管・支持材などへの腐食の影響を考慮する。

・7 試験

- (1) 各種配管の試験は、新設配管に適用する。
(2) 新設配管は、既設配管との接続前に試験を行う

・8 保温工事

- 標仕第2編第3章第1節によるほか下記による。
○防凍保温
屋外露出配管(給水管、消火管、冷温水管、膨張管、冷水管、温水管、ドレン管、弁類を含む)は防凍保温を行う。保温材の厚さは呼び径25mm以下のものは50mm、呼び径32mm以上のものは40mm以上とする。

●一般保温

空調調和設備工事の保温については下記による。

Table with 4 columns: 区分, 施工箇所, 保温の種類, 備考. Rows include 温水管, 蒸気管, 冷水・冷温水管, 冷水管, プライン管, 冷媒管, タンク, and 機器.

Table with 4 columns: ヘッダー, 一般ダクト, スパイラルダクト, 消音内貼, 排煙ダクト, 煙道. Rows include 冷水ヘッダー, 温水ヘッダー, 長方形ダクト, スパイラルダクト, サプライチャンパー, 消音チャンパー, 消音エルボ, 長方形, 円形, 長方形, 円形.

給排水衛生設備工事の保温については下記による。

Table with 4 columns: 区分, 施工箇所, 保温の種類, 備考. Rows include 給水管(○消火管), 排水及び通気管, 給湯管.

Table with 4 columns: 機器, 保温の種類, 備考. Rows include 銅板製のタンク, 貯湯タンク, 排気筒.

公共住宅工事における給排水衛生設備工事の保温については下記による。

Table with 4 columns: 区分, 施工箇所, 保温の種類, 備考. Rows include 給水管, 排水及び通気管, 給湯管, 機器.

保温の種類B及びbの外装材 ○原紙+アルミガラスクロス ●アルミガラス化粧紙

・9 塗装工事

- 下記の金属電線管は塗装を行う。
○屋外露出部 ○屋内露出部
下記の保温を行わないダクトは、塗装を行わない。
○ ○

●10 仮設工事

- (1) 本工事に必要な工事用電力、水及び諸手続きなどの費用は、すべて受注者の負担とする。
(2) 足場及び作業構台の類
○本工事で設置する。
○改修標仕第1編2.2.1によるほか下記による。
○内部足場の種別(○種 ○種)
○外部足場の種別(○種 ○種)
●別契約の関係請負者が設置したものを無償で使用できる。

・11 地業工事

- 下記の基礎部には捨コンクリート地業を行う。
○受水槽 ○浄化槽 ○

・12 コンクリート工事

コンクリートはレディーミクストコンクリートとし、施工に先立ち配合計画書を監督職員に提出する。

・13 鋼材工事

- 屋外部分の材料 ●溶融亜鉛めっき(●2種35) ○ステンレス鋼製(SUS304)

○ 空調調和設備

・1 設計温湿度

Table with 2 rows: 夏期, 冬季. Columns: 外気 (温度, 湿度), 一般系統 (温度, 湿度), 屋内(調整目標) (温度, 湿度).

・2 鋼板製煙道

- 付属品(取付位置は図示による。)
○ばい煙濃度計の取付座 ○ばいじん量測定口
○伸縮継手 ○掃除口

・3 ダクト

- 低圧ダクト
○コーナーボルト工法(●共板フランジ工法 ○スライドオンフランジ工法)
○アングルフランジ工法
○スパイラルダクト

- 高圧1ダクト(適用範囲は図示による。)
○ステンレスダクト及び塩化ビニルダクトの仕様及び適用範囲は図示による。

・4 風量測定口

取付け位置は図示

・5 チャンパー

- (1) 消音内貼を施すチャンパーの表示寸法は外寸とする。
(2) 空調調和機に用いるサプライチャンパー、レタンチャンパー及びダクトの分岐・合流に用いる消音内貼りを施したチャンパーには点検口を設ける。(寸法は図示による。)
(3) ガラリに直接取付けるチャンパー類は雨水等の滞留のないよう施工する。

・6 配管材料

- 冷温水管 ○
冷却水管 ○
油管 ○
蒸気管給気管 ○
遠管 ○
高温水管 ○
冷媒管 ○冷媒用断熱材被覆銅管
膨張管、空気抜き管、ドレン管(蒸気管・ボイラ等)及び膨張タンクよりボイラ等への補給水管 ○
空調調和機及びファンコイルユニットの排水管・ドレン管 ○

・7 弁類

- JISまたはJV ○5K ○10K(図示部分)
65A以上の冷温水・冷却水用弁装置の仕付弁はバタフライ弁とする。
○銅管用伸縮管継手の種類は図示による。
○ステンレス配管を使用する場合の材質はステンレス製とする。

・8 圧力計、連成計及び水高計

取付け位置は図示による。

・9 温度計

取付け位置は図示による。

・10 油面制御装置

- 油面制御装置には下記の端子を設ける。
○給油ポンプ制御 ○満油警報 ○過漏警報 ○電磁弁制御
○返油ポンプ制御 ○減油警報 ○
なお、フロートスイッチ部と制御盤間の配管配線は製造者の標準仕様とする。

・11 保温

- 空調調和機ダクトの保温(施工範囲は図示による。)
●外気(OA) ●給気(SA) ○還気(RA) ○()
○膨張タンクよりボイラ等への補給水管の保温は、共通工事 8 保温工事の温水管の項による。
○建物内の空気抜き管の保温は、共通工事 8 保温工事の温水管の項による。
○空調調和機及びファンコイルユニットの排水管の保温は、共通工事 8 保温工事の排水管の項による。

● 換気設備

・1 ダクト

- 低圧ダクト
○コーナーボルト工法(○共板フランジ工法 ○スライドオンフランジ工法)
○アングルフランジ工法
●スパイラルダクト
○高圧1ダクト(適用範囲は図示)
○ステンレスダクト及び塩化ビニルダクトの仕様及び適用範囲は図示による。
○厨房排気系統の長方形ダクトの板厚は、標仕より1番手厚いものを使用する。

・2 風量測定口

取付け位置は図示による。

・3 排気ダクトのシール

- 浴室(シャワー室、脱衣室を含む)系統 ○厨房系統

・4 チャンパー

空調調和設備の当該項目による。

・5 保温

- 全熱交換器ダクトの保温(施工範囲は図示)
●外気(OA) ○給気(SA) ○還気(RA) ●排気(EA) ○()
○隠ぺい部ダクトの保温仕様h・(イ)・Ⅹの適用(施工範囲は図示)
○厨房 ○湯沸室 ○()

Table with 3 columns: 工事名称, 図面名称/編尺, 設計者. Content: 矢板中学校体育館長寿命化改修機械設備工事, 特記仕様書(その2), M-02, 発注者: 栃木県矢板市教育委員会

○ 排煙設備

- ・1 ダクト
 - 亜鉛鉄板製 ○銅板製
- ・2 排煙口

型式は図示による。
手動開放装置 ○電気式 ○ワイヤー式
遠隔開放操作 ○要 ○不要
- ・3 排煙風量測定

建築設備定期検査業務基準書(一財)日本建築設備・昇降機センター)の排煙風量の検査方法に準ずる。

○ 自動制御設備

- ・1 構成その他

図示による。
- ・2 電気計装工事の配線

屋外・屋内露出の電線は、図面に特記のない限り金属管配線とする。
天井内隠ぺいの配線は、図面に特記のない限りケーブル配線とする。

● 衛生器具設備

- ・1 和風便器

○耐火カバーを設置する。(下部がピット及び土間部を除く。)
- ・2 洗面器及び手洗器

水栓は止水栓付属とする。
- ・3 衛生器具附属水栓

●水抜栓を使用する場合、水栓は固定こま式とする。
- ・4 衛生器具ユニット

ユニットの配管材料は、別図衛生器具ユニットの仕様表とする。
- ・5 標記板

取付け位置 ○大便器 ○小便器 ○
材質 ○陶器製 ○

● 給水設備

- ・1 配管材料

給水引込管(直結部分) 水道事業者の指定による ○
地中埋設部
●水道用ポリエチレン二層管 ○水道配水用ポリエチレン管
●塩ビライニング鋼管(SGP-VD) ○
一般部
○塩ビライニング鋼管(SGP-VA) ○塩ビライニング鋼管(SGP-VB)
○
- ・2 水栓

○台所流し用の水栓は泡沫式とする。
○水抜栓を使用する場合、水栓は固定こま式とする。
○凍結防止機能付水栓(サーモエレメント式)を設置する。(取付け位置は図示)
- ・3 量水器

○親メーター(○貸与品 ○)
○子メーター(○買い取り ○)
- ・4 量水器柵

○水道事業者指定品(○貸与品 ○買い取り) ○標準図 MC 形
- ・5 弁類

JISまたはJV ○水道直結部分(○10K ○)
●その他の部分(●5K ○)
○ステンレス配管を使用する場合の材質はステンレス製とする
- ・6 管の埋設深さ

管の上端より原則として、一般敷地は(30cm)構内道路は(60cm)以上とする。
ただし、凍結深度以上とする。
埋戻しは管の上端より100mmまでは山砂を使用する。
- ・7 水栓柱

○合成樹脂製 ●アルミニウム合金製
- ・8 引込納付金等

○要(○本工事 ○別途工事) ●不要

● 排水設備

- ・1 配管材料

屋内	汚水管	○排水用塩ビライニング鋼管	○耐火二層管
	雑排水管	●ビニル管(VP)	○耐火二層管
	通気管	○排水用塩ビライニング鋼管	○耐火二層管
		●ビニル管(VP)	○耐火二層管
屋外	第一崩まで	○鋼管(白管)	○耐火二層管
		○ビニル管(VP)	○耐火二層管
		●ビニル管(VP)	○ビニル管(VU)
	樹間	○	○ビニル管(VU)
		●ビニル管(VP)	○ビニル管(VU)
		○	

ビニル管(VP)はカラー管とする。
ただし、露出配管以外の部分は、JISに規定の標準色とすることができる。
- ・2 洗面器等の排水管

洗面器に直結する排水管は、器具トラップより1サイズアップとする。
大便器、小便器、洗面器及び掃除機などの接続管はビニル管(VP)とする。
○台所流し等の床上露出部分の配管はビニル管(VP)でもよい。
- ・3 満水試験継手

取付け位置は図示による。
- ・4 放流納付金等

○要(○本工事 ○別途工事) ○不要

○ 給湯設備

- ・1 配管材料

○給湯用塩ビライニング鋼管 ○ステンレス管 ○
- ・2 弁類

JISまたはJV ○5K ○10K(図示部分)
○ステンレス配管を使用する場合の材質はステンレス製とする

○ 消火設備

- ・1 配管材料

屋内消火栓	一般	○鋼管(白管)	○
	地中	○外面被覆鋼管(SGP-VS)	○
連結送水管	一般	○	
	地中	○	

○ 厨房設備

- ・1 厨房用熱源

図示による。
- ・2 機器の機能等

図示による。
- ・3 機器の寸法

概略寸法とする。

○ ガス設備

- ・1 配管材料

○都市ガスガス 事業者の供給規定による。
○液化石油ガス 一般 ○鋼管(白管) ○
地中 ○合成樹脂被覆鋼管 ○
- ・2 充てん容器その他

○LPガス容器(貸与品) (●50kg ○20kg ○10kg)×()本
○バルク貯槽 貯蔵量()kg
- ・3 集合装置

標準図(液化石油ガス容器廻り配管要領)による()本立て。
- ・4 転倒防止等

標準図(液化石油ガス容器転倒防止施工要領)の ○(a) ○(b) による。
- ・5 メーター

○親メーター (○貸与品 ○)
○子メーター (○買い取り ○)
- ・6 ガス漏れ警報器

○本工事(設置場所は図示による。) ○別途工事
- ・7 漏洩検知装置

○要 ○不要
- ・8 電気防食

○要 ○不要
- ・9 引込負担金等

○要(○本工事 ○別途工事) ○不要

○ 排水処理設備

- ・1 設備方式

○排水再利用 ○厨房除害 ○浄化槽
- ・2 仕様等

図示による。

○ 雨水利用設備

- ・1 設備方式

図示による。
- ・2 配管材料

○

● 改修・撤去工事

- ・1 撤去内容

図示による。
- ・2 化学物質の濃度測定

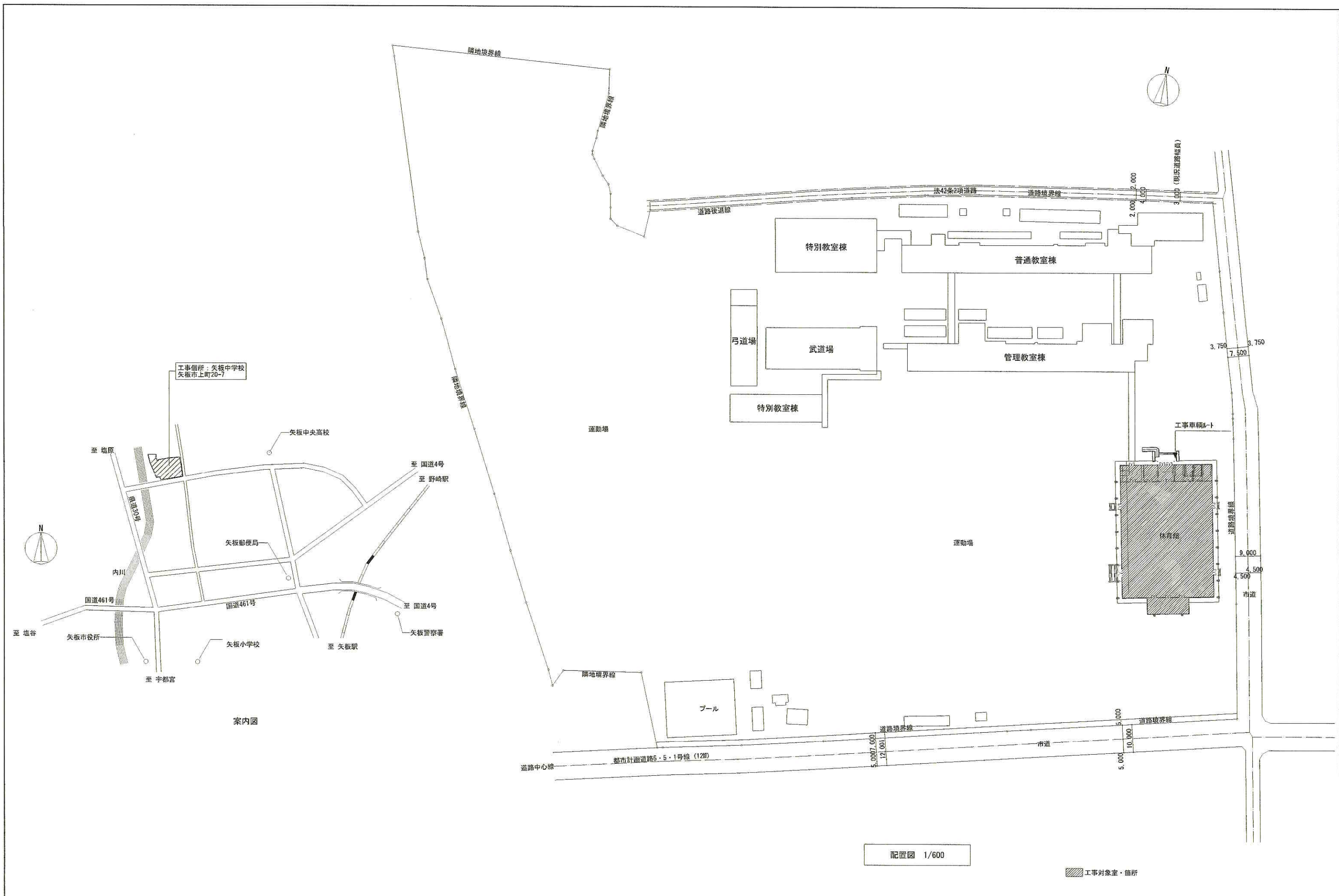
施工完了時に室内空気中の濃度測定を行い、測定結果をまとめて報告する。
測定する化学物質の種類 ●ホルムアルデヒド ●トルエン ●キシレン ●エチルベンゼン ●ステレン ○パラジクロロベンゼン
測定方法 パック型採取機器により行う。
測定対象室 図示による。
測定箇所数 図示による。
着工前の測定 ○行う ○行わない

別表-1 他工事との取り扱い

工事内容	●印を適用する						
	建築工事	電気設備工事	機械設備工事	塗装工事	昇降機設備工事		
仮設電力の引込み(分電盤・キュービクルまで)	●	○	○	○	○	○	○
仮設電力の引込み(分電盤・キュービクル以降)	●	●	●	○	○	○	○
仮設電力の電気料	●	●	●	●	●	●	○
本受電後の電気基本料金	○	●	○	○	○	○	○
本受電後引渡しまでの電気使用料	●	●	●	●	●	●	○
仮設水道の引込み(メーターまで)	●	○	○	○	○	○	○
仮設水道の引込み(メーター以降)	●	●	●	●	●	●	○
仮設水道及び本設後引き渡しまでの使用料	○	○	○	○	○	○	○
壁・壁・床の開口、貫通、埋込部のスリーブ・型枠(電気、機械の配管等)	○	●	●	○	○	○	○
すべての開口、貫通、埋込部の補強	●	○	○	○	○	○	○
屋上に設置する機器の基礎(電気及び機械機器)	●	○	○	○	○	○	○
屋内及び屋外に設置する機器の基礎(電気及び機械機器)	○	○	●	○	○	○	○
天井・壁(軽量鉄骨下地)に付く機器の位置・露出し	○	●	●	○	○	○	○
天井・壁(軽量鉄骨下地)に付く機器の開口部補強を要しない場合の切込み	○	●	●	○	○	○	○
天井・壁(軽量鉄骨下地)に付く機器の開口部補強を要する場合の切込み	○	○	○	○	○	○	○
天井・壁(軽量鉄骨下地)に付く機器の開口部補強	●	○	○	○	○	○	○
天井換気扇の取付	○	○	○	○	○	○	○
壁・窓用換気扇の取付	○	○	○	○	○	○	○
壁・窓用換気扇取付枠	●	○	○	○	○	○	○
点検口の取付(床・壁・天井・PS等)	●	○	○	○	○	○	○
防煙ダンパー	○	○	○	○	○	○	○
防煙ダンパー用煙感知器の配管・配線	○	○	○	○	○	○	○
床仕上げ材の穴あけ(フローリングブロック等)	●	●	○	○	○	○	○
ルーフトレイン及び緩どい(拵及び倒溝までの配管)	●	○	○	○	○	○	○
配線ピット及び蓋	●	○	○	○	○	○	○
電極棒及びフロートスイッチ	○	○	○	○	○	○	○
自動扉、電動シャッター、電動スクリーン及び電動カーテン等2次側配線	●	●	○	○	○	○	○
機械設備の制御、操作盤への電源供給制御	○	○	○	○	○	○	○
機械設備の制御、操作盤の2次側配線	○	○	○	○	○	○	○
天井吊り形放熱器(FCU等)と操作スイッチとの配管・配線・接地工事	○	○	○	○	○	○	○
消火栓箱総合筐用穴あけ	○	○	○	○	○	○	○
設備機器のインターロックの配管・配線	○	○	○	○	○	○	○
電気設備のフェンス・金網	○	○	○	○	○	○	○
ガス漏れ警報器(単設型)	○	○	○	○	○	○	○
ガス漏れ警報器(集中監視型)	○	○	○	○	○	○	○
ガス漏れ警報器用コンセント	○	○	○	○	○	○	○
造り付け流し台	●	●	○	○	○	○	○
造り付け流し台排水トラップ	○	○	○	○	○	○	○

既製流し台及び排水トラップ(ガス台・洗面化粧台等を含む)	○	○	○	○	○	○	○
既製吊戸棚	●	○	○	○	○	○	○
鏡(姿見は建築工事)	○	○	○	○	○	○	○
昇降機の出入口開口の型枠	●	○	○	○	○	○	○
昇降機の乗場ボタン、インジケーター配管用スリーブ及び型枠	●	○	○	○	○	○	○
昇降機のピット内保守用コンセント	○	○	○	○	○	○	○
外壁取付ガラリ、排煙口	●	○	○	○	○	○	○
体育館などの器具・安定器など取付下地金物	●	○	○	○	○	○	○
昇降機インターホンの配管・配線	○	○	○	○	○	○	○

工事名称	矢板中学校体育館長寿命化改修機械設備工事		
図面名称/縮尺	特記仕様書(その3)	図面番号	
設計年月日		M-03	
設計者			
発注者	栃木県矢板市教育委員会		



配置図 1/600

■ 工事対象室・箇所

設計	担当	製図	検図	承認	設計年月日	工事名	図面名	縮尺	番号
						矢板中学校体育館長寿命化改修機械設備工事	案内図 配置図	A1 1/600 A3 11/200	M-04

換気器機表 (改修)

記号	名称	型式仕様	電気仕様			数量	備考
			φ	V	W		
FE-1	天井扇	型式 低騒音型 参考型式 VD-18213	1	100	31.0	2	男子トイレ
		仕様 150φ×298m ³ /h×30Pa					女子トイレ
		付属品 吊金具、排気フード (防虫網付)					
FE-2	天井扇	型式 低騒音型 参考型式 VD-13213	1	100	13.0	1	多目的トイレ
		仕様 100φ×107m ³ /h×30Pa					
		付属品 吊金具、排気フード (防虫網付)					
FE-3	換気扇	型式 壁付型電気シャッター式引籠 参考型式 EFG-20KS82-P	1	100	17.0	2	ロッカー室
		仕様 20cm×450m ³ /h×10Pa					
		付属品 ウォーターガード (防虫網付)、取付枠					
	ウォーターガード	仕様 20cm用 (FE-3に使用するものと同等品)				3	管理室、男子トイレ、女子トイレ

衛生器具表 (改修)

名称	参考品番	付属品参考品番	男子トイレ	女子トイレ	多目的トイレ	外部	数量	備考
小便器	UFS900R	1φ-100V-0.5W		3			3	
小便器用手すり	T1120U22	樹脂被覆パイプ φ34、T110036×2、T110044×4		1			1	
汚壘石	AB655K			3			3	
洗面器	SK500	T200BS0F13C、T6PCM、TL2200、TH500-32			2		2	
洗面器	LSA135AN		1φ-100V-5W	2	3		5	
男子トイレ用洗剤	UADBK61R1A1ADD1BA	壁掛便器、手洗器、洗面器 (電気温水器)、水石けん入れ、背もたれ、手すり (L型・可変式)				1	1	コンテナ4カ所
	TCF5841AUP	温水洗浄便座 (便ふた無、金属ペダル、乾燥付き、壁掛リモコン、シャワー式便器洗浄リモコン)						(電気工事)
		オストメイト (電気温水器・化粧箱)、ペーパーホルダー、フリップアップシート	1φ-100V-2367W					
化粧鏡	YM4560A	一般鏡、W=450mm×H=600mm		2	3		5	
化粧鏡	YM6909A	一般鏡、W=600mm×H=900mm				1	1	
掃除用流し	SK22A	T23AE020C、T37SGEP、TH114、T9R、TK22		1	1		2	
ペーパーホルダー	YKA16S			1	1		2	
ペーパーシート	YKA24S					1	1	
フック	YKH22					2	2	
散水栓	T28UH13	キャブワイド水栓、B3B-S				1	1	

換気器機表 (撤去)

記号	名称	型式仕様	電気仕様			数量	備考
			φ	V	W		
F-1	換気扇	型式 壁付型電気シャッター式引籠 参考型式 V-20EK	1	100	22.0	5	男子トイレ
		仕様 20cm×430m ³ /h					女子トイレ
		付属品 排気フード					ロッカー室
							管理室

衛生器具表 (撤去)

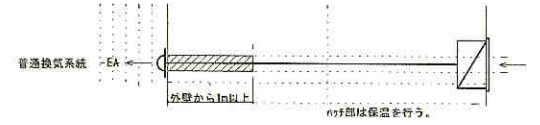
名称	参考品番	付属品参考品番	男子トイレ	女子トイレ	数量	備考
小便器	U307	T60PF		6	6	
洗面器	L230	単水栓		2	2	4
掃除用流し	SK22A	水栓、排水トラップ		1	1	2

凡例

記号	名称	仕様
PP	給水管	ポリエチレン管 JIS K 6761
—	給水管	塩化ビニル管 VB又はVD JWWA K 116
—	給水管	塩化ビニル管 VP又はVU JIS K 6741
—	通気管	塩化ビニル管 VP JIS K 6741
—	給湯管	給湯用塩化ビニル管 H-VA JWWA K 140
—	ガス管	配管用炭素鋼管 白管 JIS G 3452
⊗	水栓	固定コマ
⊙	床排水金具	T5A-D
⊗	流し排水金具	T14B
⊙	床上掃除口	00A-60B
→	通気口	TV0-AL
⊗	仕切弁	給水直結部 JIS10K 27付 その他 JIS5K 27付
⊗	逆止弁	JIS10K
—	7/8インチ継手	ステンレス製
—	防振継手	ペーパー製
⊗	バルブ	塩化ビニル製又は銅製 (防護ネット T-8A 専用台座 内27付)
⊗	ため桝	部型 MHA造

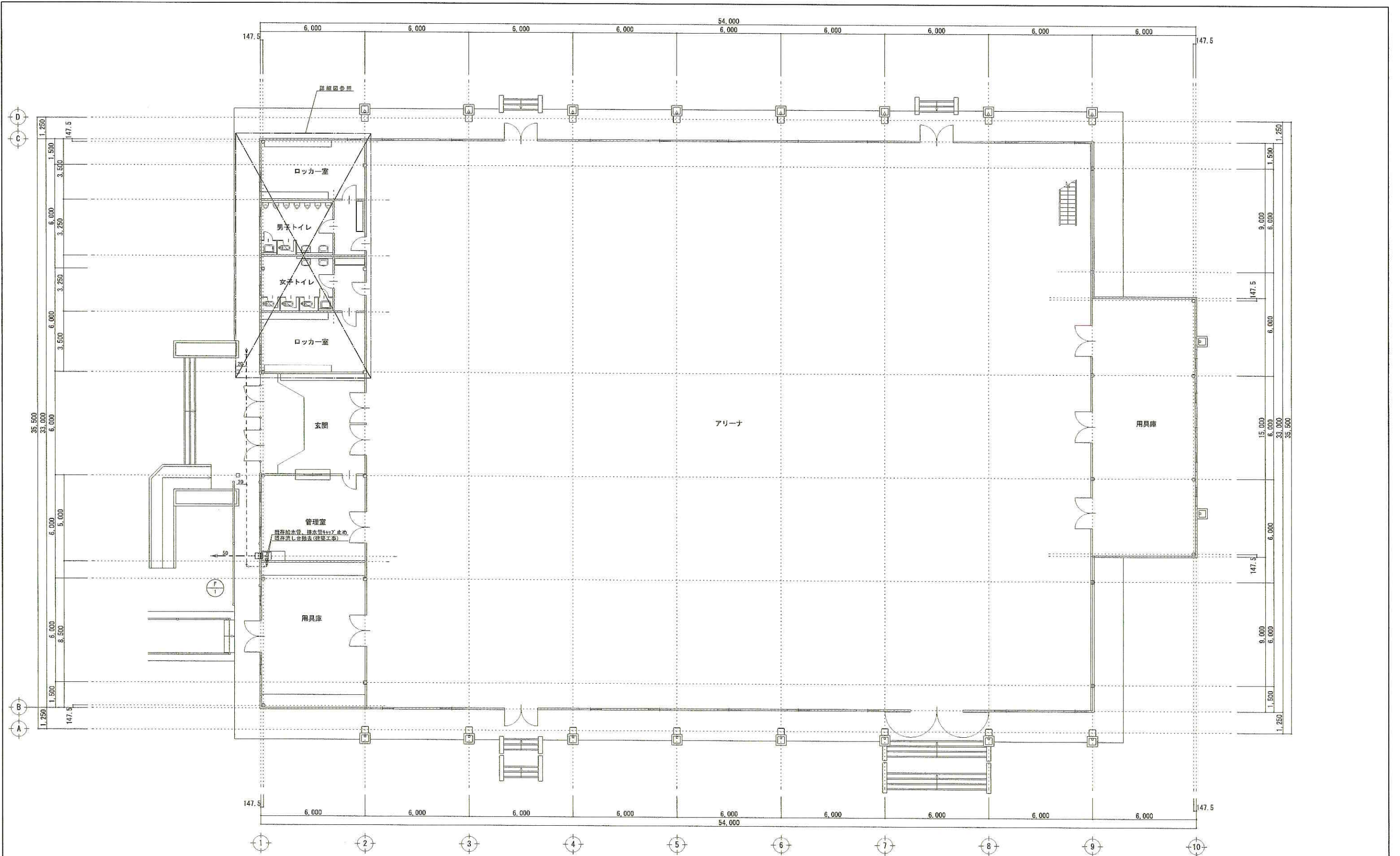
換気計算表

室名	床面積 (m ²)	天井高 (m)	容積 (m ³)	換気回数 (回/h)	必要換気量 (m ³ /h)	設計換気量 (m ³ /h)	記号	備考
男子トイレ	13.331	2.55	33.994					
男子トイレ前室	3.588	2.70	9.688					
計			43.682	5	218.41	298.00	FE-1	
女子トイレ	13.331	2.55	33.994					
女子トイレ前室	3.588	2.70	9.688					
計			43.682	5	218.41	298.00	FE-1	
多目的トイレ	5.773	2.55	14.721	5	73.605	107.00	FE-2	
男子ロッカー室	21.329	2.70	57.588	5	287.94	450.00	FE-3	
女子ロッカー室	21.634	2.70	58.412	5	292.06	450.00	FE-3	



換気用フード 室内温度維持・室内温度維持工事

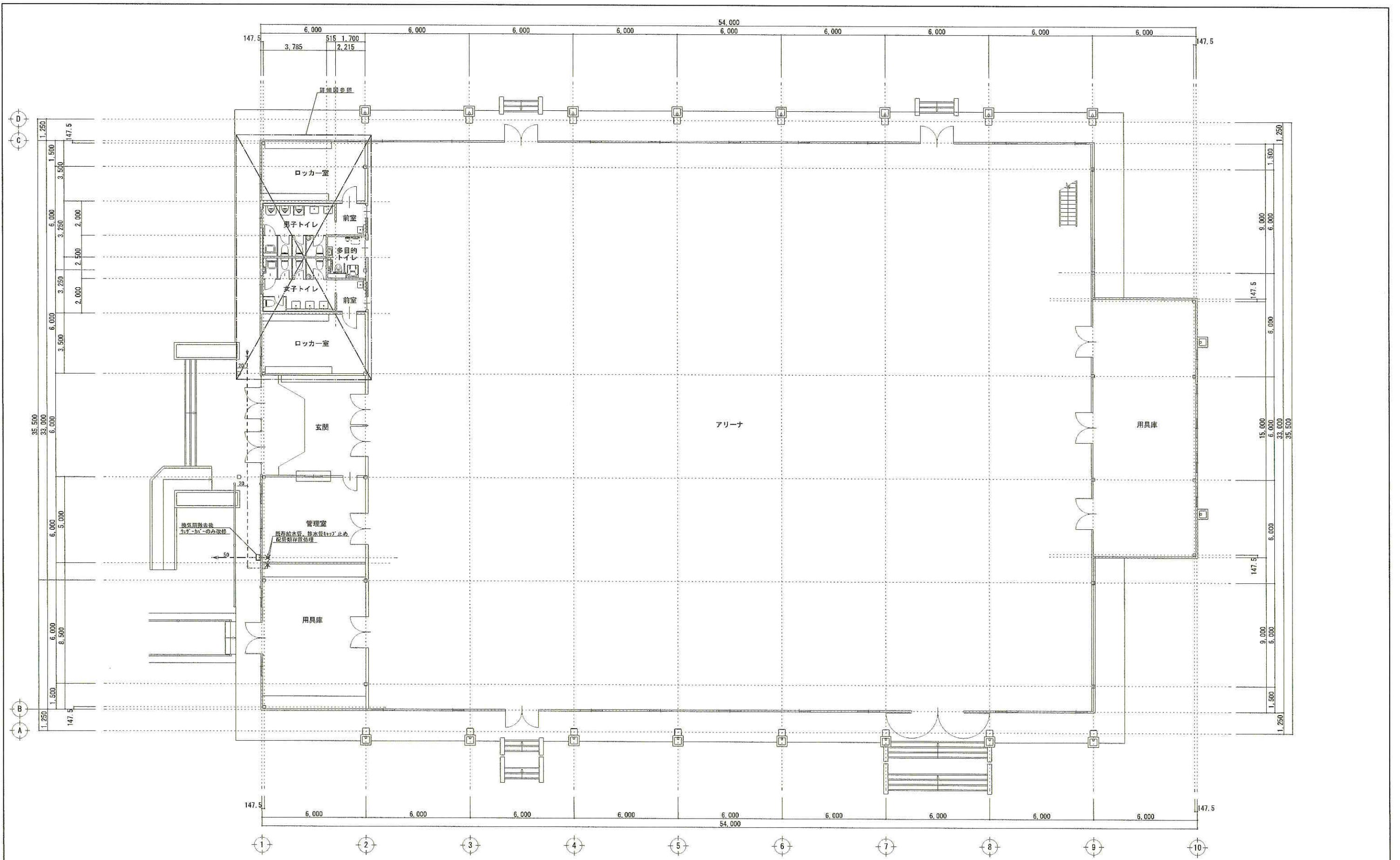
特記
 ・現況と図面に相違がある場合は現況優先とする
 ・解体撤去は残材処分



1F 平面図 (改修前) 1/100

特記
 ・現況と図面に相違がある場合は現況優先とする
 ・実線部分の機器・器具、配管・ダクト類を撤去する
 ・解体撤去は残材処分共

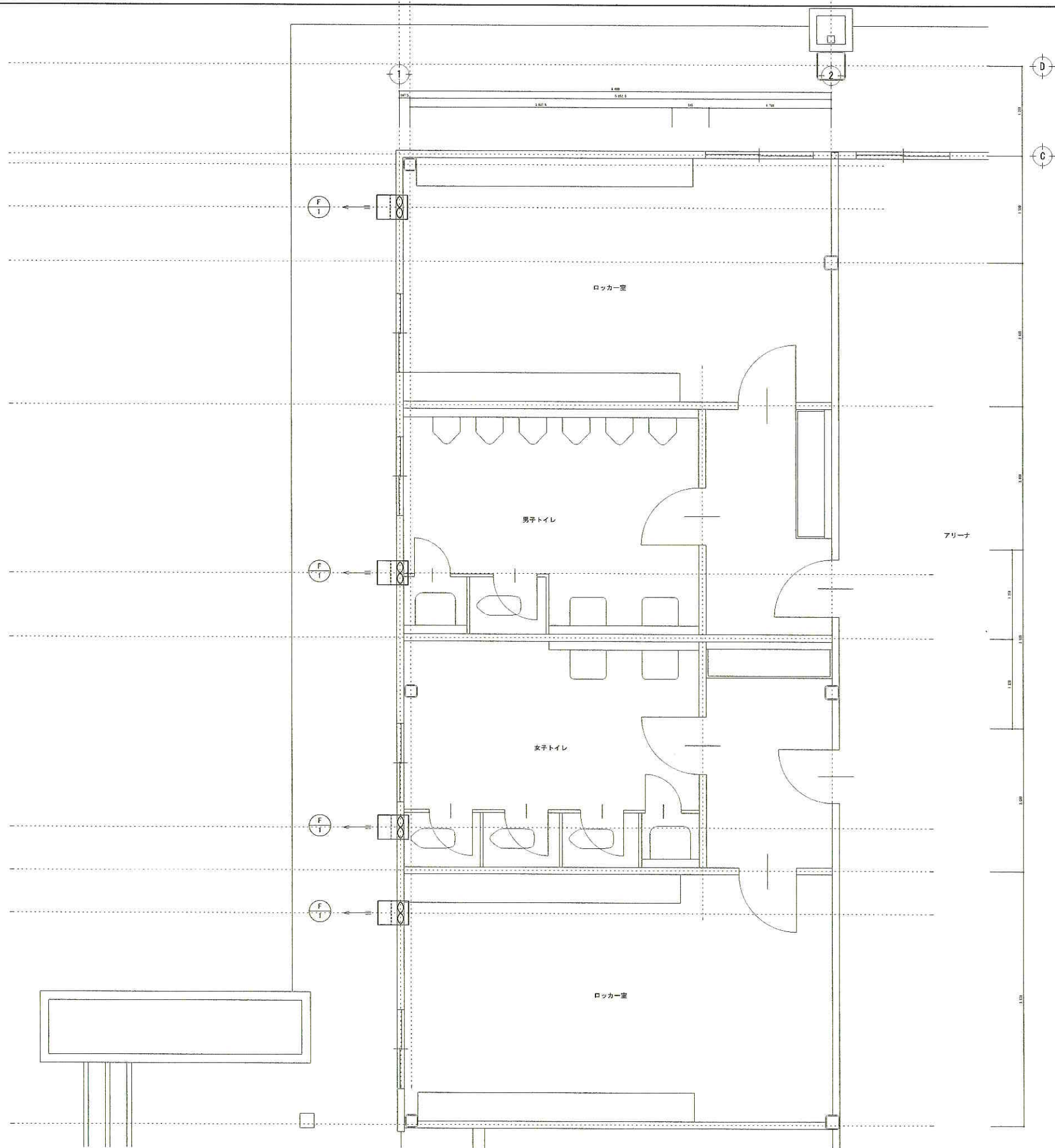
設計	担当	製図	校図	承認	設計年月日	工事名	図面名	縮尺	番号
						矢板中学校体育館長寿命化改修機械設備工事	1F平面図 (改修前)	A1 1/100 A3 1/200	M-06



1F 平面図 (改修後) 1/100

特記
 ・現況と図面に相違がある場合は現況優先とする
 ・実線部分の機器・器具・配管・外観を改修する
 ・解体除去は残材処分共

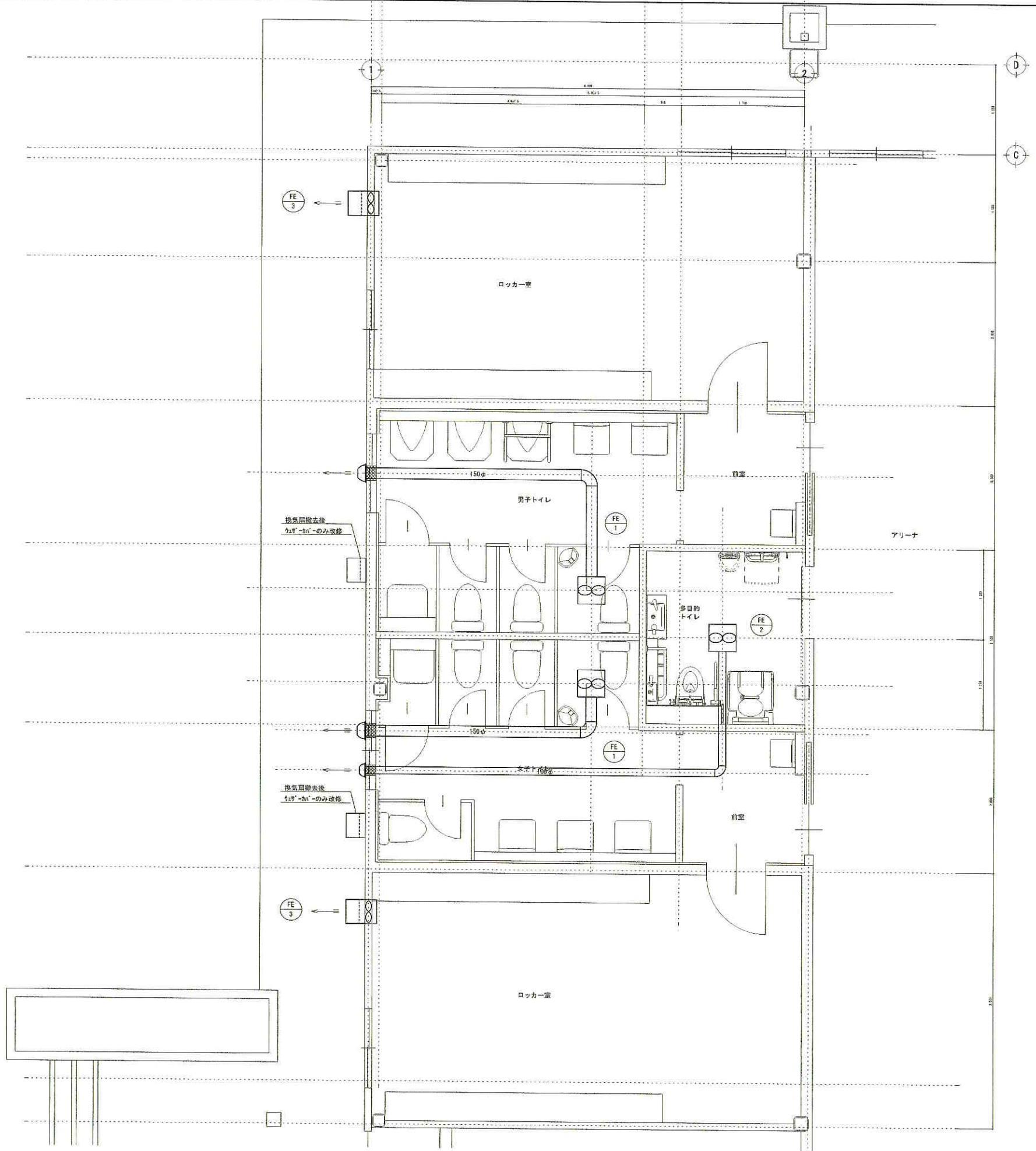
設計	担当	製図	検図	承認	設計年月日	工事名	図面名	縮尺	番号
						矢板中学校体育館長寿命化改修機械設備工事	1F平面図 (改修後)	A1 1/100 A3 1/200	M-07



平面詳細図 (改修前) 1/30

特記
 ・現況と図面に相違がある場合は現況優先とする
 ・実線部分の機器・器具、配管・ダクト類を撤去する
 ・解体撤去は異材質区分

設計	担当	製図	検図	承認	設計年月日	工事名	図面名	縮尺	番号
						矢板中学校体育館長寿命化改修機械設備工事	換気設備 1F平面図 (改修前)	A1 1/30 A3 1/60	M-08



平面詳細図 (改修後) 1/30

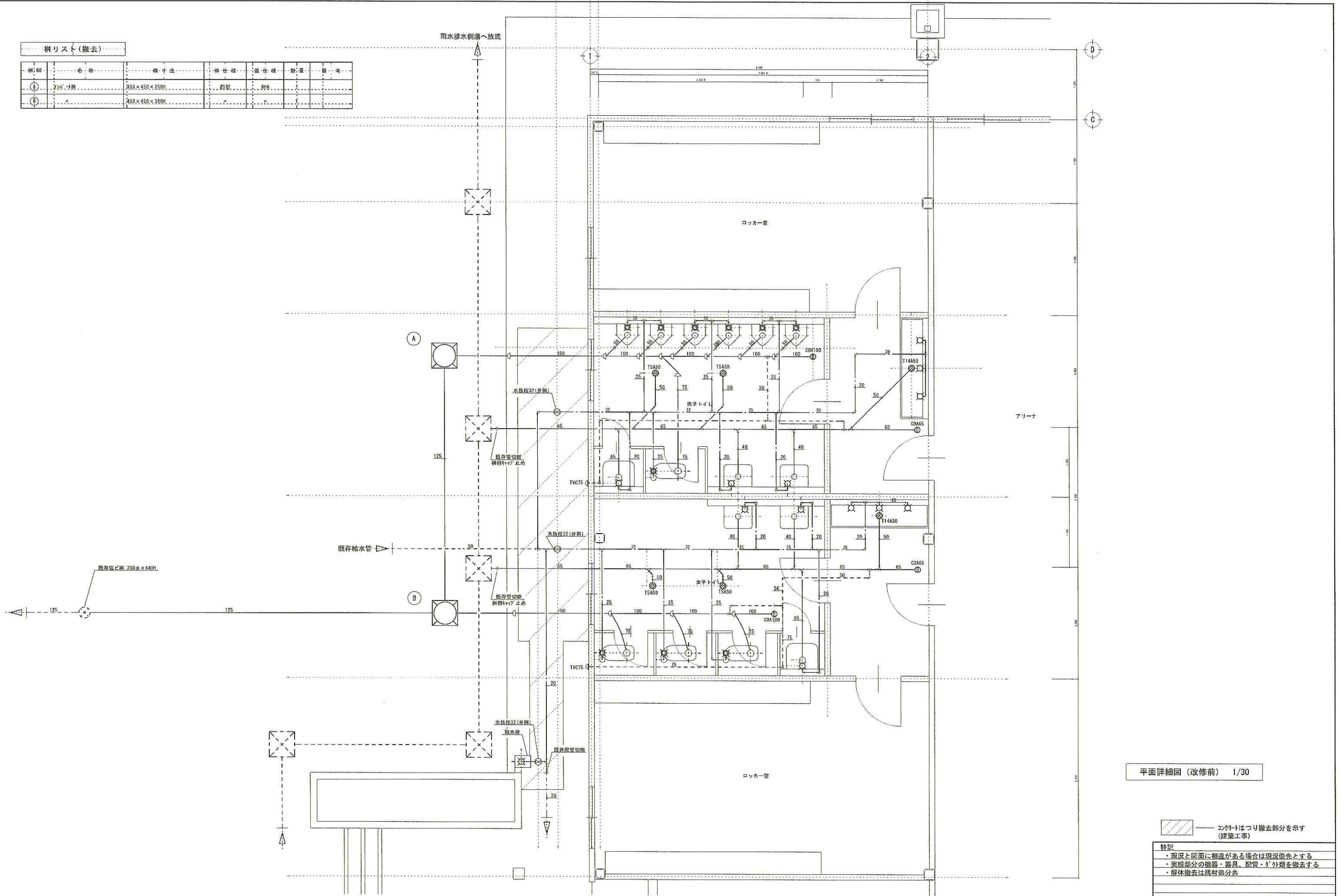
特記
 ・現況と図面に相違がある場合は現況優先とする
 ・実線部分の機器・器具、配管・ダクト類を改修する
 ・解体撤去は残材処分

設計	担当	製図	検図	承認	設計年月日	工事名	図面名	縮尺	番号
						矢板中学校体育館長寿命化改修機械設備工事	換気設備 1F平面詳細図 (改修後)	A1 1/30 A3 1/60	M-09

樹リスト(撤去)

樹No	名称	樹寸法	樹仕様	撤去仕様	数量	備考
①	270-1樹	450×450×350H	鋼製	MH		
②	"	450×450×380H	"	"		

雨水排水側溝へ放流



平面詳細図 (改修前) 1/30

コンクリートはつり撤去部分を示す (建築工事)

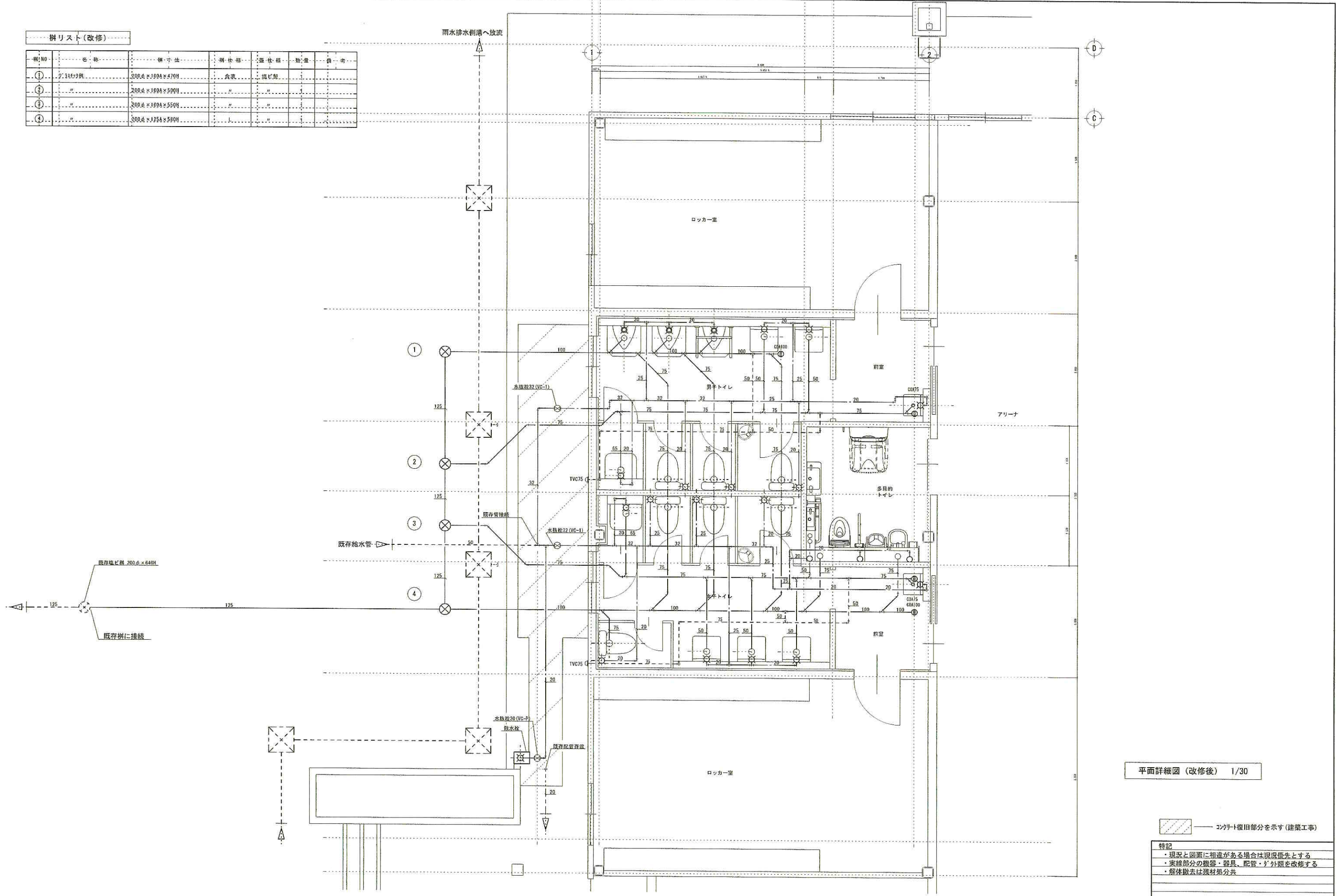
- 特記
- ・現況と図面に相違がある場合は現況優先とする
 - ・実線部分の機器・器具・配管・ダケ外類を撤去する
 - ・解体撤去は残材処分共

設計	担当	製図	検図	承認	設計年月日	工事名	図面名	縮尺	番号
						矢板中学校体育館長寿命化改修機械設備工事	衛生給排水設備 1F平面図 (改修前)	A1 1/30 A3 1/60	M-10

樹リスト(改修)

樹NO	名 称	樹 寸 法	樹 種 類	置 設 様 式	数 量	備 考
①	ア 125φ200H	200φ×1004×470H	食洗	埋込型		
②	ア	200φ×1004×590H	ア	ア		
③	ア	200φ×1004×550H	ア	ア		
④	ア	200φ×1254×590H	ア	ア		

雨水排水側溝へ放流



平面詳細図(改修後) 1/30

——— コンクリート復旧部分を示す(建築工事)

- 特記
- ・現況と図面に相違がある場合は現況優先とする
 - ・実線部分の機器・器具・配管・外観を改修する
 - ・躯体撤去は残材処分共

設計	担当	製図	検図	承認	設計年月日	工事名	図面名	縮尺	番号
						矢板中学校体育館長寿化改修機械設備工事	衛生給排水設備 1F平面詳細図(改修後)	A1 1/30 A3 1/60	M-11

● 電灯設備

- ・1 非常用照明器具
○電池内蔵形 ○電源別置形 ○蓄電池 (10分) +自家発電設備
・2 誘導灯
○電池内蔵形 ○電源別置形 ○標識
・3 配線器具
(1) 防災設備、コンセントについては消防法に適合すること。
(2) 住宅用スイッチ、コンセント類は
●大角形 (金属プレート) →共用部
●ワイドハンドル部 →住戸内

・4 住宅用分電盤
主開閉器・分岐開閉器の定格遮断電流 [単位A]

	定格電流	定格遮断電流
主開閉器	30以下	2,500以上
	30を超え100以下	5,000以上
	100を超え150以下	10,000以上
分岐開閉器	—	2,500以上

住宅用分電盤内に設置する過電流警報装置の品質及び性能 (公仕仕 1.1.4)
(○「品質・性能基準」 ○)

- ・5 その他
(1) ○特殊コンセントにはプラグを付属させる。
○別途機械設備工事機器仕様コンセント (エッテング) については打合せすること。
(2) 次のコンセントのプレートには、電圧等の表示を行う。
・単相 200V
・三相 200V
・一般電源用以外 (※発電機回路、※UPS 回路等) ※赤字等で表示する。

○ 動力設備

- ・1 機器への接続
(1) 本工事制御盤より別途電動機等への配線の接続は、原則として
○本工事 ○別途工事 とする。
(2) 電動機等への接続は、ビニル2種金属製可とう電線管 (防水ブリカ) を使用する。
(3) 遮断器の定格電流は、メーカー推奨品を優先とする。
・2 電動機の接地
○金属管接地 ○専用接地線

○ 電熱設備

- ・1 制御盤
櫃仕によるが、盤内の器具類の構成配置は監督職員の承諾のうえ、製造者の標準として良い。
・2 温度調節器
○電気式 ○電子式
・3 その他

○ 雷保護設備

- ・1 突針支持管
○鋼製 (溶融亜鉛メッキ HDZ35 以上) ○ステンレス製 (強度計算書を監督職員に提出すること)
・2 避雷導線
○引下げ導線 ○建築構造体利用
・3 接地極
○接地極埋設 ○建築構造体利用
・4 その他
接続部分については、異種金属接触腐食 (電食) を起こさないように施工すること。

○ 受変電設備

- ・1 高圧開閉器 (屋外用)
高圧気中開閉器 (SDG) は (○方向性 ○VT 内蔵 ○LA 内蔵) ○既存
高圧気中開閉器 (UAS) は (○方向性 ○VT 内蔵) ○既存
・2 主遮断装置
高圧交流遮断器 (VCB) は (○手動式 ○電磁式) ○既存
・3 設備内容
進相コンデンサ (自動力率制御 ○有 ○無)
デマンド監視装置 (○有 ○無)
・4 配電盤
○屋内形 (○開放形 ○閉鎖形) ○屋外形 ○キュービクル式非常電源専用受電設備認定品
・5 その他
(1) キャビネット内の換気計算については、日本配電制御システム工業会の計算方法を参考にして計算すること。
(2) 保護継電器の保護協調曲線を作成し、監督職員に提出し、承諾を受けること。なお、改修工事についても同様とする。

○ 電力貯蔵設備

- ・1 直流電源装置
○非常用照明器具の電源と共用 ○受変電設備専用蓄電池

- 鉛蓄電池
種別 (○GS 形 ○PS 形 ○MSE 形 ○長寿命 MSE 形 ○HSE 形)
○アルカリ蓄電池
種別 (○AMP 形 ○AMHP 形 ○AHP 形 ○AHS 形 ○AHSH 形 ○AHE 形)

- ・2 交流無停電電源装置 (UPS)
○常時インバータ給電方式
○常時インバータ給電方式 (簡易型)
○ラインインタラクティブ方式
○常時商用給電方式
・3 電力貯蔵装置 (電力平準化用)
○リチウム二次電池 ○鉛蓄電池 ○ニッケル水素電池
・4 その他

- (1) キャビネット内の換気計算については、日本配電制御システム工業会の計算方法を参考にして計算すること。
(2) 簡易形については、監督職員の承諾のうえ、製造者の標準として良い。

○ 発電設備

- ・1 自家発電設備
(1) 発電装置の用途 ○防災用自家発電装置 ○常用自家発電装置
○常用防災兼用自家発電装置
(2) 原動機
種類 ○ディーゼルエンジン ○ガスエンジン
○ガスタービン ○マイクロガスタービン
始動方式 ○電気始動式 ○空気始動式
起動蓄電池 (○標準 ○長寿命型)
冷却方式 ○水冷却 (○循環方式 ○ラジエーター方式)
○空冷式
(3) 燃料
種類 ○A重油 ○軽油 ○灯油
燃料小出タンク (○本工事 ○別途工事)
主燃料タンク (○専用 ○他設備と共用)
(4) 形式
○キュービクル式 (○一般用 ○寒冷地仕様 ○低騒音仕様)
○オープン式
(5) 発電種類
○普通形自家発電装置 ○即時普通形自家発電装置
○長時間形自家発電装置 ○即時長時間形自家発電装置
(6) 運転時間
○72時間 ○時間
(7) 配電盤
監督職員の承諾のうえ、製造者の標準として良い。

- ・2 太陽光発電設備
太陽電池モジュール
○結晶シリコン系 (○単結晶 ○多結晶)
○薄膜系 (○アモルファス ○CIS ○CIGS)
○三相3線式 200V ○単相3線式 200/100V
・JET 認証品とする。
・JIS C 8955 に基づき、荷重計算を実施し監督職員の承諾を得ること。
・DVG の設置 ○有 ○無
・太陽電池アレイ用支持物の荷重計算に係わる用途係数
○極めて重要な太陽光発電システム
○通常設置する太陽光発電システム

○ 構内情報通信網設備

- ・1 構内情報通信網装置
構内情報通信網装置 ○有 ○無
・2 構内情報通信網装置の構成性能
図示による。
その他追加機能
○
○

○ 構内交換設備

- ・1 交換装置
○IP-PBX ○VoIP サーバ ○既存
・2 電話機
○一般形 ○多機能形 ○IP 形
○ファクシミリ ○デジタルコードレス形 ○IP コードレス形
○停電用電話機
・3 その他
追加サービス機能
○

○ 情報表示設備

- ・1 マルチサイン
表示方式 ○LED 式 ○液晶 (LCD) 式 ○有機 EL 式
種類 ○壁掛型 ○自立型
・2 時刻表示装置
○観時計 ○プログラムタイマ ○子時計 ○電子チャイム
時刻同期装置
○標準電波方式 ○公共回線方式 ○ラジオ放送方式 ○GNSS 方式
○地上デジタル放送方式 ○NTP サーバー方式
・3 出退表示装置
制御方式 ○多線直接式 ○パルス伝送式
表示方式 ○LED 式 ○液晶 (LCD) 式 ○有機 EL 式
・4 水道漏れ検針設備
検針盤 ○手動式 ○自動式
配線 ○3線式 ○5線式

○ 映像・音響設備

- ・1 プロジェクタ
○本工事 ○別途工事
種類 ○液晶形 ○DLP 形
投写方式 ○前面式
スクリーン形式 ○反射マット形 ○反射ビーズ形 ○反射細密ビーズ形
○反射ストライプ形
設置方式 ○上巻タイプ ○下巻タイプ ○張込タイプ
その他 機器収納ラックは監督職員の承諾のうえ、製造者標準として良い。

- ・2 テレビ
○本工事 ○別途工事

○ 拡声設備

- ・1 拡声装置
種類 ○一般放送用 ○非常放送用
形式 ○卓上形 ○キャビネットラック形
アンテナ ○AM (○ステンレス鋼製 ○)
○FM (○耐食アルミニウム製 ○ステンレス鋼製)

● 誘導支援設備

- ・1 誘導支援装置
○音声誘導装置 (○無線式 ○磁気式 ○画像認識式)
○インターホン装置 (○テレビインターホン ○外部受付用インターホン)
●トイレ等呼出装置 (○壁掛式 ○ラック収納式 ○卓上式)
○住宅情報壁装置 消防法に適合した旨の表示をすること
公共住宅の住宅情報壁装置の品質及び性能 (○「品質・性能基準」 ○)
○インターホンオートドアロック装置
○宅配ボックス装置
公共住宅の宅配ボックスの品質及び性能 (○「品質・性能基準」 ○)

○ テレビ共同受信設備

- ・1 テレビ共同受信装置
種類 ○UHF ○BS ○CS ○CATV ○FM ○AM
画質 ○2K ○4K ○8K ○16K
その他 増幅器を収容する場合は、AC125V2P15A 接地端子付きのコンセントを設ける。
テレビ端子及び直列ユニットは CS・BS・UV・FM 共用形、プラグ付きとする。
地上デジタル放送を受信できるものとする。
公共住宅のテレビ機器・FM アンテナの品質及び性能 (○「品質・性能基準」 ○)

○ 監視カメラ設備

- ・1 監視カメラ装置
伝送方式 ○ネットワーク伝送方式 ○同軸伝送方式
録画装置 ○デジタルレコーダ ○録画サーバ
その他 ○高所に設置する場合は落下防止の措置を施すこと。

○ 駐車場管制設備

- ・1 駐車場管制装置
検知方式 ○光線式 ○ループコイル式 ○超音波センサ式
信号灯・警報灯 ○天井つり下げ形 ○自立形 ○壁掛形

○ 防犯入室管理設備

- ・1 防犯装置
○本工事 (配管のみ) ○別途工事
制御装置 基本機能以外の追加機能 ○
方式 ○磁気カード ○暗証番号 ○IC カード (接触式)
○IC カード (非接触式) ○バイオメトリックス

- ・2 電気錠
○本工事 ○別途工事
● 火災報知設備

- ・1 自動火災報知装置
受信機 ○P 型 線 回線 (○新設 ●既設)
○R 型 回線 (○新設 ○既設)
○GP 型 線 回線 (○新設 ○既設)
○GR 型 回線 (○新設 ○既設)
○副受信機 ○線 回線 (○新設 ○既設)

- ・2 自動閉鎖設備
○運動制御器 (壁) 回線 (○単独 ○受信機と一体)

- ・3 非常警報装置 (非常ベル)
○機器一体形 ○各機器単独に設置

- ・4 ガス漏れ火災警報装置
○個別式 ○集中監視式 回線
ガスの種類 ○都市ガス (種類) ○液化石油ガス
○冷媒ガス

- ・5 住宅用自動火災報知装置
○共同住宅用非常警報装置 (共用部分)
非常警報装置の蓄電池は、○警報操作盤に組み込む ○機器一体型
○住戸用自動火災報知設備 (住戸等と非開放の共用部分)
○共同住宅用自動火災報知設備

○ 中央監視制御設備

- ・1 中央監視制御装置
○警報盤 ○簡易型監視制御装置 ○監視制御装置
・2 中央監視制御装置の構成・性能
図示による。

○ 構内配電線路

- ・1 配線方式
○地中線式 ○架空線式
・2 地中線路の余長
マンホール、ハンドホール内でのケーブルの余長を見込むこと。
・3 装柱器材

- ・4 付属品
○マンホール用梯子 ○ハンドホール用手カギ
・5 屋外灯設備
(1) 電源供給方式 ○共用盤から供給 ○単独引込 (定額料金)
(2) 点滅方式 ○自動点滅器 ○タイマ
(廊下共用灯は、○自動点滅器 ○タイマ)
(3) 灯管柱 ○塩ビコーティング ○耐候性鋼製

- ・6 その他
(1) ハンドホール内のケーブル及び指定する箇所には、先行表示プレート (プラスチック製等に刻字) を取付け、プルボックス及びカバープレート類についても適当な方法により内容表示を行うものとする。
(2) 地中配線には、埋設シート等を管頂と地表面のほぼ中間に設けるものとする。
(3) 電柱等立ち上がり部については、電線管により保護すること。

○ 構内通信線路

- ・1 配線方式
○地中線式 ○架空線式
・2 地中線路の余長
マンホール、ハンドホール内でのケーブルの余長を見込むこと。
・3 地中線保護材料
○ケーブル保護用合成樹脂被覆鋼管 (GLT) ○波付硬質合成樹脂管 (FEP) ○硬質ビニル管 (VE)
・4 付属品
○マンホール用梯子 ○ハンドホール用手カギ

- ・5 その他
(1) ハンドホール内のケーブル及び指定する箇所には、先行表示プレート (プラスチック製等に刻字) を取付け、プルボックス及びカバープレート類についても適当な方法により内容表示を行うものとする。
(2) 地中配線には、埋設シート等を管頂と地表面のほぼ中間に設けるものとする。
(3) 電柱等立ち上がり部のケーブルについては、電線管により保護すること。

工事名称		
矢板中学校体育館長寿命化改修		
図面名称/縮尺	特記仕様書 (その2)	図面番号
設計年月日		E-02
設計者	栃木県矢板市教育委員会	
発注者	栃木県 R6. 4	

○ その他工事共通事項

・1 施工調査

・配線・機器工事は、事前に絶縁抵抗、接地抵抗を確認し、監督職員に報告する。

・2 電線本数・管路

分電盤、制御盤、端子盤などの2次側以降の配線において、配線経路、電線サイズ、電線本数、管路サイズなどは機能を優先し、監督職員の承諾を受けて変更しても差し支えない。

・3 呼び線（導入線）

長さ1m以上の入線しない電線管には、電線太さ1.2mm以上のビニル被覆鉄線を挿入する。

・4 コンセント

図面に特記なき場合は、コンセント2P15A（接地極付）は、プラグ不要とする。

・5 一般照明の照度測定

○有 ○無

・6 非常用の照明装置の照度測定

○有 ○無

・7 キャビネット

○キュービクル式配電盤の板厚は下記による。

Table with 3 columns: 構成部, 鋼板の厚さ(mm) (室内, 屋外), and values for 側面部, 底板, 屋根板, etc.

○制御盤、分電盤の板厚は下記による。

Table with 3 columns: 正面の面積, 鋼板等の厚さ(mm) (鋼板, ステンレス), and values for 0.2㎡以下, 0.2㎡を超えるもの.

○端子盤・機器収納ラック等の板厚は下記による。

Table with 3 columns: 正面の面積, 鋼板等の厚さ(mm) (鋼板, ステンレス), and values for 0.1㎡以下, 0.1㎡を超え0.2㎡以下, 0.2㎡を超えるもの.

・8 接地極

○接地抵抗値は下記による。

Table with 4 columns: 接地の種類, 記号, 接地抵抗値, 接地極, listing common, A, B, D, C, high voltage lightning protection, lightning equipment, exchange, communication, and measurement types.

B種接地については、電力会社と協議する。

※印は、接地極寸法を示す。

(1) 接地極の埋設位置で、監督員の指示する箇所に接地極埋設標を設ける。

(2) 外灯の接地は ○各ポールごと ○専用接地線

●SPD

SPDを ○低圧線路 ○弱電線路 に設ける。

●電灯分電盤 ○動力制御盤 ○弱電盤 ○図面特記参照

・10 取付高さ

壁付、壁掛形の機器等の取付高さは、図面に記載のない場合は原則として下表による。

Table with 3 columns: 名称, 測点, 取付高[mm], listing bracket, lighting, switch, outlet, and various cabinet types.

Table with 3 columns: 名称, 測点, 取付高, listing network outlet, indicator, intercom, fire alarm, TV, and gas leak detectors.

【備考】(天井高) × 0.9 及び (天井高) × 0.8 は天井高が 2500~3000mm の場合に適用する。

・11 天井仕上げ表示

図面において、室名に () を付したものは直天井の室、それ以外は二重天井の室を示す。

・12 他工事との取り合い

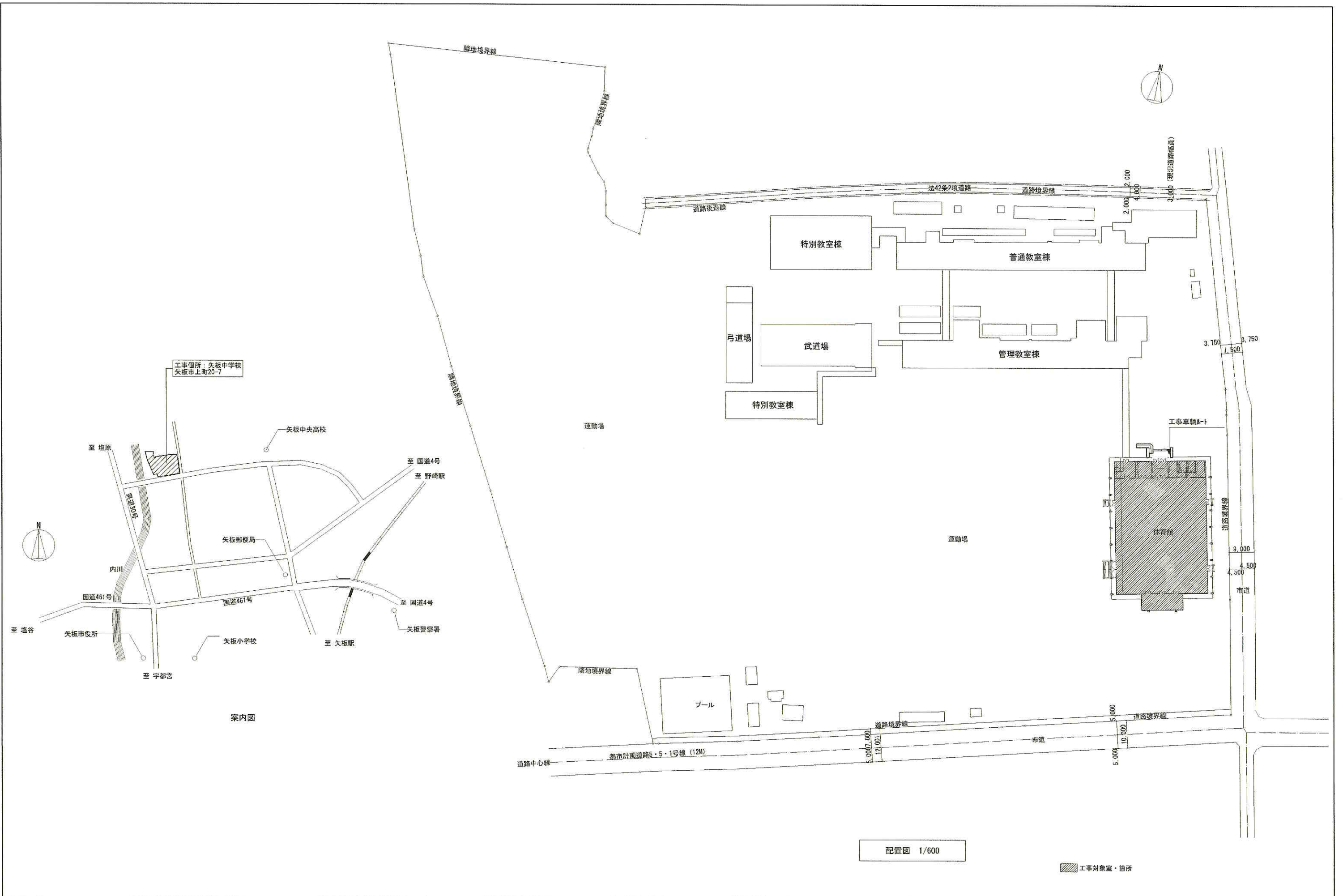
別表-1による他工事との取り合いについては、機器の位置、取合い等の検討できる施工図を施工に支障をきたさない時期までに提出して、監督職員の承諾を受ける。

別表-1 他工事との取り合い

Large table for trade coordination (別表-1 他工事との取り合い) with columns for project name, trade type, and various work items like power, water, gas, and mechanical equipment.

Table with 3 columns: 工事名称, 図面名称/縮尺, 設計年月日, containing project details for a school gymnasium renovation.

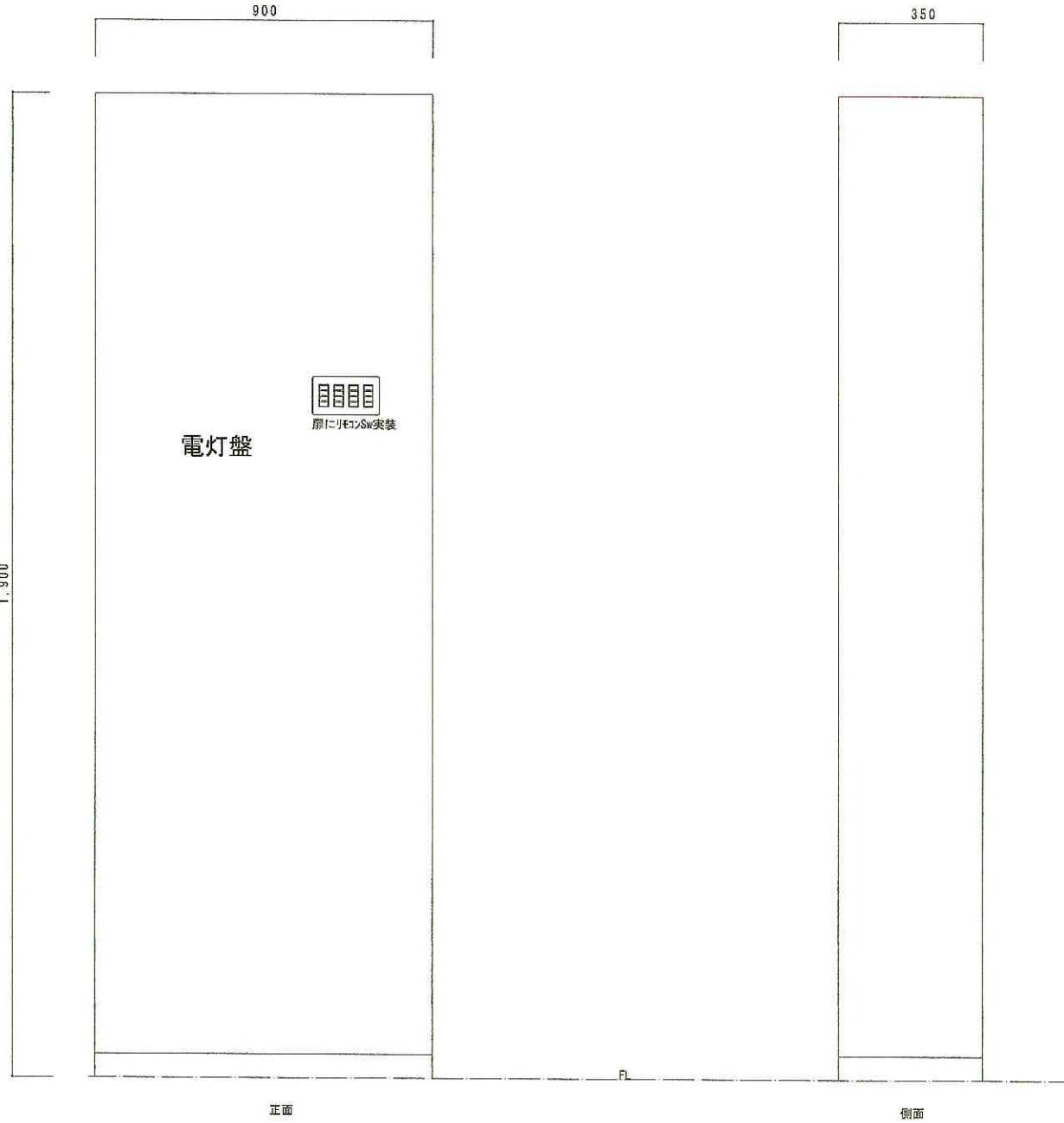
(栃木県 R6. 4)



設計							工事名		図面名		縮尺		番号
設計	担当	製図	検図	承認	設計年月日	矢板中学校体育館長寿命化改修電気設備工事		案内図 配置図		A1	1/600	E-04	
										A3	11/200		

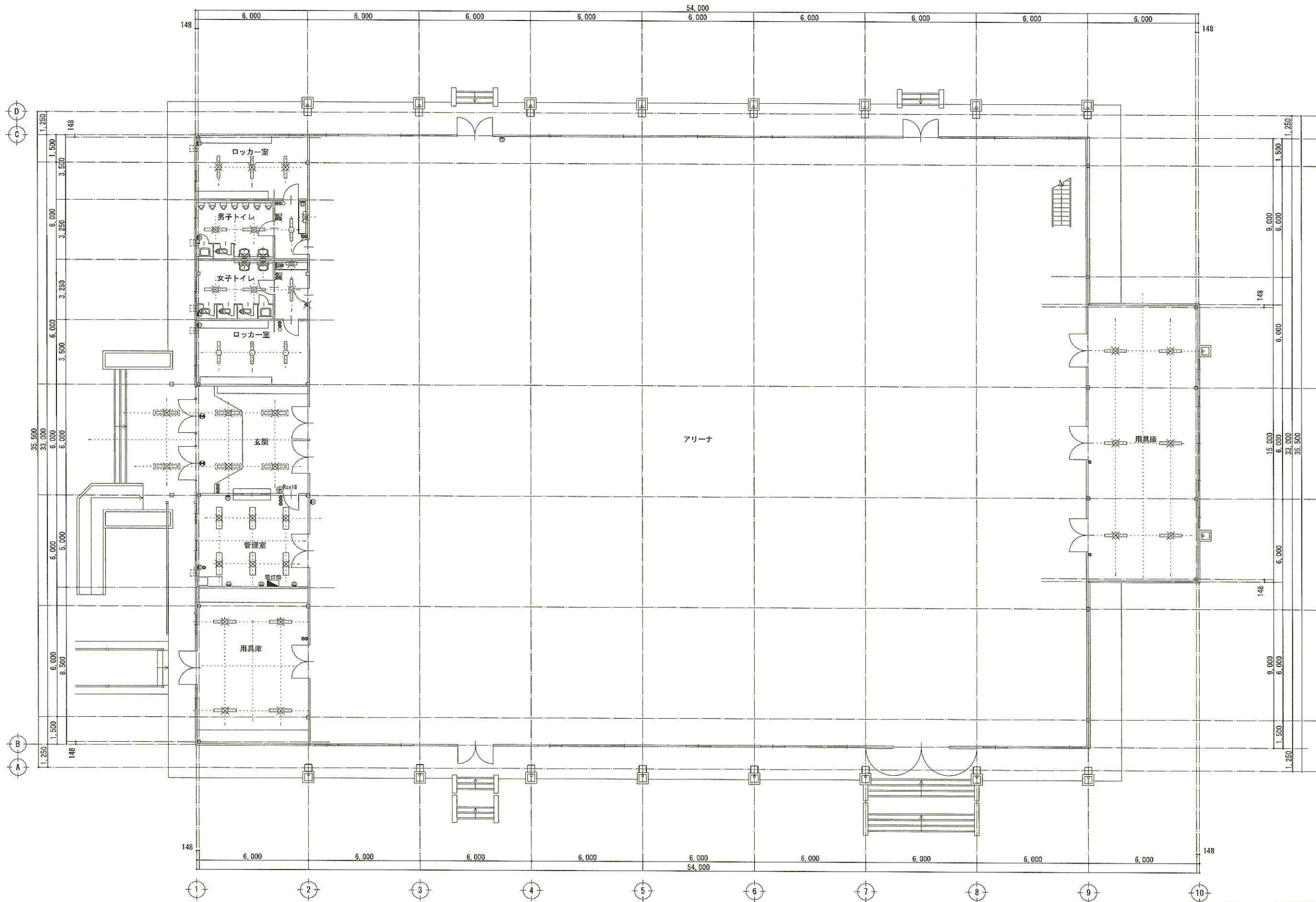
電灯盤リスト

盤名称 幹線番号 盤形状	電気形式 主開閉器 規格番号	回路 番号	電圧 (V)	分岐開閉器 (AF/AT)	負荷名称	負荷容量 (VA)	附 属 機 器					備 考
							Ryリレ IP	Ryリレ 2P	タミナル ユニット	伝送 ユニット	タイマー リセット	
L-1 管理室内 屋内自立 キュービクルより 1φ3W MCCB 3P 400/300A		A	100	2P30/20A	誘導灯	20						
		B	100	2P30/20A	予備							
		C	100	2P30/20A	予備							
		1	200	2P30/20A	○	アリーナ照明	1050.6		○	○	○	
		2	200	2P30/20A	○	アリーナ照明	875.5		○			
		3	200	2P30/20A	○	アリーナ照明	875.5		○			
		4	200	2P30/20A	○	アリーナ照明	1050.6		○			
		5	200	2P30/20A	○	アリーナ照明	1050.6		○	○		
		6	200	2P30/20A	○	アリーナ照明	875.5		○			
		7	200	2P30/20A	○	アリーナ照明	875.5		○			
		8	200	2P30/20A	○	アリーナ照明	1050.6		○			
		9	200	2P30/20A	○	アリーナ照明	1050.6		○	○		
		10	200	2P30/20A	○	アリーナ照明	875.5		○			
		11	200	2P30/20A	○	アリーナ照明	875.5		○			
		12	200	2P30/20A	○	アリーナ照明	1050.6		○			
		13	200	2P30/20A	○	アリーナ照明	1050.6		○	○		
		14	200	2P30/20A	○	アリーナ照明	875.5		○			
		15	200	2P30/20A	○	予備			○			
		16	100	2P30/20A	○	ライコン用			○			
		17	100	2P30/20A	○							
		18	100	2P30/20A	○							
		19	100	2P30/20A	○							
		20	100	2P30/20A	○							
		21	100	2P30/20A	○							
		22	100	2P30/20A	○							
		23	100	2P30/20A	○							
		24	100	2P30/20A	○							
		25	100	2P30/20A	○							
		26	100	2P30/20A	○							
		27	100	2P30/20A	○							
		28	100	2P30/20A	○							
		29	100	2P30/20A	○							
		30	100	2P30/20A	○							
		31	100	2P30/20A	○							
		32	100	2P30/20A	○							
		33	100	2P30/20A	○							
		34	100	2P30/20A	○							
		35	100	2P30/20A	○	男子トイレコンセント	944.5					
		36	100	2P30/20A	○	男子トイレトドライヤー	920.0					
		37	100	2P30/20A	○	女子トイレコンセント	1259.0					
		38	100	2P30/20A	○	女子トイレトドライヤー	920.0					
		39	100	2P30/20A	○	多目的トイレコンセント	1200.0					
		40	100	2P30/20A	○	多目的トイレコンセント	1200.0					
41	100	2P30/20A	○	スペース								
42	100	2P30/20A	○	スペース								
43	100	2P30/20A	○	スペース								



電灯盤参考図

設計	担当	製図	検図	承認	設計年月日	工事名	図面名	縮尺	番号
						矢板中学校体育館長寿命化改修電気設備工事	盤図	A1 N/S A3 N/S	E-05



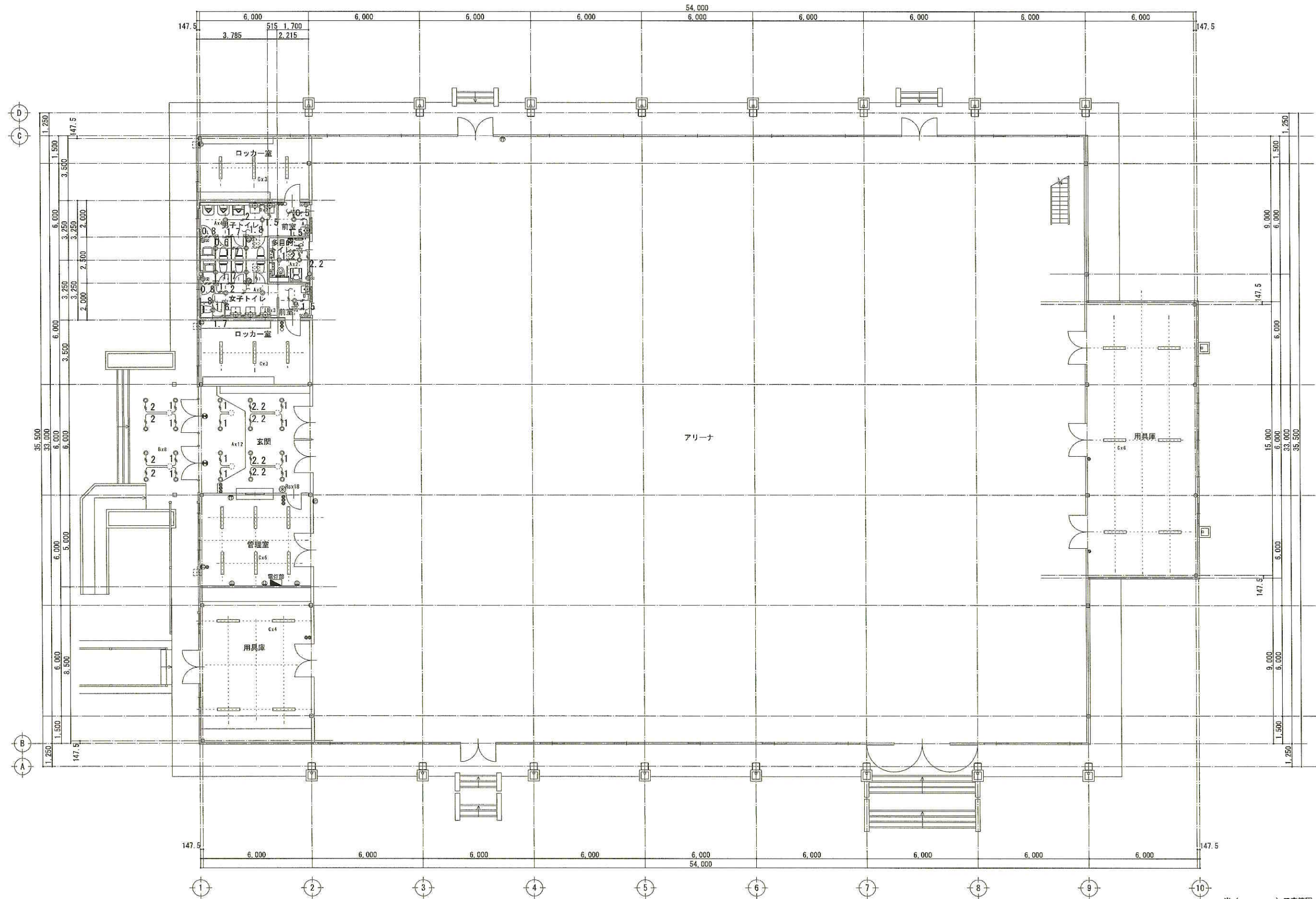
1F電灯コンセント (改修前) 1/100

※ () 工事範囲

○	FL40w1 富士型
○	FL40w1 埋込下面開放
○	FL40w2 富士型
○	FL20w1 3A'-付
×	取外し機

特記
・ 現況と図面に相違がある場合は現況優先とする
・ 解体撤去は残材処分共

設計	担当	製図	検図	承認	設計年月日	工事名	図面名	縮尺	番号
						矢板中学校体育館長寿命化改修電気設備工事	1F電灯コンセント図 (改修前)	A1 1/200 A3 1/400	E-06



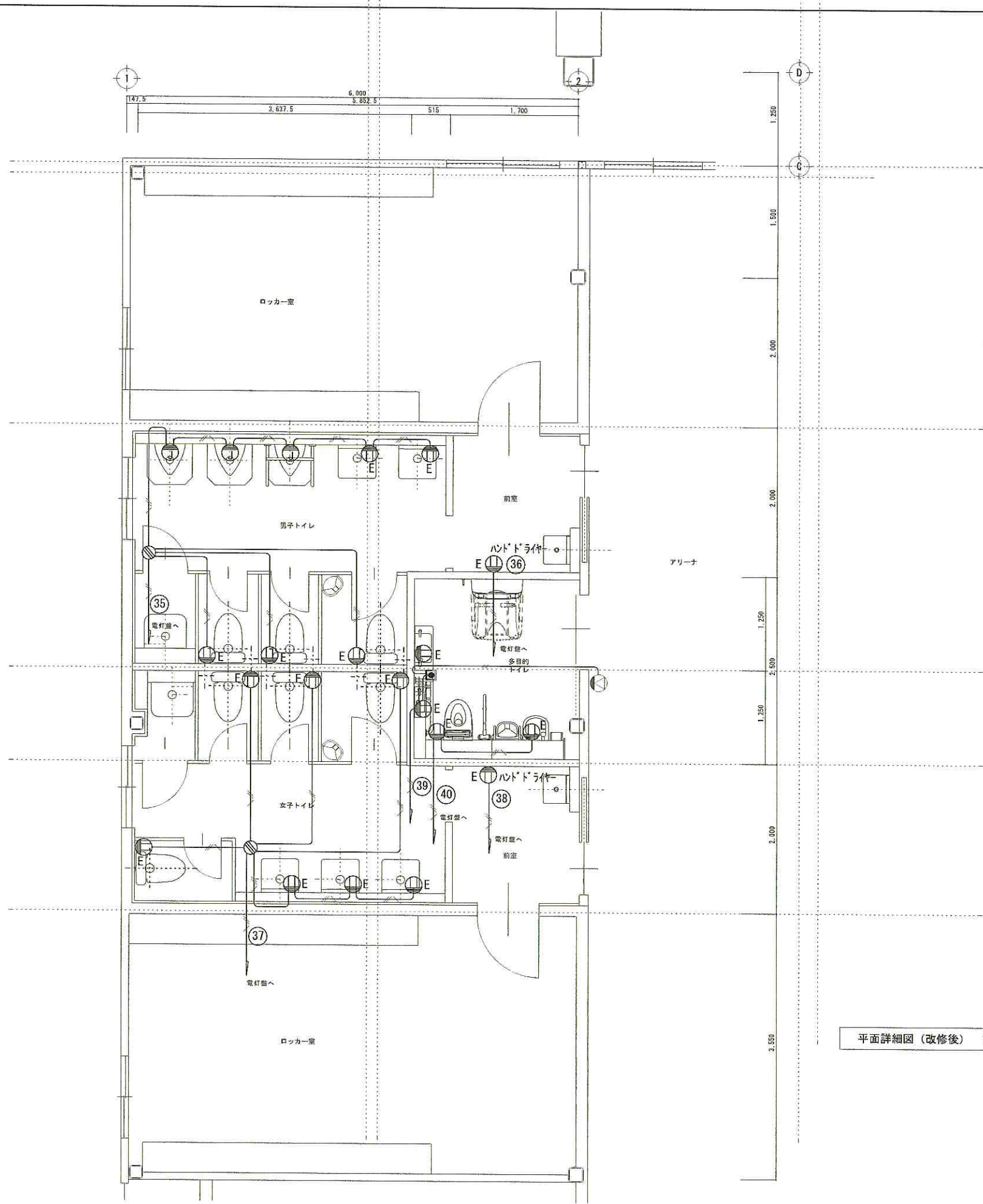
1F電灯コンセント(改修後) 1/100

※ () 工事範囲

特記
・現況と図面に相違がある場合は現況優先とする

新設器具仕様	新設配線器具仕様	新設配線仕様
● A LRS1-17	■ WTK24818相当品	— EM-EF 1.6-2c 隠蔽
● B LRS2-LRS1-17	■ WTK2021K相当品	— EM-EF 1.6-3c 隠蔽
● C LSS9-4-48	■ WTK20818相当品	— EM-EF 1.6-2c×2 隠蔽
● D LSS9-1550LM-2	■ WTK2664相当品	— 配線器具更新
○ 既設器具位置	● WTK5022R相当品	
● 既設器具取外L取付		

設計	担当	製図	校閲	承認	設計年月日	工事名	図面名	縮尺	番号
						矢板中学校体育館長寿命化改修電気設備工事	1F電灯コンセント図(改修後)	A1 1/200 A3 1/400	E-07

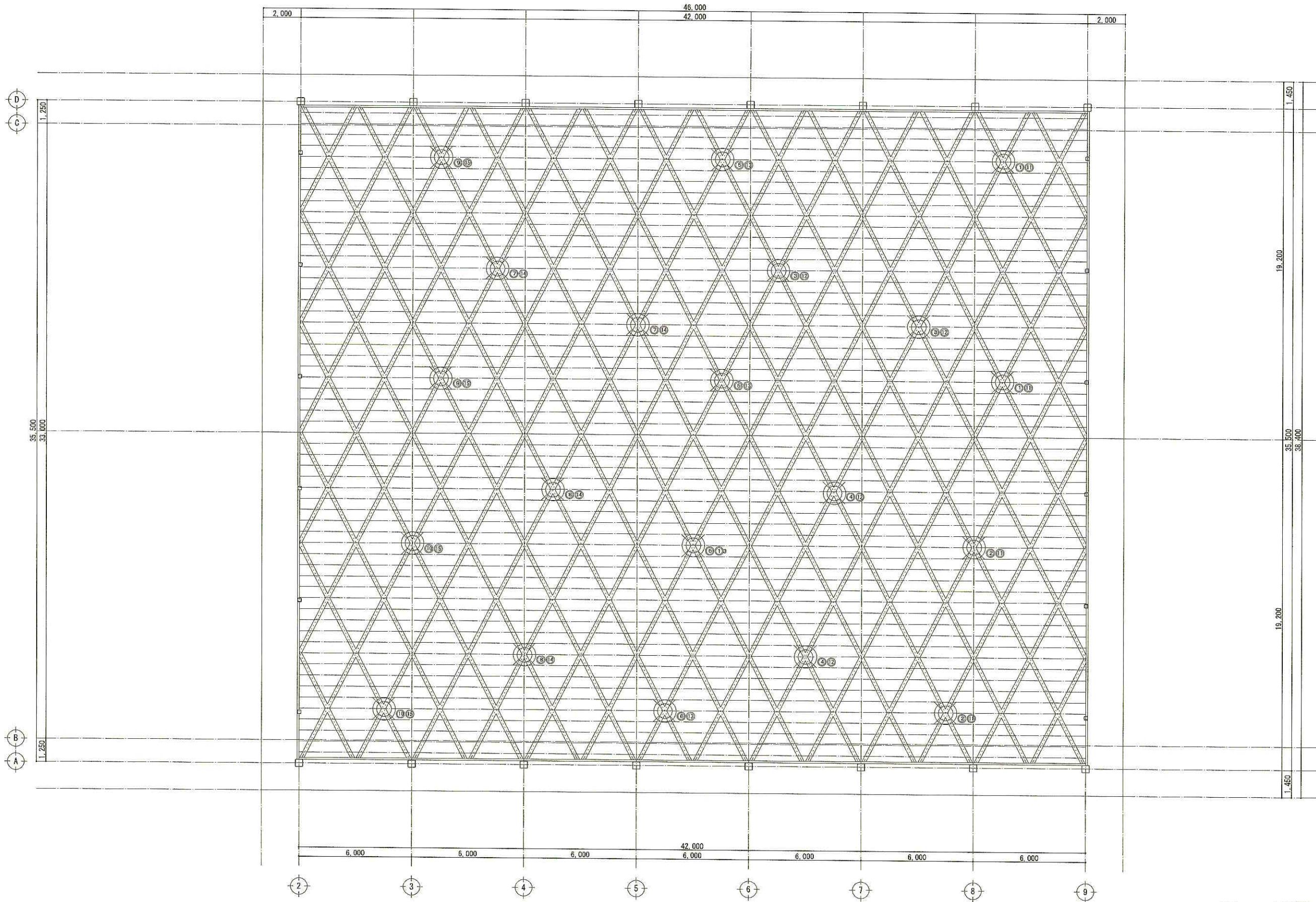


平面詳細図 (改修後) 1/30

新設器具仕様		新設配線仕様	
①	2ヶ所APISAKI	—	EH-EF 1.0-2x2 隠蔽
②	2ヶ所APISAKI	—	EH-EF 2.0-3c 隠蔽
③	1ヶ所呼出スイッチ (MRP-THBA相当品)		
④	壁紙キルト (EAS501相当品)		

特記
 ・現況と図面に相違がある場合は現況優先とする

設計	担当	製図	検図	承認	設計年月日	工事名	図面名	縮尺	番号
						矢板中学校体育館長寿命化改修電気設備工事	トイレ平面詳細図 (改修後)	A1 1/30 A3 1/60	E-08



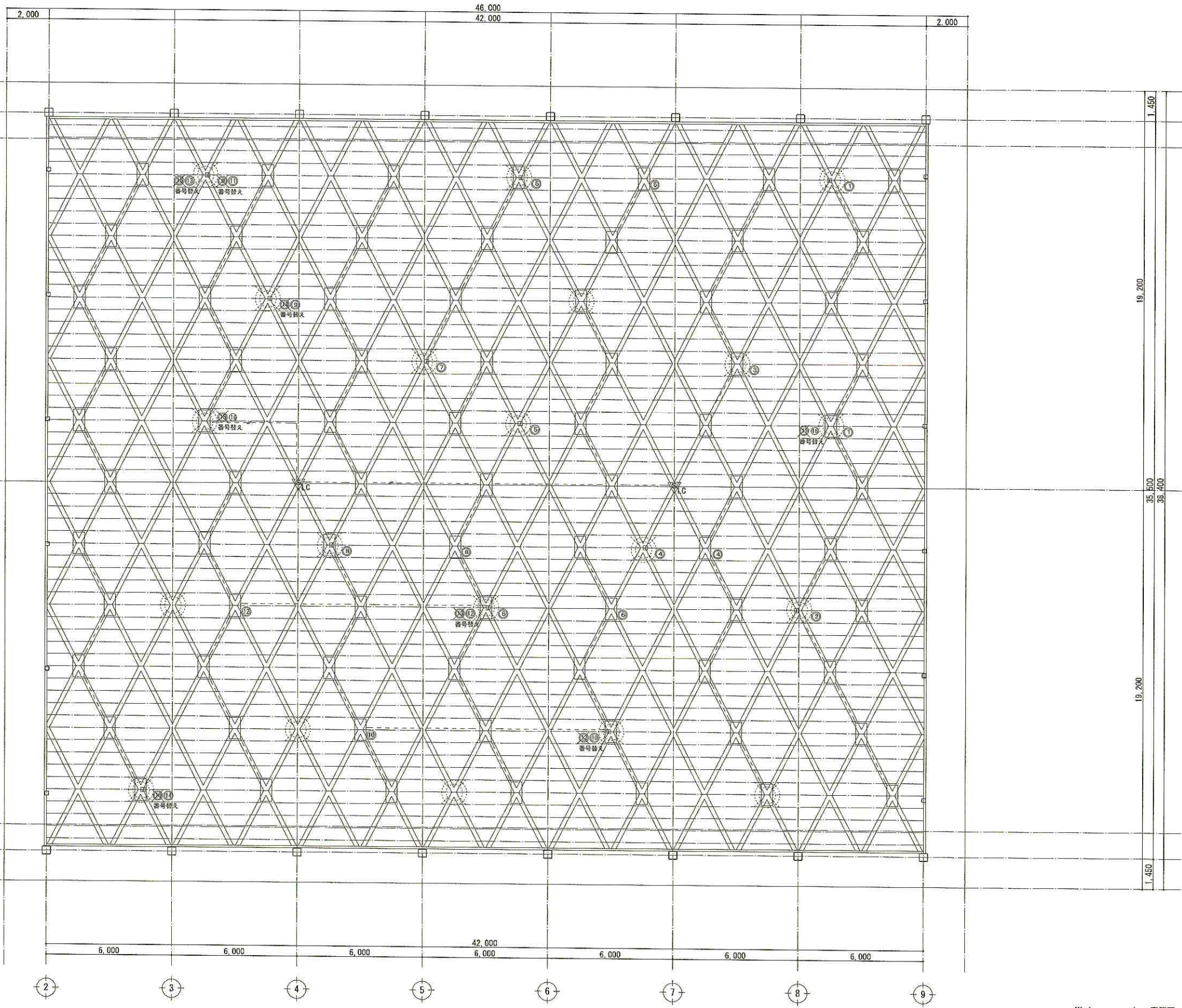
アリーナ電灯設備 (改修前) 1/100

概算器具仕様
MF400x3-RF500x1
取外L除去

※ () 工事範囲

特記
 ・現況と図面に相違がある場合は現況優先とする
 ・解体撤去は残材処分共

設計	担当	製図	検図	承認	設計年月日	工事名	図面名	縮尺	番号
						矢板中学校体育館長寿命化改修電気設備工事	アリーナ電灯設備図 (改修前)	A1 1/200 A3 1/400	E-09



アリーナ電灯設備 (改修後) 1/100

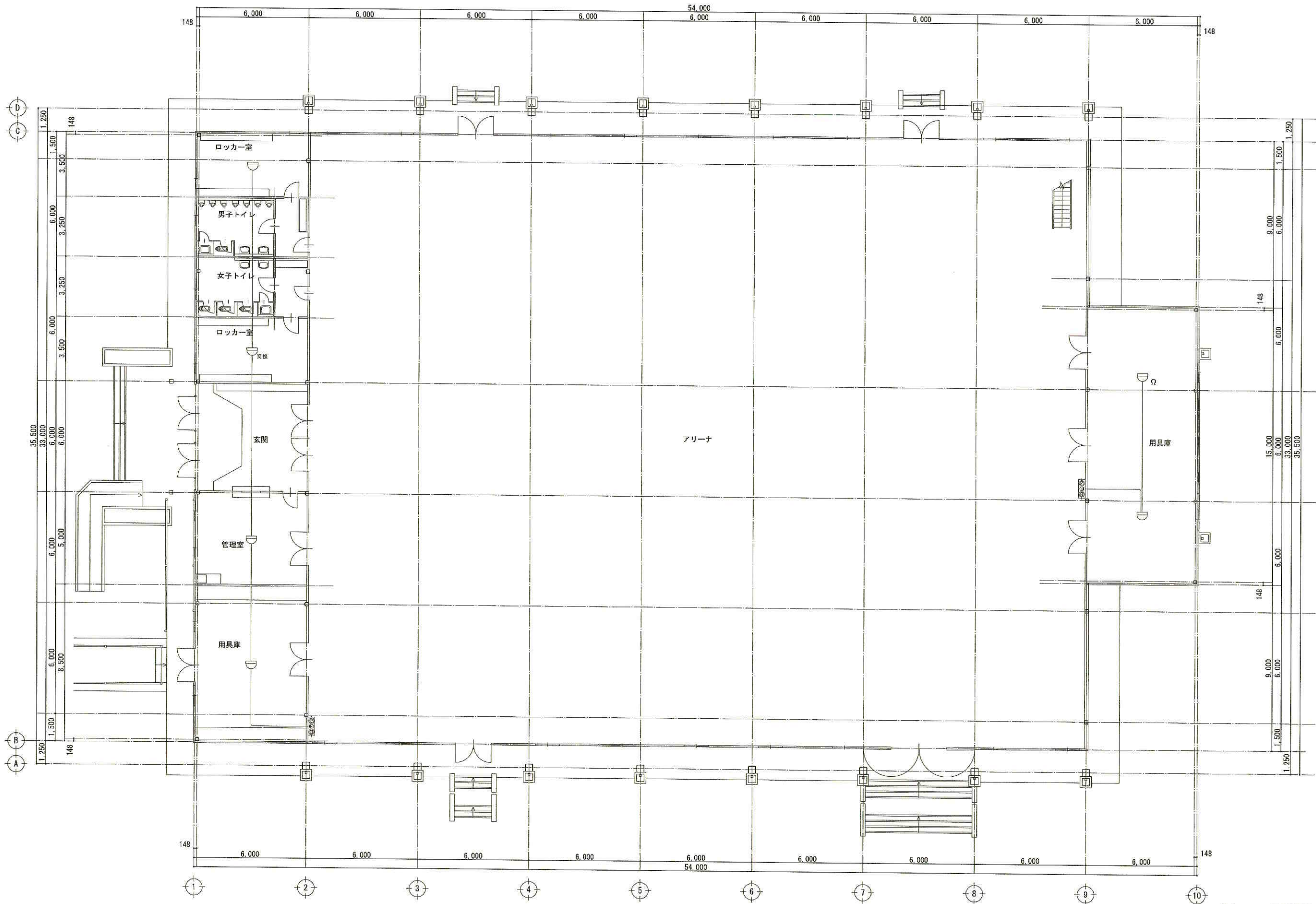
新設器具仕様		新設配線仕様	
□	NYR20224-NYK00117-NYK00115 (明点品)	—	EN-EF 2.0-3c 露出
▽	N022185K-NK23001-NK23062-NK23060 (用電品)	—	EN-EF 1.0-3c 露出
		—	EN-EF 1.0-3c+PEV1.2-2P 露出

※ () 工事範囲

特記
・ 現況と図面に相違がある場合は現況優先とする

設計	担当	製図	検図	承認	設計年月日

工事名		図面名		縮尺	番号
矢板中学校体育館長寿命化改修電気設備工事		アリーナ電灯設備図 (改修後)		A1 1/200 A3 1/400	E-10



1F自動火災警報設備（改修前） 1/100

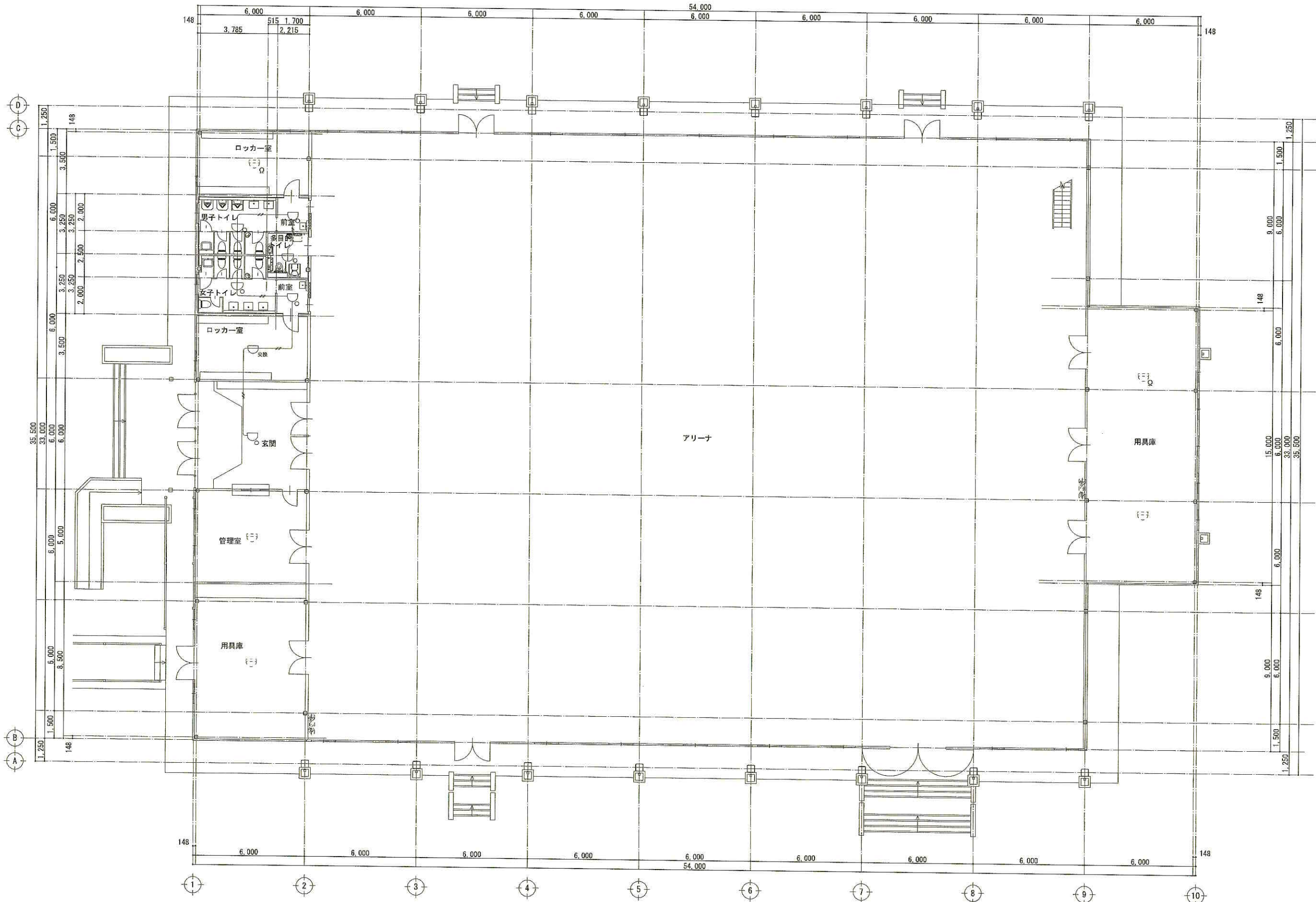
※ () 工事範囲

特記
・現況と図面に相違がある場合は現況優先とする

既設器具仕様	
差動式感知器 2種	
組合錠	

設計	担当	製図	検図	承認	設計年月日

工事名	図面名	縮尺	番号
矢板中学校体育館長寿命化改修電気設備工事	自動火災警報設備図(改修前)	A1 1/200 A3 1/400	E-11



1F自動火災警報設備 (改修後) 1/100

新設設備仕様

○	常温式感知器 1種
⊕	定温式感知器 特種 新木
▽	差動式感知器 2種
PM	組合器

※ () 工事範囲

特記
・現況と図面に相違がある場合は現況優先とする

設計	担当	製図	検図	承認	設計年月日	工事名	図面名	縮尺	番号
						矢板中学校体育館長寿命化改修電気設備工事	自動火災警報設備図 (改修後)	A1 1/200 A3 1/400	E-12